

「2025年卒学生の就職活動の実態に関する調査」

公益社団法人 全国求人情報協会の専門部会である「新卒等若年雇用部会」は、調査・研究活動の一環で、民間企業・団体への就職活動を経験した全国の大学4年生・大学院2年生を対象とするアンケート調査を実施し2025年卒学生の就職活動実態をまとめましたので、ご報告します。※スケジュールの詳細はP54に掲載しております。

TOPICS

- 民間企業・団体への就職活動を経験した大学生・大学院生の9割以上が3月時点で進路を確定。(P2)
- 就職確定者の就職予定先への納得状況は、大学生・大学院生ともに「納得している・計」が9割以上。(P3)
- 就職予定先への「勤続志向」は、大学生・大学院生ともに8割超。大学院生は2024年卒から減少。一方で、就職予定先に納得していない大学生は、「転職志向」が減少したものの半数を超える。(P4)
- 就職予定先の従業員規模で最も割合が高いのは、大学生は「300人～999人」、大学院生は「5,000人以上」。(P9)
- 就職予定先の志望状況は、大学生の5割後半、大学院生の6割後半が「当初から第1志望(群)だった」。(P11)
- 就職活動の実施期間は、大学生の3割前半、大学院生の2割後半が6カ月以内。(P15)
- インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの参加時期は、大学生で「大学3年生12月」「大学3年生8月」「大学3年生10月」の順に割合が高い。(P40)
- 参加したインターンシップ等のキャリア形成支援プログラムに就業体験があった割合は、大学生では約5割。大学院生では約6割で、2024年卒よりも大幅に増加。(P53)

CONTENTS

①卒業後の進路確定状況…………… 2	⑪在学中に実施したこと…………… 26
②就職予定先への納得度…………… 3	⑫就職活動による各活動への支障状況…………… 27
③就職予定先への就業意向…………… 4	⑬自己分析・企業研究等への自己評価…………… 28
④就職予定先への評価…………… 5	⑭就職予定先に対するイメージ…………… 30
⑤就職予定先の企業状況…………… 7	⑮大学・大学院の就職支援で役立った点…………… 32
⑥就職活動の開始時期、終了時期、実施期間…………… 12	⑯自己分析・企業研究等への自己評価 (大学低学年時のキャリア教育受講経験別)…………… 34
⑦就職活動の各プロセスの活動量…………… 16	⑰従業員規模の志向…………… 36
⑧知りたかった情報、知ることができた情報…………… 21	⑱インターンシップ等の キャリア形成支援プログラムの参加状況…………… 40
⑨就職予定先に関する情報源…………… 23	
⑩就職予定先を選ぶ際の重視点…………… 25	

●調査の概要

- 1) 調査目的: 大学生や大学院生の就職活動の実態を把握し、関係各位の参考に供する。
- 2) 調査対象: 民間企業・団体への就職活動を在学中に経験した(*)全国の大学4年生・大学院2年生 1,105人 *プレエントリー(資料・採用情報の請求)、説明会、書類選考、対面選考のいずれか1つ以上の経験者を就職活動経験者と定義した。当該の条件を満たす1,067人で集計を実施。
- 3) 調査期間: 2025年3月6日～31日
- 4) 調査方法: インターネット調査(調査実施機関:株式会社マクロミル)ーマクロミル社のモニターにスクリーニング調査を行って対象者を抽出し、学校種別、性別、専攻系統(文理)の構成比が母集団に近づくよう、「文部科学省学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行った。

《地域区分の内訳・調査集計の留意点》
P54「調査備考」を参照のこと。

＜回収数＞ (人)

大学生	987
文系	659
国公立	89
私立	570
理系	328
国公立	117
私立	212
大学院生	80

※ウェイトバック集計を行っているため、n数の内訳を足し合わせても合計と一致しない場合がある。

①卒業後の進路確定状況

民間企業・団体への就職活動を経験した大学生・大学院生の9割以上が3月時点で進路を確定。
大学生の民間企業・団体への就職確定者は2024年卒からやや減少。

民間企業・団体への就職活動経験者は、調査を実施した3月時点では、大学生・大学院生ともに9割以上が卒業後の進路を確定している。

2024年卒と比べると、民間企業・団体への就職確定者は、大学生ではやや減少、大学院生では同水準。
地域別に見ると、中国・四国の大学生では民間企業・団体への就職確定者が大幅に減少している。(図表1)

図表1 卒業後の進路確定状況(単一回答、単位=%)

n=		民間企業・団体に就職する	民間企業・団体以外(公務員、教員など)に就職する	就職確定者・計	起業する	大学院などへ進学する	留学する	パート、アルバイトなどの臨時収入を目的とした仕事に就く	留年するので、卒業しない	その他	進路確定者・計	まだ進路が確定していない
大学生	987	78.7 (-3.2)	8.1 (0.7)	86.7 (-2.4)	0.7 (0.3)	3.7 (-0.1)	1.0 (0.2)	1.6 (0.6)	2.6 (1.5)	0.3 (0.1)	96.6 (0.2)	3.4 (-0.2)
文系	659	81.2 (-3.9)	8.4 (1.6)	89.5 (-2.3)	1.0 (0.7)	1.2 (-0.5)	1.3 (0.8)	2.1 (0.6)	1.8 (1.0)	0.2 (-0.1)	97.1 (0.2)	2.9 (-0.2)
国公立	89	74.9 (-0.3)	11.1 (-0.1)	85.9 (-0.4)	1.6 (0.6)	2.1 (-2.3)	0.4 (0.4)	- (-0.7)	5.8 (3.4)	0.4 (-1.6)	96.3 (-0.6)	3.7 (0.6)
私立	570	82.1 (-4.3)	7.9 (1.8)	90.1 (-2.5)	0.9 (0.7)	1.1 (-0.3)	1.5 (0.8)	2.4 (0.8)	1.2 (0.6)	0.1 (0.1)	97.3 (0.3)	2.7 (-0.3)
理系	328	73.7 (-1.7)	7.4 (-1.1)	81.2 (-2.7)	- (-0.6)	8.7 (0.8)	0.2 (-0.9)	0.8 (0.6)	4.1 (2.4)	0.5 (0.5)	95.5 (0.1)	4.5 (-0.1)
国公立	117	71.3 (-0.0)	9.9 (2.1)	81.3 (2.1)	- (-1.9)	10.8 (-0.0)	- (-1.9)	- (-)	6.6 (6.1)	- (-)	98.7 (4.3)	1.3 (-4.3)
私立	212	75.1 (-2.1)	6.1 (-2.7)	81.1 (-4.8)	- (-)	7.6 (0.9)	0.3 (-0.5)	1.2 (1.0)	2.7 (0.4)	0.8 (0.8)	93.8 (-2.1)	6.2 (2.1)
北海道・東北	84	81.9 (4.5)	8.5 (-7.8)	90.4 (-3.2)	- (-)	2.1 (1.4)	2.8 (1.9)	1.7 (1.7)	- (-)	0.9 (0.9)	97.9 (2.7)	2.1 (-2.7)
関東	398	80.1 (-0.3)	5.5 (-1.0)	85.6 (-1.3)	0.4 (0.1)	4.2 (0.3)	0.6 (-0.6)	1.2 (-0.2)	5.0 (3.7)	0.1 (-0.2)	97.1 (1.8)	2.9 (-1.8)
中部	169	79.1 (-5.8)	10.8 (4.4)	89.9 (-1.4)	- (-)	3.4 (0.3)	2.3 (0.9)	1.4 (0.9)	2.0 (0.2)	- (-)	98.9 (0.9)	1.1 (-0.9)
近畿	200	79.2 (-7.1)	9.4 (5.7)	88.6 (-1.3)	0.7 (0.7)	3.1 (-1.8)	0.2 (0.2)	1.9 (1.4)	0.2 (-0.6)	0.9 (0.5)	95.7 (-0.9)	4.3 (0.9)
中国・四国	54	67.9 (-15.5)	12.4 (-2.5)	80.3 (-18.1)	7.0 (7.0)	1.4 (1.0)	- (-)	0.7 (0.7)	2.7 (2.7)	- (-)	92.0 (-6.7)	8.0 (6.7)
九州	82	73.6 (-1.0)	8.0 (-0.1)	81.6 (-1.1)	- (-2.9)	6.7 (-0.3)	0.9 (0.9)	4.0 (0.9)	0.5 (-1.0)	- (-)	93.6 (-3.5)	6.4 (3.5)
大学院生	80	82.5 (1.0)	6.3 (0.9)	88.8 (1.8)	- (-)	3.8 (-1.6)	1.3 (1.3)	- (-0.8)	- (-0.8)	- (-)	93.8 (-0.1)	6.3 (0.1)

* カッコ内は2024年とのスコア差を掲載。

* 2024年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色、10ポイント以上低いセルを濃い青色で網掛けした。

②就職予定先への納得度

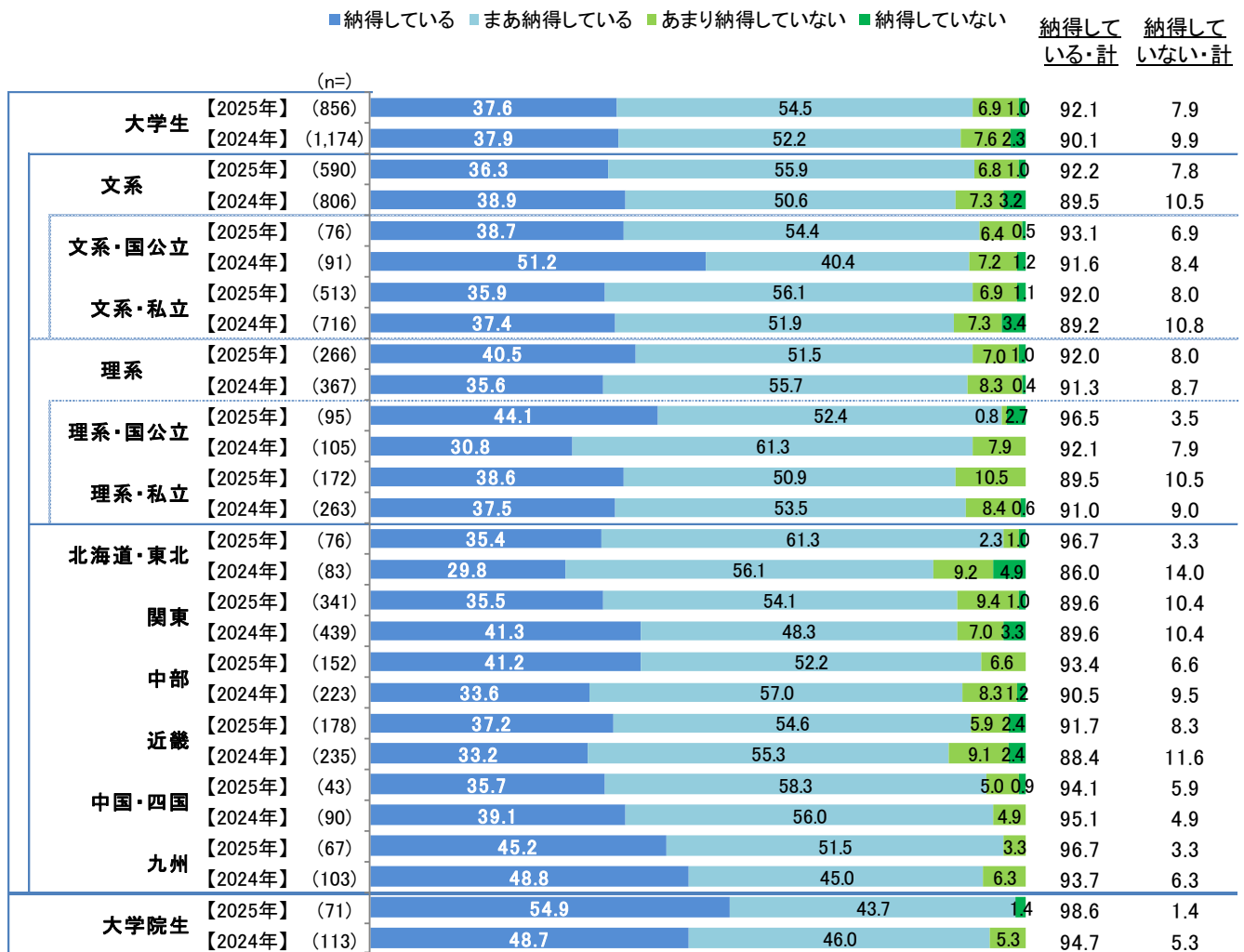
**就職確定者の就職予定先への納得度は、大学生・大学院生ともに9割以上。
2024年卒からやや増加し、引き続き高水準。**

就職確定者の就職予定先に対して「納得している・計」は、大学生・大学院生ともに9割以上となっている。
文系・理系、国公立・私立の大学生での差はほとんどない。

2024年卒と比べると、大学生・大学院生ともに「納得している・計」はやや増加。
地域別に見ると、北海道・東北の大学生は「納得している・計」が大幅に増加している。(図表2)

図表2 就職確定者の就職予定先への納得度(単一回答、単位=%)

※就職確定者ベース



※納得している・計:「納得している」+「まあ納得している」
※納得していない・計:「あまり納得していない」+「納得していない」

③就職予定先への就業意向

就職予定先への「勤続志向」は、大学生・大学院生ともに8割超。大学院生は2024年卒から減少。就職予定先に納得していない大学生は、「転職志向」が減少したものの半数を超える。

就職確定者の就職予定先への「勤続志向」は、大学生・大学院生ともに8割超。

2024年卒と比べると、文系の私立大学生は「勤続志向」が増加している一方で、理系の私立大学生は「勤続志向」が減少している。

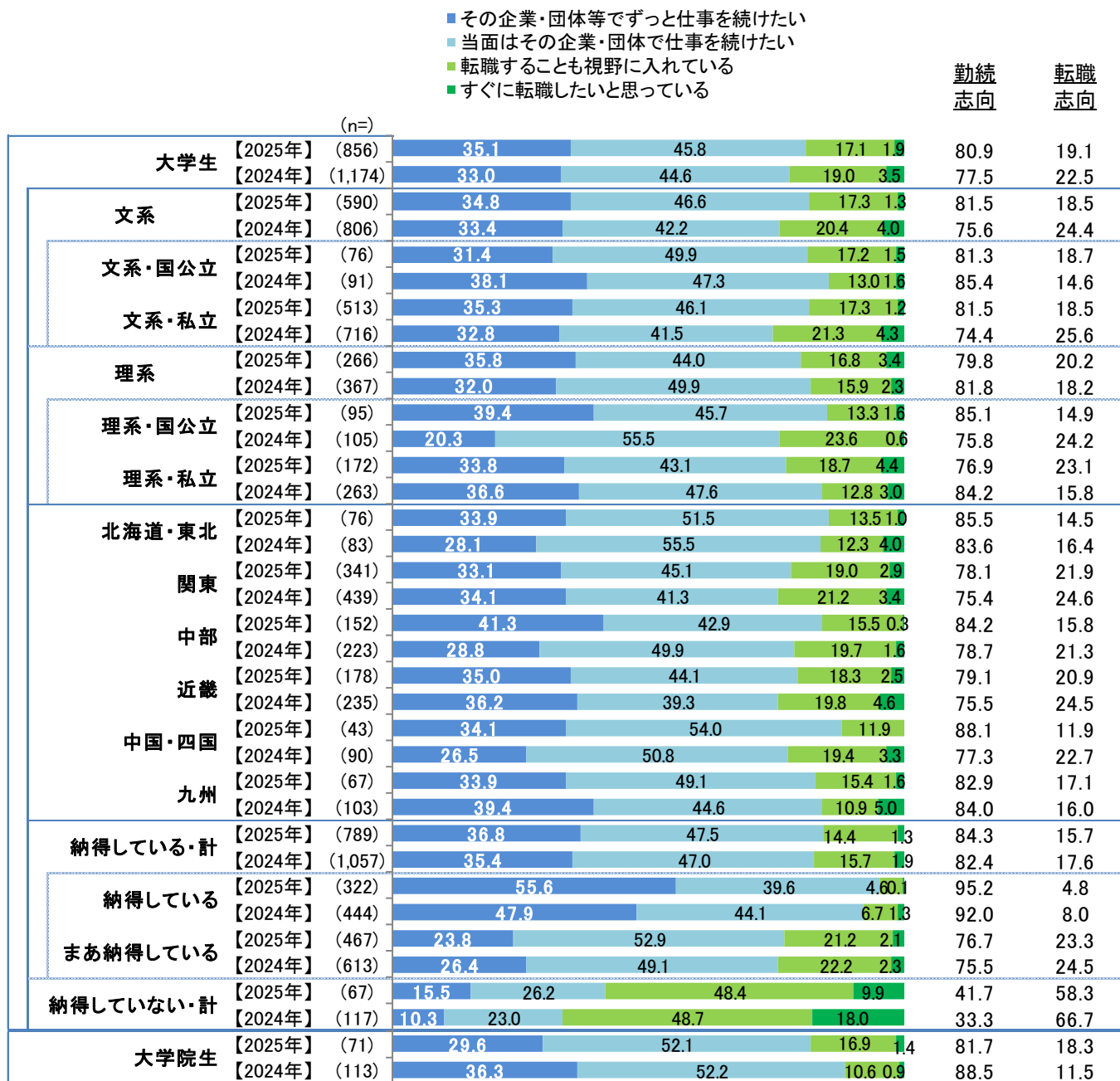
「転職志向」は、大学生では1割後半で2024年卒からやや減少。

就職予定先に納得していない大学生は、「転職志向」が2024年卒から減少したものの、依然として半数を超えている。

大学院生では「転職志向」が1割後半となっており、2024年卒と比べて増加している。(図表3)

図表3 就職確定者の就職予定先への勤続志向・転職志向(単一回答、単位=%)

※就職確定者ベース



※勤続志向:「その企業・団体等ですっと仕事を続けたい」+「当面はその企業・団体で仕事を続けたい」

※転職志向:「転職することも視野に入れている」+「すぐに転職したいと思っている」

④就職予定先への評価

就職予定先への評価は、大学生で「理想通りの企業だと思う」「成長することができそうだ」の「あてはまる・計」が7割超。2024年卒と同水準。

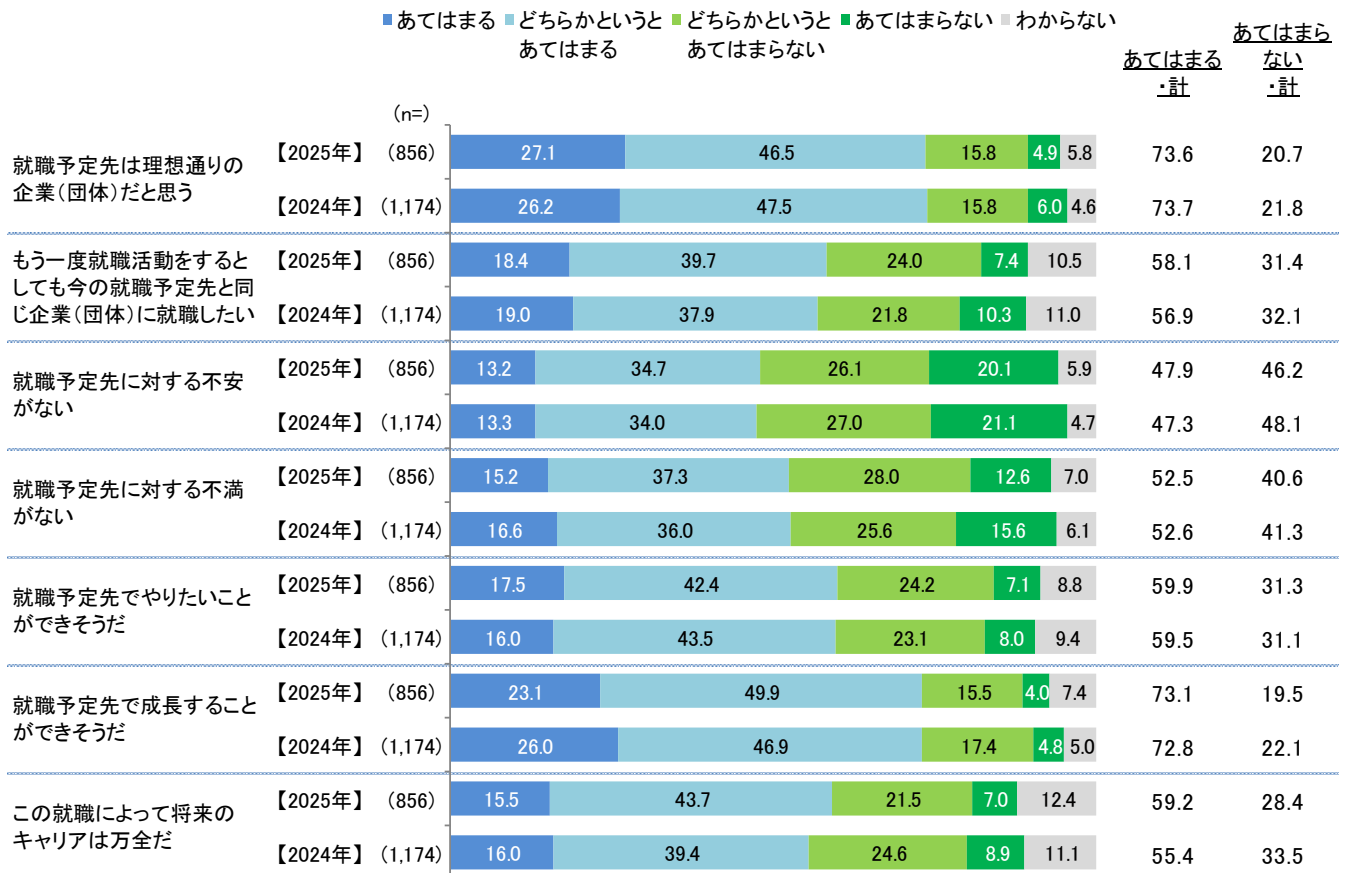
就職確定者における就職予定先への評価は、大学生で「就職予定先は理想通りの企業だと思う」「就職予定先で成長することができそうだ」の「あてはまる・計」が7割超。

また、大学生よりも大学院生の方が「就職予定先は理想通りの企業だと思う」「就職予定先に対する不安がない」「就職予定先に対する不満がない」「就職予定先でやりたいことができそうだ」「この就職によって将来のキャリアは万全だ」の「あてはまる・計」が特に高い。

2024年卒と比べると、大学生はほとんどの項目で「あてはまる・計」は同水準。「この就職によって将来のキャリアは万全だ」の「あてはまる・計」は、大学生でやや増加、大学院生で大幅に増加している。(図表4-1～2)

図表4-1 【大学生】就職確定者の就職予定先への評価(各単一回答、単位=%)

※就職確定者ベース



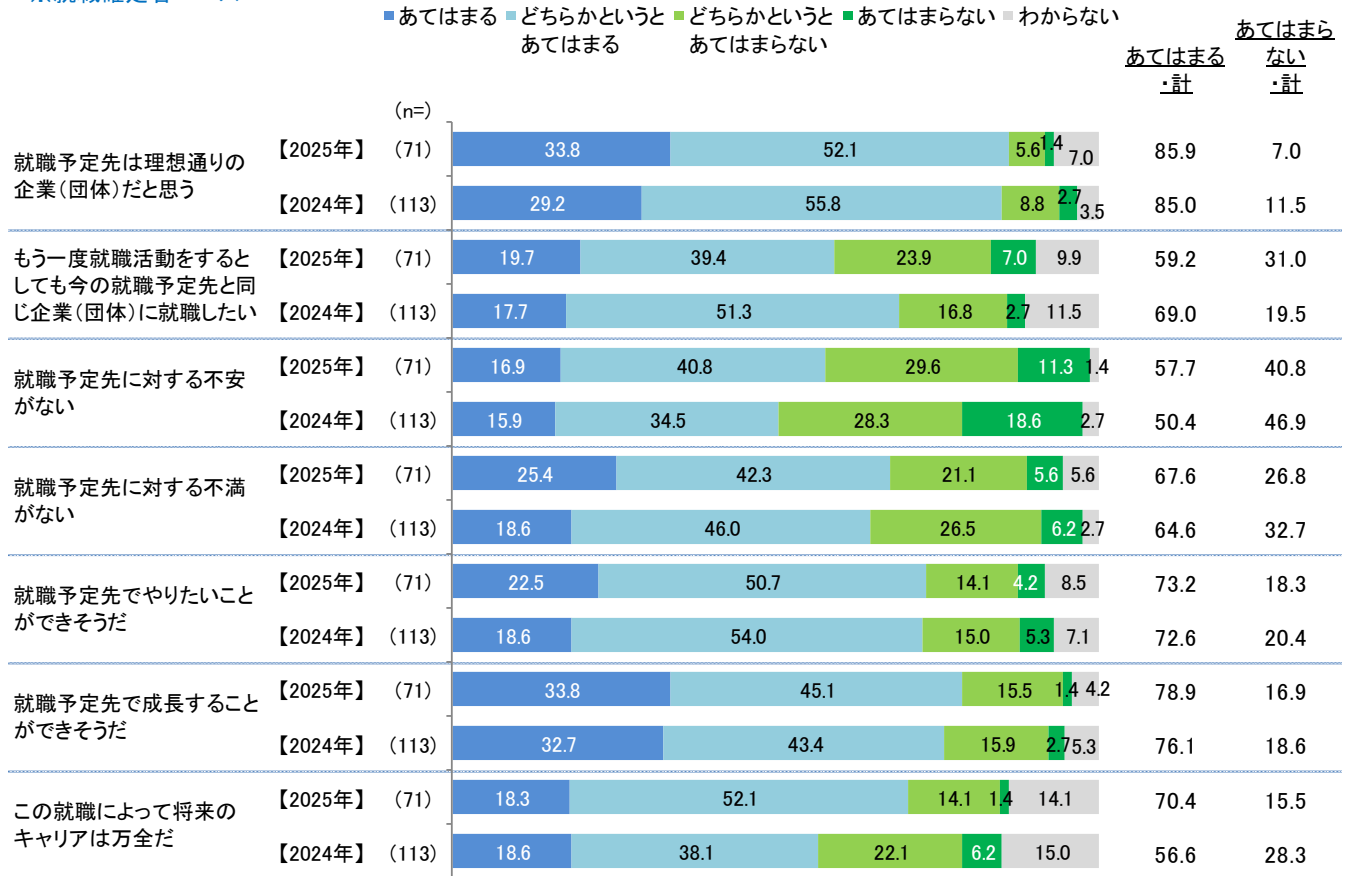
※あてはまる・計:「あてはまる」+「どちらかというとあてはまる」

※あてはまらない・計:「どちらかというとあてはまらない」+「あてはまらない」

④就職予定先への評価

図表4-2 【大学院生】就職確定者の就職予定先への評価(各単一回答、単位=%)

※就職確定者ベース



※あてはまる・計:「あてはまる」+「どちらかというとあてはまる」

※あてはまらない・計:「どちらかというとあてはまらない」+「あてはまらない」

⑤就職予定先の企業状況

**大学生は「情報通信業」「医療、福祉」「製造業」、
大学院生は「製造業」「情報通信業」「学術研究、専門・技術サービス業」が上位。**

就職確定者における就職予定先の業種は、大学生は「情報通信業」「医療、福祉」「製造業」の順に割合が高い。
大学院生は「製造業」「情報通信業」「学術研究、専門・技術サービス業」の順に割合が高い。
属性別に見ると、文系大学生は大学生全体に比べて「金融業、保険業」の割合が高い。
理系大学生は大学生全体に比べて「建設業」「製造業」「情報通信業」「医療、福祉」の割合が高い。

2024年卒と比べると、大学生ではほとんどの業種で同水準。
大学院生では「サービス業(他に分類されないもの)」が増加している。(図表5)

図表5 就職確定者の就職予定先の業種(単一回答、単位=%)

※就職確定者ベース

※次ページへ続く

	n=	農業、林業	漁業	鉱業、採石業、砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業
大学生	856	0.7 (0.3)	0.1 (-0.2)	0.1 (-0.2)	4.9 (-1.5)	11.0 (1.9)	2.4 (-0.4)	15.0 (1.4)	4.3 (0.0)	8.3 (-2.2)	9.2 (2.7)	2.5 (-0.3)
文系	590	0.2 (-0.1)	- (-0.4)	0.1 (-0.1)	3.8 (0.2)	7.1 (-0.8)	2.1 (0.1)	13.6 (1.5)	5.0 (-0.1)	10.2 (-2.7)	12.9 (3.8)	2.8 (-0.4)
国公立	76	1.5 (0.8)	- (-)	- (-0.4)	1.0 (-0.1)	9.3 (-1.1)	3.9 (1.6)	12.5 (-3.7)	2.9 (-1.8)	4.1 (-7.0)	15.3 (7.1)	3.4 (2.7)
私立	513	- (-0.2)	- (-0.4)	0.1 (-0.0)	4.2 (0.2)	6.7 (-0.8)	1.8 (-0.1)	13.8 (2.2)	5.3 (0.2)	11.1 (-2.0)	12.5 (3.3)	2.7 (-0.9)
理系	266	1.9 (1.0)	0.3 (0.0)	- (-0.7)	7.4 (-5.1)	19.8 (7.9)	2.9 (-1.5)	18.1 (1.3)	2.8 (0.2)	4.2 (-1.1)	0.9 (0.2)	1.8 (0.1)
国公立	95	2.7 (-0.3)	- (-)	- (-)	9.8 (-0.4)	18.5 (2.9)	6.2 (1.5)	17.6 (-4.9)	2.7 (2.7)	4.3 (-0.3)	0.8 (-0.3)	2.7 (2.1)
私立	172	1.4 (1.4)	0.4 (0.1)	- (-0.9)	6.2 (-7.3)	20.5 (10.0)	1.0 (-3.3)	18.3 (3.9)	2.9 (-0.8)	4.1 (-1.4)	0.9 (0.4)	1.3 (-0.8)
北海道・東北	76	- (-)	0.9 (0.9)	- (-)	5.8 (2.9)	14.9 (6.9)	- (-4.3)	13.1 (1.6)	4.9 (-3.0)	4.6 (-6.8)	3.4 (1.5)	0.5 (-0.5)
関東	341	0.1 (-0.3)	- (-0.9)	0.2 (-0.6)	4.7 (-0.6)	9.5 (2.5)	1.4 (-2.6)	20.1 (2.4)	1.4 (-3.2)	9.5 (2.6)	11.3 (2.5)	4.3 (1.3)
中部	152	2.4 (1.0)	- (-)	- (-)	7.4 (-4.5)	15.6 (5.2)	2.8 (0.9)	13.6 (0.8)	6.8 (4.6)	10.3 (-1.4)	9.6 (3.8)	- (-3.6)
近畿	178	1.0 (0.8)	- (-)	- (-)	3.1 (0.8)	11.6 (-1.1)	2.1 (1.3)	10.8 (0.6)	7.2 (1.0)	7.6 (-6.2)	6.7 (0.5)	2.8 (-0.8)
中国・四国	43	- (-)	- (-)	- (-)	1.6 (-8.2)	9.3 (1.0)	- (-2.7)	4.2 (-2.1)	- (-1.8)	11.1 (-2.8)	7.9 (2.3)	0.9 (-0.3)
九州	67	0.6 (0.6)	- (-)	- (-0.3)	6.1 (-2.2)	3.5 (-5.0)	11.0 (8.9)	12.4 (-0.5)	8.4 (5.6)	2.2 (-9.9)	11.0 (8.0)	1.1 (0.5)
大学院生	71	- (-1.8)	- (-)	- (-)	8.5 (5.8)	23.9 (-6.1)	5.6 (-0.6)	16.9 (1.9)	2.8 (0.2)	4.2 (0.7)	2.8 (-0.7)	1.4 (0.5)

* カッコ内は2024年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 2024年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑤就職予定先の企業状況

※就職確定者ベース

※前ページより続き

n=		学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	複合サービス事業	サービス業（他に分類されないもの）	公務（他に分類されるものを除く）	NPO等団体	その他
大学生	856	1.6 (-1.7)	2.6 (0.4)	2.5 (0.2)	5.7 (1.2)	11.7 (-0.4)	2.7 (-0.1)	6.6 (-1.6)	5.3 (0.6)	0.2 (0.1)	2.7 (-0.4)
文系	590	1.3 (-1.8)	3.2 (0.5)	3.3 (0.6)	7.3 (1.8)	7.2 (0.3)	3.3 (-0.3)	7.9 (-2.0)	5.2 (0.4)	0.2 (-0.0)	3.3 (-0.6)
国公立	76	5.7 (2.2)	2.0 (-2.2)	2.4 (0.9)	8.9 (0.7)	3.6 (-1.2)	2.9 (0.2)	4.5 (-3.9)	13.4 (4.8)	1.0 (0.6)	1.5 (-0.0)
私立	513	0.7 (-2.4)	3.4 (0.9)	3.4 (0.6)	7.1 (1.9)	7.8 (0.6)	3.3 (-0.4)	8.4 (-1.7)	4.0 (-0.3)	0.1 (-0.1)	3.5 (-0.6)
理系	266	2.1 (-1.3)	1.2 (0.2)	0.7 (-0.5)	2.0 (-0.1)	21.7 (-1.9)	1.3 (0.5)	3.7 (-0.6)	5.4 (1.2)	0.3 (0.3)	1.6 (-0.2)
国公立	95	- (-1.7)	- (-3.6)	- (-0.6)	2.7 (2.1)	18.1 (-2.6)	- (-0.6)	6.0 (3.0)	7.9 (3.2)	- (-)	- (-2.4)
私立	172	3.3 (-0.8)	1.8 (1.8)	1.0 (-0.4)	1.6 (-1.1)	23.7 (-1.0)	2.1 (1.1)	2.5 (-2.4)	4.0 (-0.0)	0.4 (0.4)	2.5 (1.0)
北海道・東北	76	- (-3.0)	0.5 (-2.2)	- (-0.4)	3.4 (-0.2)	21.1 (3.1)	7.9 (-1.3)	9.1 (6.2)	8.9 (-0.4)	0.5 (0.5)	0.5 (-1.4)
関東	341	2.9 (-0.5)	2.4 (0.6)	2.6 (-0.2)	3.4 (-1.9)	7.8 (-1.9)	3.2 (1.1)	7.4 (-0.7)	3.2 (-0.2)	0.3 (0.2)	4.2 (0.6)
中部	152	1.9 (-1.1)	1.2 (-1.3)	4.8 (1.1)	4.8 (0.8)	9.7 (-1.7)	- (-2.8)	2.7 (-1.9)	5.0 (1.5)	- (-)	1.2 (-1.4)
近畿	178	- (-5.1)	6.0 (2.7)	0.6 (-0.7)	9.3 (5.6)	13.4 (6.7)	2.3 (-1.1)	6.5 (-5.1)	5.5 (1.8)	0.2 (0.2)	3.2 (-2.0)
中国・四国	43	- (-1.5)	- (-0.8)	7.5 (6.6)	8.4 (3.9)	27.6 (8.2)	4.2 (4.2)	2.7 (-10.4)	11.9 (2.8)	- (-)	2.6 (1.7)
九州	67	1.1 (0.3)	1.7 (0.6)	1.1 (-0.4)	10.2 (6.2)	11.1 (-13.9)	- (-0.8)	11.1 (3.1)	7.6 (1.0)	- (-1.1)	- (-0.8)
大学院生	71	9.9 (-5.2)	- (-)	- (-0.9)	1.4 (-2.1)	8.5 (0.5)	- (-)	8.5 (6.7)	5.6 (2.1)	- (-0.9)	- (-)

* カッコ内は2024年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 2024年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑤就職予定先の企業状況

**就職予定先の従業員規模は、大学生は「300人～999人」の割合が最も高い。
大学院生は「5,000人以上」の割合が最も高く、2024年卒から増加。**

就職確定者における就職予定先の従業員規模は、大学生は「300人～999人」の割合が最も高い。
大学院生は「5,000人以上」の割合が最も高い。

2024年卒と比べると、文系の国公立大学生は「5,000人以上」の割合が大幅に増加している。
理系の国公立大学生は「100人未満」の割合が大幅に増加している。(図表6)

図表6 就職確定者の就職予定先の従業員規模(単一回答、単位=%)

※就職確定者ベース

n=		100人未満	100人～299人	300人～999人	1,000人～4,999人	5,000人以上
大学生	856	13.3 (-0.7)	17.3 (-4.2)	25.2 (-1.1)	24.7 (2.5)	19.5 (3.6)
文系	590	14.1 (-1.0)	18.5 (-1.7)	23.4 (-3.5)	22.7 (0.3)	21.3 (5.9)
国公立	76	13.0 (2.5)	15.3 (-5.6)	18.0 (-8.0)	21.9 (0.5)	31.8 (10.6)
私立	513	14.2 (-1.4)	19.0 (-1.1)	24.2 (-2.9)	22.8 (0.3)	19.8 (5.1)
理系	266	11.6 (-0.3)	14.5 (-9.8)	29.1 (4.2)	29.3 (7.5)	15.5 (-1.6)
国公立	95	19.5 (11.0)	13.9 (-13.7)	17.5 (-5.8)	32.6 (3.7)	16.6 (4.8)
私立	172	7.2 (-6.0)	14.9 (-8.1)	35.5 (9.9)	27.5 (8.5)	14.9 (-4.3)
北海道・東北	76	10.5 (-13.7)	22.6 (6.0)	31.7 (5.9)	24.4 (3.2)	10.9 (-1.6)
関東	341	11.1 (-1.4)	14.7 (-7.4)	29.2 (5.1)	24.0 (0.3)	21.2 (3.4)
中部	152	15.3 (-6.0)	21.3 (-1.1)	23.3 (-1.8)	28.2 (7.7)	11.9 (1.2)
近畿	178	15.1 (6.0)	14.5 (-4.6)	19.1 (-9.4)	26.9 (2.8)	24.4 (5.2)
中国・四国	43	15.4 (7.5)	19.7 (-1.4)	21.5 (-8.0)	19.5 (-4.3)	24.0 (6.2)
九州	67	17.3 (3.3)	21.4 (-5.3)	20.5 (-11.2)	18.7 (4.1)	22.2 (9.1)
大学院生	71	5.6 (-3.2)	15.5 (5.8)	14.1 (-2.7)	26.8 (-8.6)	38.0 (8.8)

* カッコ内は2024年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 2024年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑤就職予定先の企業状況

**採用・コースは大学生・大学院生ともに「総合職」の割合が最も高く、半数以上を占める。
2024年卒より増加。**

就職確定者において、就職予定先で応募した採用・コースは、大学生・大学院生ともに「総合職」の割合が最も高い。大学生で5割超、大学院生では6割超。

2024年卒と比べると、大学生・大学院生ともに「総合職」の割合は増加している。（図表7）

図表7 就職確定者の就職予定先で応募した採用・コース（単一回答、単位=%）

※就職確定者ベース

n=		総合職	一般職	地域限定職	職務限定職	その他の採用 または職種・ コース	採用または 職種・コース等 の定めがない
大学生	856	50.4 (4.0)	26.0 (-1.0)	4.5 (-0.1)	7.2 (0.1)	4.3 (-0.6)	7.5 (-2.4)
文系	590	56.3 (6.5)	24.4 (-4.2)	5.5 (1.1)	4.6 (-0.2)	2.7 (-1.1)	6.4 (-2.2)
国公立	76	63.4 (4.4)	19.2 (-1.6)	5.3 (2.2)	4.6 (-3.3)	0.5 (-1.8)	7.0 (0.1)
私立	513	55.2 (6.6)	25.2 (-4.4)	5.6 (1.0)	4.6 (0.2)	3.1 (-0.9)	6.3 (-2.5)
理系	266	37.5 (-1.7)	29.4 (6.2)	2.3 (-2.9)	13.0 (0.9)	7.8 (0.4)	9.9 (-3.0)
国公立	95	35.3 (0.9)	26.1 (-5.4)	3.5 (0.5)	14.2 (-1.3)	6.8 (-0.9)	14.1 (6.2)
私立	172	38.7 (-2.4)	31.2 (11.3)	1.6 (-4.4)	12.4 (1.6)	8.4 (1.1)	7.7 (-7.2)
北海道・東北	76	41.2 (4.0)	40.4 (15.4)	1.0 (-6.3)	11.7 (3.3)	1.5 (-9.6)	4.2 (-6.8)
関東	341	55.9 (7.4)	23.0 (-3.3)	4.7 (0.7)	5.9 (-0.3)	3.7 (-0.8)	6.8 (-3.8)
中部	152	53.3 (13.4)	24.1 (-8.9)	5.2 (-2.4)	8.2 (1.3)	2.6 (-2.3)	6.7 (-1.0)
近畿	178	50.4 (-5.5)	26.1 (-0.7)	2.1 (-0.2)	7.3 (2.4)	7.2 (3.2)	6.9 (0.8)
中国・四国	43	38.3 (-0.6)	30.8 (4.5)	8.4 (4.0)	8.8 (-2.9)	3.3 (-0.9)	10.3 (-4.1)
九州	67	34.6 (-10.1)	25.4 (6.6)	10.3 (5.6)	5.4 (-5.4)	7.8 (2.7)	16.3 (0.5)
大学院生	71	60.6 (6.6)	12.7 (-3.3)	1.4 (-1.2)	8.5 (-3.1)	8.5 (2.3)	8.5 (-1.3)

* カッコ内は2024年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 2024年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑤就職予定先の企業状況

就職活動を開始した当初の就職予定先の志望状況について、「当初から第1志望(群)だった」の割合が大学生では5割後半、大学院生では6割後半で最も高い。

就職確定者における就職予定先の当初の志望状況は、大学生・大学院生ともに「当初から第1志望(群)だった」の割合が最も高い。大学院生は大学生に比べて「当初から第1志望(群)だった」の割合が高い。

2024年卒と比べると、大学生の「当初から第1志望(群)だった」が増加している。一方で、大学院生の「当初から第1志望(群)だった」がやや減少している。(図表8)

図表8 就職確定者の就職活動を開始した当初の就職予定先の志望状況(単一回答、単位=%)

※就職確定者ベース

n=		当初から第1志望(群)だった	第1志望(群)ではないが、当初から志望していた	当初は全く志望していなかった
大学生	856	57.2 (6.7)	23.1 (-4.3)	19.7 (-2.4)
文系	590	55.7 (8.0)	21.8 (-5.2)	22.5 (-2.9)
国公立	76	61.1 (1.7)	20.2 (-1.7)	18.6 (0.0)
私立	513	54.9 (8.7)	22.0 (-5.6)	23.1 (-3.1)
理系	266	60.4 (3.9)	26.0 (-2.4)	13.5 (-1.5)
国公立	95	69.3 (11.7)	22.8 (-10.1)	7.9 (-1.7)
私立	172	55.5 (-0.6)	27.8 (1.2)	16.7 (-0.6)
北海道・東北	76	58.5 (12.0)	21.7 (-10.9)	19.7 (-1.1)
関東	341	52.4 (2.0)	26.2 (-3.5)	21.4 (1.5)
中部	152	65.3 (13.7)	20.5 (-4.7)	14.2 (-8.9)
近畿	178	58.1 (16.4)	19.8 (-4.4)	22.1 (-12.0)
中国・四国	43	65.9 (12.2)	15.4 (-12.2)	18.7 (0.1)
九州	67	53.2 (-15.0)	28.3 (3.5)	18.5 (11.5)
大学院生	71	66.2 (-3.7)	16.9 (-1.7)	16.9 (5.4)

* カッコ内は2024年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。
* 2024年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑥就職活動の開始時期、終了時期、実施期間

就職活動に関する情報収集の開始時期は、大学生では「大学3年の6～9月頃」、大学院生では「大学院1年の5月以前」の割合が最も高い。就職活動の終了時期は、大学生・大学院生ともに「大学3年／大学院1年の3月以前」の割合が最も高い。

就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集の開始時期は、大学生は「大学3年の6～9月頃」の割合が最も高い。大学院生は「大学院1年の5月以前」の割合が最も高い。2024年卒と比べると、大学生の「大学3年の5月以前」が増加している。

大学生では、プレエントリーは「大学3年の1～2月頃」、企業説明会参加は「大学3年の6～9月頃」の割合が最も高い。大学院生では、プレエントリー、企業説明会参加ともに「大学院1年の6～9月頃」の割合が最も高い。（図表9）

図表9 就職活動の開始時期（単一回答、単位=%）

※次ページへ続く

※各実施者ベース

			大学3年／大学院1年						大学4年／大学院2年		
n=			5月以前	6～9月頃	10～11月頃	12月頃	1～2月頃	3月頃	4～5月頃	6～7月頃	8月以降
就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集	大学生	936	20.3 (6.2)	29.0 (-5.6)	14.7 (0.9)	5.3 (-0.9)	12.3 (0.9)	6.6 (-0.4)	7.1 (-0.7)	1.6 (-0.6)	3.0 (0.2)
	文系	632	22.1 (5.8)	30.1 (-5.2)	14.9 (1.0)	4.9 (-1.0)	11.3 (0.7)	6.5 (0.2)	6.1 (-1.0)	1.8 (0.0)	2.5 (-0.6)
	国公立	87	26.4 (8.3)	32.4 (-11.6)	13.4 (0.4)	6.5 (2.7)	8.7 (-1.9)	6.0 (1.3)	5.6 (2.9)	0.4 (-0.9)	0.4 (-1.3)
	私立	545	21.5 (5.4)	29.7 (-4.3)	15.1 (1.1)	4.6 (-1.5)	11.7 (1.2)	6.5 (0.1)	6.1 (-1.6)	2.0 (0.2)	2.8 (-0.5)
	理系	303	16.6 (6.9)	26.7 (-6.4)	14.4 (0.5)	6.2 (-0.8)	14.4 (1.2)	6.9 (-1.5)	9.4 (-0.0)	1.3 (-1.8)	4.2 (1.9)
	国公立	109	19.1 (11.8)	25.0 (-12.0)	18.4 (4.6)	5.4 (0.4)	16.0 (2.2)	4.3 (-11.0)	5.7 (1.1)	0.7 (-0.7)	5.4 (3.5)
	私立	194	15.2 (4.4)	27.6 (-3.8)	12.1 (-1.7)	6.6 (-1.2)	13.5 (0.6)	8.4 (2.9)	11.4 (0.0)	1.6 (-2.2)	3.4 (1.1)
	大学院生	78	33.3 (1.1)	29.5 (5.5)	12.8 (6.2)	1.3 (-6.2)	9.0 (2.4)	6.4 (-2.7)	5.1 (1.8)	- (-4.1)	2.6 (-4.0)

プレエントリー	大学生	916	6.0 (1.2)	18.7 (0.3)	14.1 (0.8)	7.6 (-1.7)	19.1 (1.2)	13.5 (-2.2)	10.3 (-1.0)	5.2 (0.2)	5.5 (1.2)
	文系	618	6.9 (2.4)	19.7 (1.4)	15.9 (2.6)	6.6 (-4.3)	18.7 (-0.5)	13.8 (-1.8)	8.7 (-1.6)	4.0 (-0.6)	5.7 (2.4)
	国公立	83	8.9 (2.5)	21.7 (-0.7)	13.3 (3.4)	5.5 (-1.6)	22.8 (-1.8)	10.0 (-9.0)	11.4 (6.1)	3.3 (0.1)	3.2 (1.0)
	私立	536	6.6 (2.3)	19.4 (1.7)	16.3 (2.6)	6.8 (-4.7)	18.0 (-0.3)	14.4 (-0.8)	8.2 (-2.7)	4.1 (-0.7)	6.1 (2.6)
	理系	298	4.2 (-1.1)	16.5 (-2.1)	10.5 (-2.9)	9.7 (3.8)	19.9 (4.7)	12.7 (-3.1)	13.7 (-0.0)	7.7 (1.9)	5.0 (-1.3)
	国公立	109	2.3 (-1.5)	17.2 (-7.8)	7.5 (-8.6)	13.1 (6.5)	24.4 (8.1)	12.9 (-0.6)	14.9 (3.3)	4.5 (1.7)	3.1 (-1.1)
	私立	188	5.2 (-0.6)	16.1 (0.1)	12.2 (-0.1)	7.8 (2.1)	17.3 (2.6)	12.6 (-4.2)	13.0 (-1.6)	9.6 (2.6)	6.2 (-1.0)
	大学院生	74	10.8 (-1.0)	21.6 (7.3)	18.9 (-0.4)	6.8 (-0.8)	13.5 (-1.6)	12.2 (-1.3)	5.4 (0.4)	4.1 (-1.8)	6.8 (-0.8)

* カッコ内は2024年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。
* 2024年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色、10ポイント以上低いセルを濃い青色で網掛けした。

⑥就職活動の開始時期、終了時期、実施期間

※各実施者ベース

※前ページより続き

			大学3年／大学院1年						大学4年／大学院2年		
n=			5月以前	6～9月頃	10～11月頃	12月頃	1～2月頃	3月頃	4～5月頃	6～7月頃	8月以降
企業説明会参加	大学生	935	7.1 (0.9)	23.3 (2.4)	14.4 (0.5)	6.3 (-1.4)	15.0 (-2.6)	13.0 (-0.7)	11.2 (0.8)	5.4 (0.8)	4.4 (-0.7)
	文系	636	7.4 (1.3)	24.4 (2.7)	13.5 (-0.8)	6.2 (-1.9)	15.4 (-3.0)	13.4 (-0.8)	10.4 (0.9)	5.1 (1.5)	4.3 (0.0)
	国公立	87	10.7 (2.1)	27.5 (3.5)	10.1 (-3.4)	11.8 (6.6)	12.5 (-6.8)	7.4 (-11.4)	10.9 (5.0)	7.8 (5.1)	1.3 (-0.7)
	私立	549	6.8 (1.1)	23.9 (2.5)	14.0 (-0.4)	5.3 (-3.2)	15.8 (-2.4)	14.3 (0.8)	10.3 (0.3)	4.7 (0.9)	4.7 (0.2)
	理系	299	6.4 (0.1)	20.9 (1.6)	16.3 (3.3)	6.6 (-0.4)	14.0 (-1.9)	12.2 (-0.5)	12.8 (0.7)	6.1 (-0.7)	4.7 (-2.2)
	国公立	110	6.1 (-2.9)	22.7 (-0.4)	18.9 (8.4)	6.8 (3.3)	13.6 (-10.2)	14.3 (2.2)	10.8 (4.5)	2.1 (-3.7)	4.7 (-1.2)
	私立	189	6.6 (1.5)	19.8 (2.2)	14.8 (0.7)	6.6 (-2.0)	14.3 (1.8)	11.0 (-1.9)	13.9 (-0.7)	8.4 (1.3)	4.7 (-2.7)
	大学院生	73	13.7 (1.5)	34.2 (9.9)	12.3 (-1.5)	1.4 (-1.9)	12.3 (1.8)	8.2 (-8.0)	11.0 (6.9)	2.7 (-3.0)	4.1 (-5.6)

* カッコ内は2024年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 2024年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色、10ポイント以上低いセルを濃い青色で網掛けした。

⑥就職活動の開始時期、終了時期、実施期間

就職活動の終了時期は、大学生・大学院生ともに「大学3年／大学院1年の3月以前」の割合が最も高い。

2024年卒と比べると、文系の国公立大学生以外は「大学3年／大学院1年の3月以前」が増加しており、全体的に終了時期が早くなっている様子。(図表10)

図表10 就職活動の終了時期(単一回答、単位=%)

n=		大学3年／ 大学院1年 の3月以前	大学4年／大学院2年							活動継続中
			4月頃	5月頃	6月頃	7月頃	8月頃	9月頃	10～3月頃	
大学生	987	20.1 (2.0)	9.5 (2.3)	11.4 (-1.4)	12.2 (-2.9)	10.3 (2.3)	9.5 (-0.8)	6.0 (1.4)	14.2 (-3.2)	6.9 (0.4)
文系	659	19.8 (1.0)	9.0 (1.7)	11.4 (-0.9)	11.8 (-2.8)	11.5 (3.3)	10.3 (-0.0)	6.5 (2.0)	13.7 (-4.5)	6.1 (0.1)
国公立	89	18.2 (-1.7)	11.4 (5.2)	9.1 (-2.9)	11.5 (-2.5)	13.1 (2.2)	8.1 (-1.0)	10.1 (4.6)	10.3 (-6.8)	8.3 (2.8)
私立	570	20.1 (1.4)	8.6 (1.2)	11.8 (-0.6)	11.9 (-2.8)	11.2 (3.5)	10.7 (0.2)	5.9 (1.6)	14.2 (-4.1)	5.7 (-0.3)
理系	328	20.6 (4.0)	10.6 (3.6)	11.2 (-2.5)	12.9 (-3.2)	7.9 (0.1)	8.0 (-2.4)	5.0 (0.3)	15.3 (-0.8)	8.4 (0.9)
国公立	117	31.5 (8.9)	10.6 (5.0)	9.1 (-6.1)	15.5 (8.5)	4.9 (-6.0)	9.9 (-5.4)	3.5 (-0.2)	8.6 (-3.2)	6.4 (-1.6)
私立	212	14.7 (0.6)	10.7 (3.0)	12.4 (-0.6)	11.6 (-8.5)	9.6 (3.1)	6.9 (-1.4)	5.7 (0.7)	18.9 (1.0)	9.6 (2.2)
大学院生	80	32.5 (4.8)	16.3 (5.5)	10.0 (-3.1)	3.8 (-8.6)	5.0 (2.7)	1.3 (-5.7)	2.5 (-0.6)	23.8 (9.9)	5.0 (-5.0)

* カッコ内は2024年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。
* 2024年とのスコア差が5ポイント以上高いセルを薄いオレンジ色、5ポイント以上低いセルを薄い青色で網掛けした。

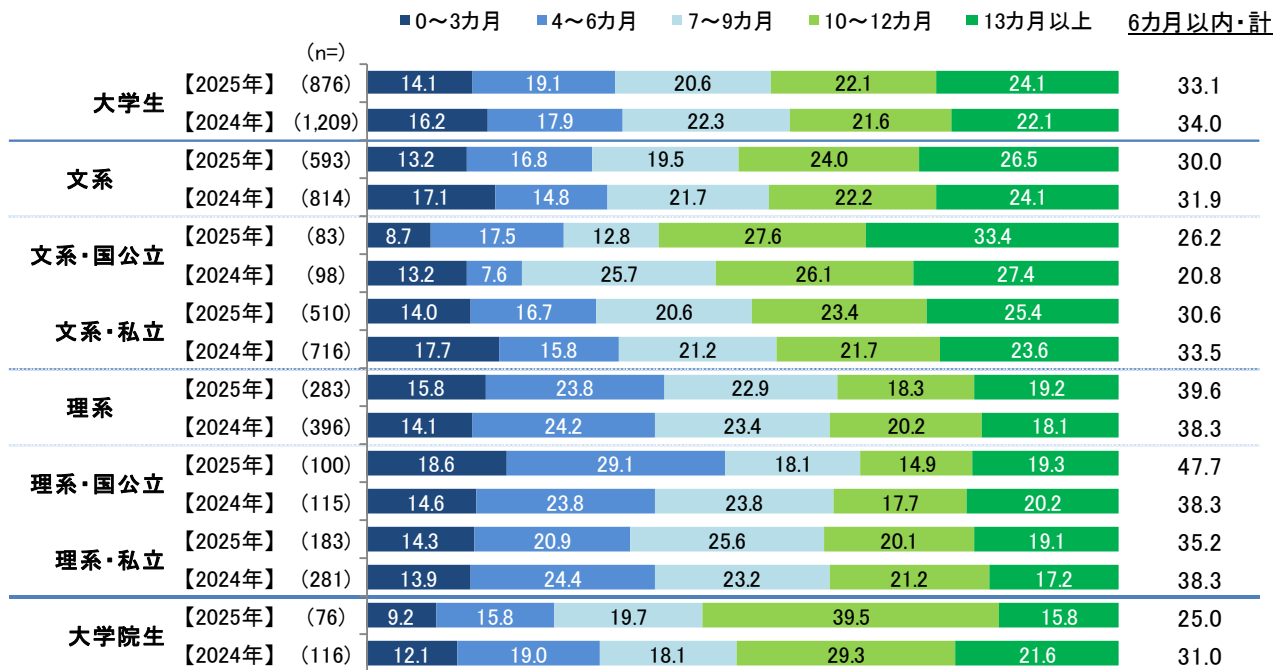
⑥就職活動の開始時期、終了時期、実施期間

就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集の開始時期から就職活動の終了時期までの実施期間は、大学生で3割前半が、大学院生で2割半ばが6カ月以内となっている。2024年卒と比べると、大学院生の「6カ月以内・計」の割合が減少している。(図表11)

プレエントリーの開始時期から就職活動の終了時期までの実施期間は、大学生・大学院生ともに「0～3カ月」の割合が最も高い。企業説明会参加の開始時期から就職活動の終了時期までの実施期間は、大学院生で「7～9カ月」の割合が最も高く、2024年卒から大幅に増加。面接などの選考の開始時期から就職活動の終了時期までの実施期間は、大学生・大学院生ともに「0～2カ月」の割合が最も高い。(図表12)

図表11 就職活動の実施期間(単一回答、単位=%)

* 就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集の開始月から就職活動の終了月。
3月下旬時点の活動継続者は端数を切り上げ4月1日まで活動したとみなして算出。



※6カ月以内・計:「0～3カ月」+「4～6カ月」

図表12 就職活動の実施期間(単一回答、単位=%)

* 各就職活動の開始月から就職活動の終了月。
3月下旬時点の活動継続者は端数を切り上げ4月1日まで活動したとみなして算出。

n=			0～3カ月	4～6カ月	7～9カ月	10～12カ月	13カ月以上
プレ エントリー	大学生	835	26.7 (2.1)	26.1 (-5.2)	20.9 (1.7)	14.7 (1.0)	11.6 (0.5)
	大学院生	71	28.2 (9.6)	26.8 (-9.5)	21.1 (2.5)	16.9 (-0.8)	7.0 (-1.8)
企業 説明 会	大学生	860	25.8 (2.8)	25.3 (-2.2)	19.9 (-1.3)	16.3 (1.1)	12.6 (-0.4)
	大学院生	69	20.3 (-2.1)	24.6 (-4.7)	30.4 (10.6)	13.0 (-3.3)	11.6 (-0.5)
n=			0～2カ月	3～4カ月	5～6カ月	7～9カ月	10カ月以上
面接 など の 選考	大学生	862	27.9 (0.7)	19.2 (-1.3)	17.2 (-1.5)	16.8 (1.2)	18.9 (1.0)
	大学院生	72	27.8 (4.0)	18.1 (-4.8)	18.1 (-4.0)	22.2 (9.5)	13.9 (-4.8)

* カッコ内は2024年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤字にした。

* 2024年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色、10ポイント以上低いセルを濃い青色で網掛けした。

⑦就職活動の各プロセスの活動量

大学生の就職活動の各プロセスにおける活動量は、プレエントリー14.8社、企業説明会参加15.1社、書類選考9.3社、面接などの選考10.2社。2024年卒よりやや減少、もしくは同水準。

各プロセスの対象企業・団体数の平均値は、大学生ではプレエントリー14.8社、企業説明会参加15.1社、書類選考9.3社、面接などの選考10.2社、最終面接4.4社、内定取得2.4社。属性別に見ると、理系大学生よりも文系大学生でプレエントリー、企業説明会参加、書類選考などの社数が多く、内定の社数も文系大学生の方がやや多い。

2024年卒と比べると、大学生はいずれの活動量もやや減少、もしくは同水準で推移している。

プレエントリーした企業のうち、就職活動開始前から知っていた企業は、大学生・大学院生ともに9.5社程度となっており、大学生・大学院生で違いは見られない。(図表13)

図表13 就職活動の各プロセスにおける対象企業・団体数の平均値(各数値回答、単位=社) ※0社回答を除く

※各実施者ベース

	プレエントリーした	プレエントリーしたうち、就職活動開始前から知っていた	企業説明会に参加した	書類選考を受けた	面接などの選考を受けた			最終面接を受けた	内定(内々定)を取得した
					対面+Web・計	対面	Web		
大学生	14.8 (-2.0)	9.6 (0.2)	15.1 (-0.4)	9.3 (-0.8)	10.2 (-0.7)	5.0 (-0.2)	6.5 (-0.4)	4.4 (0.1)	2.4 (0.1)
文系	17.2 (-2.1)	11.1 (0.4)	16.7 (-0.6)	10.7 (-0.8)	11.2 (-0.8)	5.3 (-0.3)	7.0 (-0.5)	4.5 (-0.1)	2.5 (0.2)
国公立	22.6 (5.1)	15.2 (3.6)	17.8 (-0.6)	13.4 (1.5)	13.3 (0.1)	6.3 (0.6)	8.6 (-0.4)	4.2 (0.2)	2.6 (0.2)
私立	16.4 (-3.2)	10.4 (-0.2)	16.5 (-0.6)	10.3 (-1.2)	10.9 (-1.0)	5.2 (-0.5)	6.7 (-0.5)	4.6 (-0.1)	2.5 (0.2)
理系	9.9 (-1.6)	6.5 (0.0)	11.9 (0.1)	6.3 (-0.9)	8.1 (-0.3)	4.2 (0.1)	5.4 (-0.1)	4.0 (0.4)	2.1 (-0.1)
国公立	7.9 (-9.5)	5.7 (-1.3)	9.8 (-5.5)	5.0 (-5.0)	6.2 (-4.7)	3.3 (-2.4)	4.1 (-2.5)	4.0 (0.5)	2.1 (-0.5)
私立	11.0 (1.8)	7.1 (0.8)	13.1 (2.8)	7.0 (1.0)	9.2 (1.9)	4.7 (1.3)	6.1 (1.1)	4.0 (0.3)	2.1 (0.1)
北海道・東北	9.3 (-2.1)	5.5 (-1.3)	9.5 (-2.3)	6.2 (-2.4)	6.3 (-1.5)	3.0 (-0.8)	4.2 (-0.6)	3.3 (-0.2)	2.0 (0.2)
関東	18.0 (-0.9)	10.8 (-0.8)	17.5 (0.5)	10.9 (-0.1)	11.9 (-1.0)	5.5 (-0.5)	7.5 (-0.6)	4.8 (0.1)	2.6 (0.1)
中部	12.5 (-2.1)	9.9 (2.9)	12.4 (1.1)	7.9 (0.2)	8.0 (0.2)	4.1 (0.5)	4.9 (-0.3)	4.3 (0.6)	2.4 (0.3)
近畿	14.5 (-3.4)	10.1 (-0.4)	17.1 (-1.2)	10.0 (-2.9)	12.5 (-0.5)	6.5 (0.3)	7.5 (-0.3)	4.5 (-0.3)	2.4 (0.2)
中国・四国	9.4 (-7.3)	6.2 (-0.1)	8.9 (-8.1)	5.2 (-2.4)	5.6 (-2.7)	2.7 (-1.5)	4.2 (-1.3)	3.3 (-0.6)	1.8 (-0.4)
九州	14.2 (-0.3)	8.0 (0.9)	13.8 (1.0)	7.9 (0.2)	8.3 (-0.7)	3.8 (-0.7)	6.1 (0.4)	3.9 (0.2)	2.0 (-0.3)
大学院生	16.9 (1.3)	9.5 (0.6)	18.5 (4.7)	8.8 (-0.8)	9.7 (-0.2)	4.2 (-0.4)	6.7 (0.1)	4.2 (0.4)	2.7 (0.4)

* カッコ内は2024年とのスコア差を掲載。
* 各プロセスの文理別／文理×国公立別／地域別で、対象企業・団体数の平均値が最も高いスコアに下線を引いた。
* 2024年とのスコア差が5ポイント以上高いセルを薄いオレンジ色、5ポイント以上低いセルを薄い青色で網掛けした。
* 「企業説明会参加」「面接などの選考」「最終面接」については、対面とWebそれぞれで聴取。

⑦就職活動の各プロセスの活動量

※回答者数(単位=人)

	プレエントリーした	プレエントリーしたうち、就職活動開始前から知っていた	企業説明会に参加した	書類選考を受けた	面接などの選考を受けた			最終面接を受けた	内定(内々定)を取得した
					対面+Web・計	対面	Web		
大学生	916	817	916	957	917	866	776	908	909
文系	618	550	621	643	622	588	552	619	617
国公立	83	74	81	86	84	78	73	84	83
私立	536	476	540	558	538	510	479	535	534
理系	298	267	295	314	295	278	224	288	292
国公立	109	105	109	112	107	102	79	105	109
私立	188	162	186	202	188	177	145	183	183
北海道・東北	72	63	75	77	72	72	56	75	78
関東	371	331	369	387	367	344	325	360	363
中部	156	142	162	165	163	155	139	162	161
近畿	187	166	185	197	188	180	157	188	184
中国・四国	50	44	49	53	51	44	39	50	50
九州	80	71	77	78	76	71	60	72	73
大学院生	74	67	69	79	76	70	66	74	68

⑦就職活動の各プロセスの活動量

大学生の就職活動の各プロセスの対象企業・団体数の分布を属性別に見ると、企業説明会への参加社数は、文系大学生は「20～49社」の割合が最も高い。理系大学生は「1～4社」の割合が最も高い。書類選考を受けた社数は、文系大学生、理系大学生ともに「1～4社」の割合が最も高い。

2024年卒と比べると、理系の国公立大学生においてプレエントリー社数や企業説明会参加社数などで「1～4社」の割合が大幅に増加している。(図表14)

図表14 就職活動の各プロセスにおける対象企業・団体数の分布(数値回答、単位=%)

※次ページへ続く

n=			20社未満				20～49社	50～99社	100社以上
			0社	1～4社	5～9社	10～19社			
(資料・採用情報 の請求) プレ エ ン ト リ ー し た	大学生	987	7.2 (1.2)	33.0 (2.1)	13.8 (-2.5)	17.6 (1.4)	22.0 (-1.1)	4.9 (-0.3)	1.6 (-0.8)
	文系	659	6.1 (1.7)	27.6 (0.0)	12.9 (-2.4)	19.4 (2.7)	25.0 (-1.3)	7.1 (0.7)	1.9 (-1.5)
	国公立	89	6.8 (2.7)	22.7 (-5.2)	7.8 (-9.5)	19.5 (1.9)	29.0 (6.4)	12.1 (4.3)	2.1 (-0.7)
	私立	570	6.0 (1.6)	28.4 (0.9)	13.7 (-1.3)	19.4 (2.8)	24.4 (-2.5)	6.3 (0.1)	1.9 (-1.6)
	理系	328	9.3 (0.2)	43.7 (6.2)	15.5 (-2.7)	14.0 (-1.4)	15.9 (-0.5)	0.5 (-2.2)	1.0 (0.4)
	国公立	117	6.2 (-8.3)	50.8 (22.1)	15.7 (-1.6)	12.3 (-1.1)	15.0 (-4.4)	— (-4.7)	— (-1.9)
	私立	212	11.0 (4.2)	39.9 (-1.5)	15.5 (-3.2)	15.0 (-1.3)	16.4 (1.3)	0.7 (-1.0)	1.5 (1.5)
	大学院生	80	7.5 (-1.0)	30.0 (6.2)	11.3 (-8.0)	22.5 (4.0)	21.3 (-4.9)	5.0 (2.7)	2.5 (1.0)
企業説明会に 参加した	大学生	987	7.2 (0.4)	24.3 (3.0)	17.1 (-3.4)	23.7 (0.0)	24.4 (2.1)	2.6 (-2.2)	0.8 (0.1)
	文系	659	5.7 (0.3)	19.4 (0.1)	15.9 (-2.5)	26.3 (2.5)	28.9 (2.6)	3.1 (-2.7)	0.8 (-0.3)
	国公立	89	9.2 (5.1)	11.5 (-6.7)	15.8 (-11.1)	26.4 (8.1)	34.2 (10.8)	3.0 (-2.5)	— (-3.8)
	私立	570	5.2 (-0.4)	20.6 (1.2)	15.9 (-1.3)	26.3 (1.7)	28.1 (1.4)	3.1 (-2.8)	0.9 (0.2)
	理系	328	10.1 (0.7)	34.2 (8.7)	19.5 (-5.3)	18.3 (-4.8)	15.3 (1.0)	1.8 (-1.1)	0.8 (0.8)
	国公立	117	6.4 (-3.4)	40.9 (20.4)	18.3 (-3.8)	15.5 (-7.4)	18.9 (0.9)	— (-6.7)	— (-)
	私立	212	12.2 (3.0)	30.5 (2.9)	20.2 (-5.7)	19.9 (-3.4)	13.3 (0.6)	2.8 (1.5)	1.2 (1.2)
	大学院生	80	13.8 (5.3)	15.0 (-9.6)	20.0 (4.6)	16.3 (-9.9)	27.5 (4.4)	6.3 (4.7)	1.3 (0.5)

* カッコ内は2024年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 2024年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑦就職活動の各プロセスの活動量

※前ページより続き／次ページへ続く

n=			20社未満				20～49社	50～99社	100社以上
			0社	1～4社	5～9社	10～19社			
書類選考を受けた	大学生	987	3.1 (-0.5)	41.9 (3.0)	20.6 (0.0)	18.3 (0.1)	14.3 (-2.0)	1.4 (-0.7)	0.3 (0.2)
	文系	659	2.3 (-1.5)	35.4 (2.4)	20.0 (-1.2)	23.0 (3.7)	17.4 (-2.6)	1.5 (-1.1)	0.4 (0.3)
	国公立	89	3.4 (0.4)	26.3 (-7.1)	19.0 (-9.7)	29.3 (17.6)	19.0 (1.4)	1.3 (-4.2)	1.6 (1.6)
	私立	570	2.2 (-1.7)	36.8 (3.8)	20.1 (-0.1)	22.0 (1.7)	17.1 (-3.1)	1.5 (-0.7)	0.3 (0.1)
	理系	328	4.5 (1.4)	55.2 (4.1)	21.9 (2.6)	8.9 (-7.1)	8.3 (-1.0)	1.3 (0.0)	- (-)
	国公立	117	4.2 (-0.4)	64.3 (18.0)	17.2 (-3.0)	7.9 (-2.8)	6.4 (-7.6)	- (-4.3)	- (-)
	私立	212	4.7 (2.2)	50.1 (-2.9)	24.5 (5.5)	9.4 (-8.9)	9.3 (2.1)	2.0 (2.0)	- (-)
	大学院生	80	1.3 (-4.9)	42.5 (11.0)	18.8 (-6.6)	25.0 (7.3)	11.3 (-7.2)	1.3 (0.5)	- (-)
面接などの選考を受けた (対面+Web)	大学生	987	7.1 (-0.1)	36.5 (2.2)	20.4 (-2.3)	19.7 (-0.8)	14.6 (1.4)	1.3 (-0.6)	0.4 (0.1)
	文系	659	5.6 (0.7)	31.0 (-2.6)	22.6 (1.5)	22.0 (-0.4)	17.3 (1.7)	1.2 (-0.9)	0.3 (-0.1)
	国公立	89	5.5 (0.4)	27.0 (-4.2)	20.0 (-6.7)	24.9 (4.6)	18.9 (8.5)	2.1 (-2.1)	1.6 (-0.4)
	私立	570	5.6 (0.7)	31.6 (-2.3)	23.0 (2.7)	21.5 (-1.1)	17.0 (0.8)	1.1 (-0.8)	0.1 (-0.1)
	理系	328	10.1 (-1.6)	47.7 (11.8)	16.0 (-9.9)	15.2 (-1.6)	9.1 (0.6)	1.3 (0.2)	0.5 (0.5)
	国公立	117	7.9 (-3.8)	56.2 (20.0)	16.3 (-6.8)	10.1 (-4.9)	9.5 (-0.6)	- (-3.9)	- (-)
	私立	212	11.2 (-0.3)	43.1 (7.2)	15.8 (-11.3)	18.1 (0.4)	9.0 (1.1)	2.0 (2.0)	0.8 (0.8)
	大学院生	80	5.0 (1.2)	33.8 (-4.7)	26.3 (4.7)	23.8 (2.2)	10.0 (-3.1)	1.3 (0.5)	- (-0.8)
面接などの選考を受けた (対面)	大学生	987	12.3	52.8	20.6	10.6	3.5	0.3	-
	文系	659	10.8	51.0	21.8	12.2	3.8	0.4	-
	国公立	89	12.2	41.4	26.7	14.6	3.4	1.6	-
	私立	570	10.6	52.5	21.0	11.8	3.8	0.3	-
	理系	328	15.2	56.4	18.1	7.3	2.9	-	-
	国公立	117	12.6	62.1	17.4	7.9	-	-	-
	私立	212	16.6	53.3	18.5	7.0	4.5	-	-
	大学院生	80	12.5	62.5	15.0	7.5	2.5	-	-
面接などの選考を受けた (Web)	大学生	987	21.3	40.0	18.8	13.0	6.5	0.3	-
	文系	659	16.1	39.1	21.1	15.3	8.1	0.2	-
	国公立	89	17.6	32.7	20.5	18.7	8.9	1.6	-
	私立	570	15.9	40.1	21.2	14.8	8.0	-	-
	理系	328	31.8	42.0	14.3	8.2	3.2	0.5	-
	国公立	117	32.5	48.8	9.3	7.3	2.2	-	-
	私立	212	31.4	38.2	17.1	8.7	3.7	0.8	-
	大学院生	80	17.5	38.8	26.3	11.3	5.0	1.3	-

* カッコ内は2024年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 2024年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

* 「企業説明会参加」「面接などの選考」「最終面接」については、対面とWebそれぞれで聴取。

⑦就職活動の各プロセスの活動量

※前ページより続き

n=			20社未満				20～49社	50～99社	100社以上
			0社	1～4社	5～9社	10～19社			
最終面接を受けた	大学生	987	8.0 (1.0)	63.3 (-2.6)	19.3 (1.3)	7.5 (0.1)	1.9 (0.1)	- (-)	- (-)
	文系	659	6.0 (0.9)	62.0 (-3.0)	21.8 (2.1)	8.5 (0.6)	1.7 (-0.6)	- (-)	- (-)
	国公立	89	5.0 (-1.7)	64.7 (-0.9)	21.3 (0.8)	6.9 (0.7)	2.1 (1.0)	- (-)	- (-)
	私立	570	6.2 (1.3)	61.6 (-3.4)	21.9 (2.3)	8.8 (0.6)	1.7 (-0.9)	- (-)	- (-)
	理系	328	12.1 (1.1)	65.9 (-1.7)	14.2 (-0.3)	5.5 (-0.8)	2.3 (1.7)	- (-)	- (-)
	国公立	117	9.9 (-2.2)	72.0 (10.3)	9.3 (-11.1)	4.4 (-1.4)	4.4 (4.4)	- (-)	- (-)
	私立	212	13.4 (2.9)	62.5 (-7.6)	16.9 (4.9)	6.1 (-0.5)	1.2 (0.3)	- (-)	- (-)
	大学院生	80	7.5 (1.3)	61.3 (-4.1)	22.5 (1.0)	7.5 (0.6)	1.3 (1.3)	- (-)	- (-)

n=			0社	1社	2社	3社	4社	5社以上
内定（内々定）を取得した	大学生	987	7.9 (-1.1)	32.6 (-4.5)	27.1 (2.6)	15.6 (0.7)	7.6 (1.9)	9.2 (0.4)
	文系	659	6.3 (-1.4)	29.1 (-7.1)	27.1 (2.1)	18.3 (2.7)	9.0 (3.4)	10.1 (0.3)
	国公立	89	6.7 (-3.9)	32.0 (-1.6)	21.0 (0.6)	19.5 (1.4)	8.0 (1.0)	12.8 (2.6)
	私立	570	6.3 (-1.1)	28.6 (-7.9)	28.1 (2.5)	18.2 (2.8)	9.2 (3.8)	9.6 (-0.1)
	理系	328	11.0 (-0.3)	39.7 (0.5)	27.0 (3.5)	10.1 (-3.2)	4.9 (-1.2)	7.3 (0.8)
	国公立	117	6.4 (-6.7)	39.0 (0.9)	34.4 (18.9)	10.8 (-0.6)	5.1 (-3.1)	4.4 (-9.4)
	私立	212	13.6 (3.0)	40.2 (0.5)	22.9 (-4.1)	9.6 (-4.4)	4.7 (-0.5)	8.9 (5.5)
	大学院生	80	15.0 (7.3)	32.5 (-1.3)	18.8 (-11.3)	11.3 (-1.1)	11.3 (5.1)	11.3 (1.3)

* カッコ内は2024年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 2024年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑧知りたかった情報、知ることができた情報

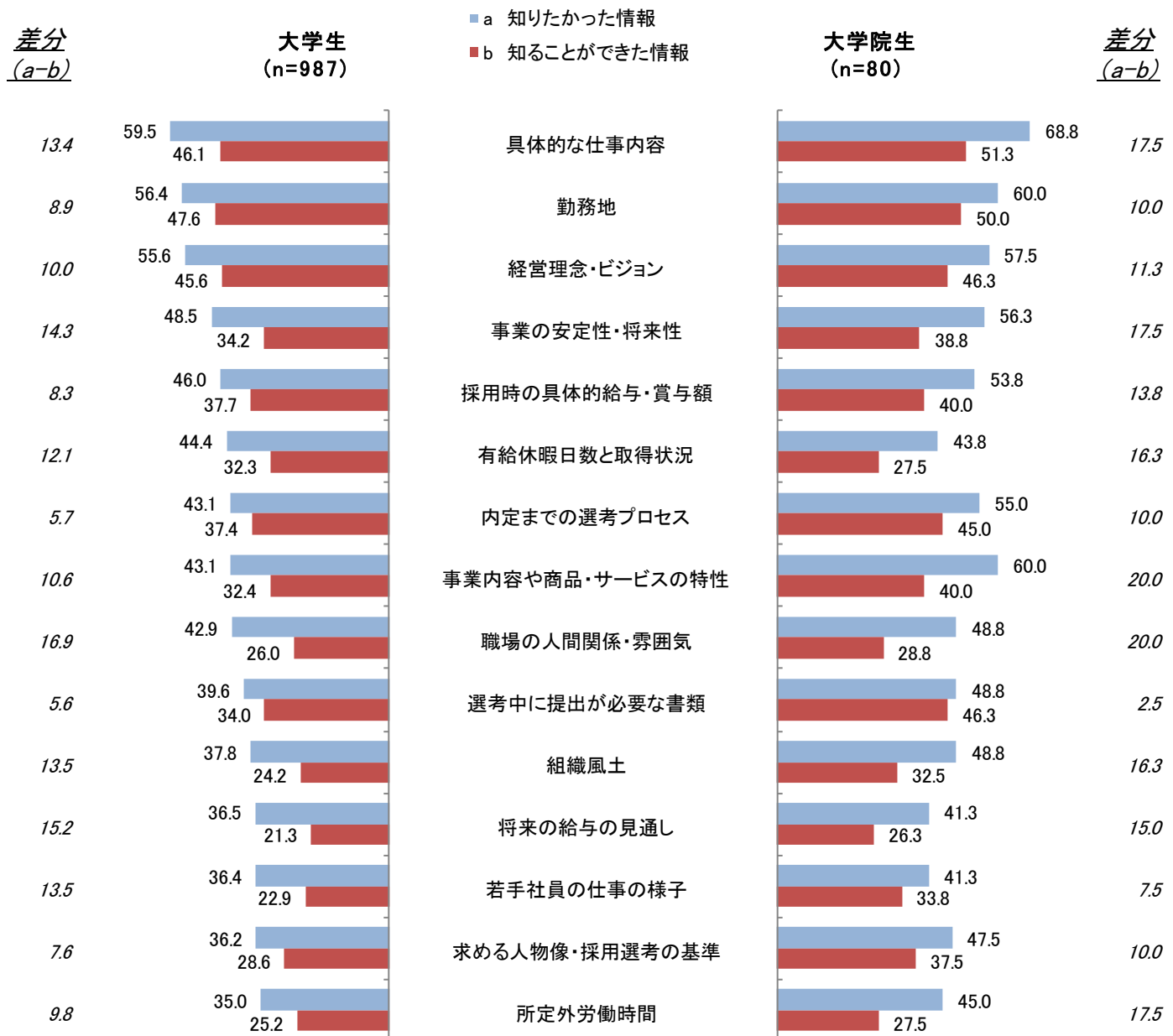
大学生が就職活動中に知りたかった情報は「具体的な仕事内容」「勤務地」「経営理念・ビジョン」の順に高く、知ることができた情報との差が大きいのは「職場の人間関係・雰囲気」「将来の給与の見通し」「事業の安定性・将来性」。

大学生が就職活動中に知りたかった情報は、「具体的な仕事内容」「勤務地」「経営理念・ビジョン」の順に高い。知りたかった情報と知ることができた情報の差は、「職場の人間関係・雰囲気」「将来の給与の見通し」「事業の安定性・将来性」の順に大きい。

大学院生が就職活動中に知りたかった情報は、「具体的な仕事内容」が最も高く、「勤務地」「事業内容や商品・サービスの特性」が同率で続く。知りたかった情報と知ることができた情報の差は、「事業内容や商品・サービスの特性」「職場の人間関係・雰囲気」「新卒者の定着状況」の3つが最も大きい。(図表15)

図表15 就職活動中に知りたかった情報、知ることができた情報(複数回答、単位=%)

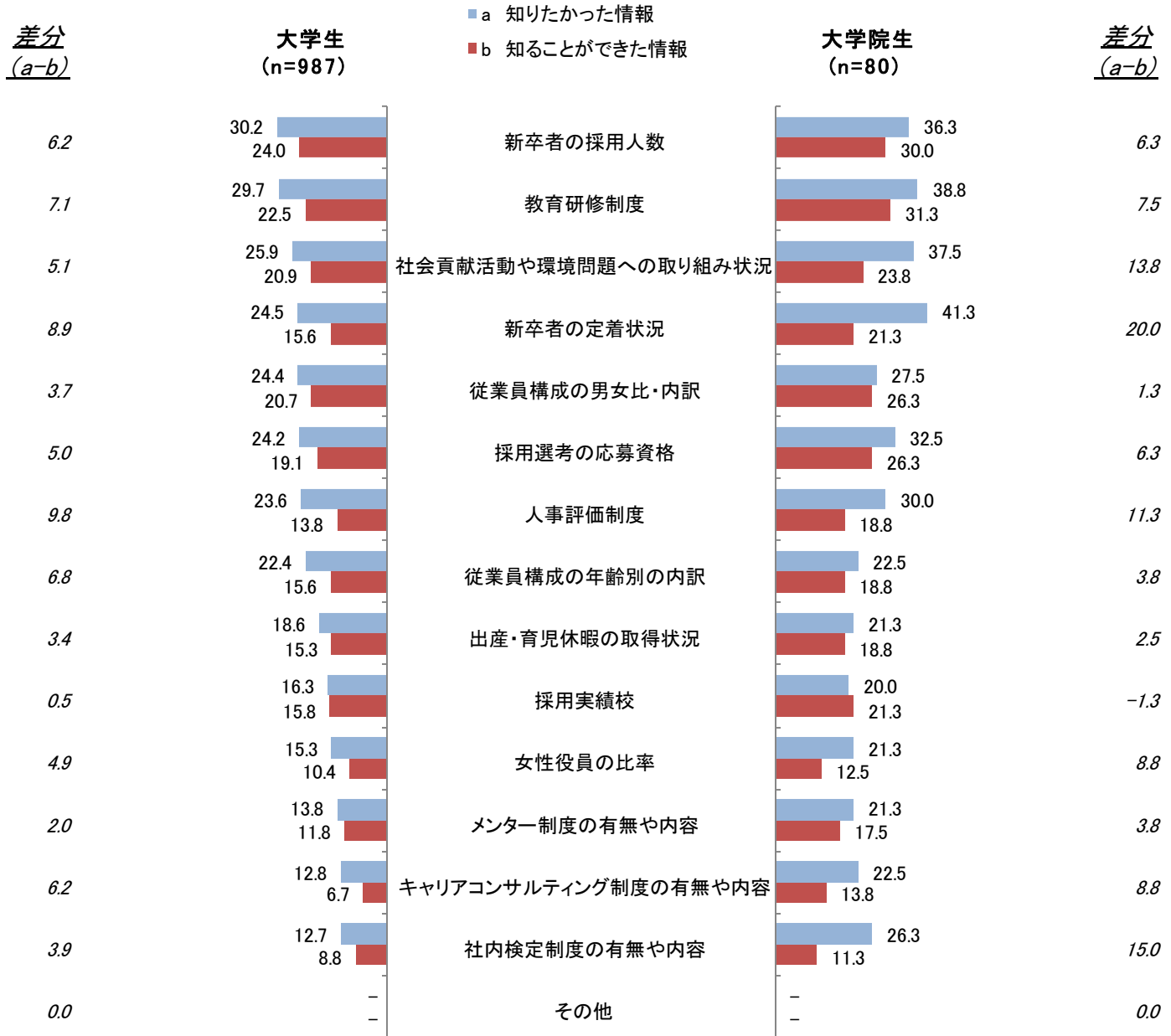
※次ページへ続く



※大学生「a 知りたかった情報」のスコアで降順に並び替え

⑧ 知りたかった情報、知ることができた情報

※前ページより続き



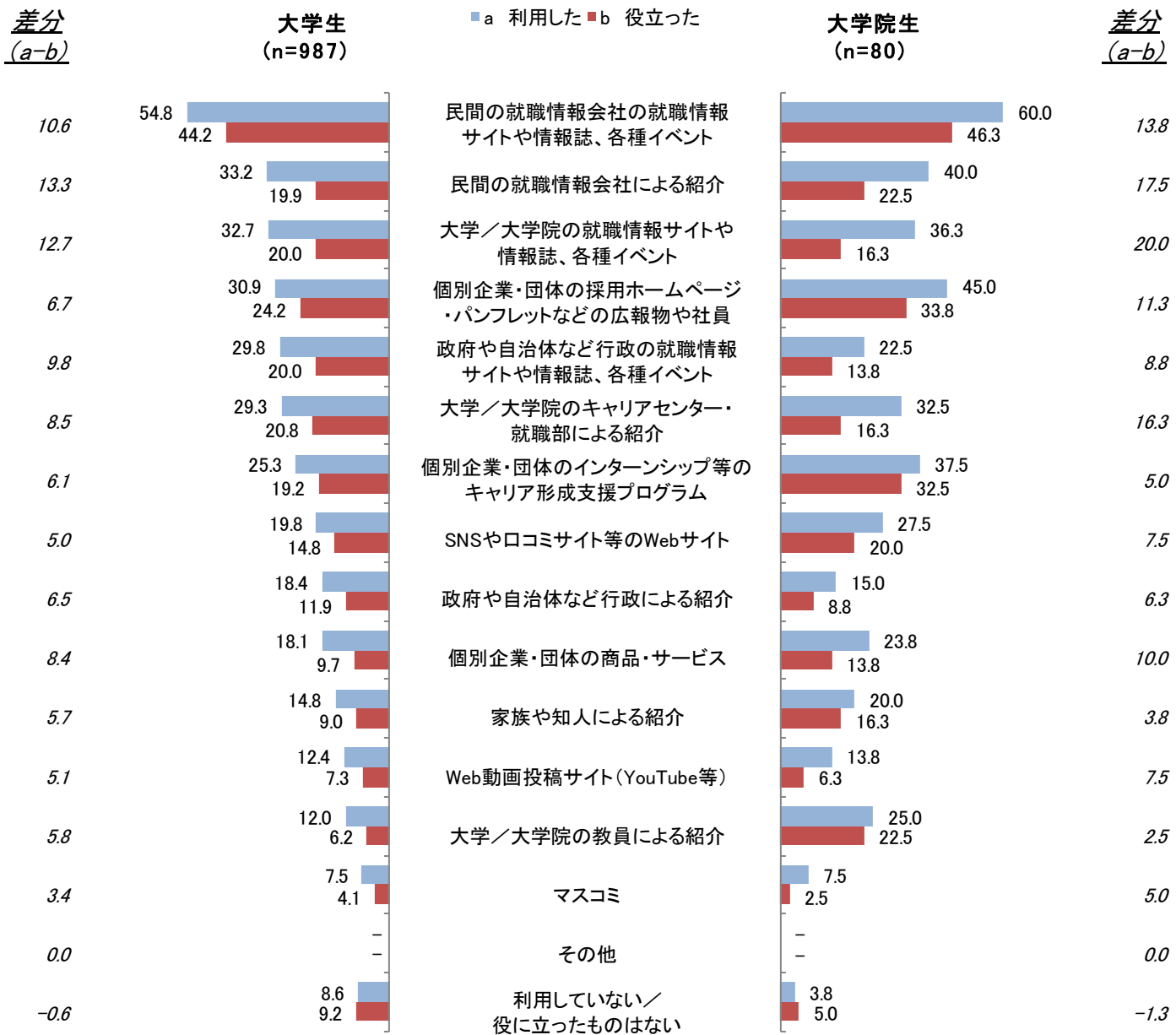
※大学生「a 知りたかった情報」のスコアで降順に並び替え

⑨就職予定先に関する情報源

企業・団体等を選ぶ際の情報源は、大学生・大学院生ともに「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」の割合が最も高い。

企業・団体等を選ぶ際の情報源として利用したものは、大学生・大学院生ともに、「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」の割合が最も高い。大学生が利用した割合が2番目に高いのは、「民間の就職情報会社による紹介」であった。大学院生が利用した割合が2番目に高いのは、「個別企業・団体の採用ホームページ・パンフレットなどの広報物や社員」であった。(図表16)

図表16 就職活動を通して、企業・団体等を選ぶ際の情報源(複数回答、単位=%)



※大学生「a 利用した」のスコアで降順に並び替え

⑨就職予定先に関する情報源

最終的な就職予定先の認知経路は、大学生・大学院生ともに「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」の割合が最も高い。2024年卒と比べると、大学院生は「大学／大学院の教員による紹介」の割合が増加し、「就職予定先企業・団体の採用HP・パンフレットなどの広報物や社員」の割合が減少している。（図表17）

図表17 就職確定者の最終的な就職予定先の認知経路（複数回答、単位=%）

※就職確定者ベース

n=		政府や自治体など行政の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	政府や自治体など行政による紹介	民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	民間の就職情報会社による紹介	就職予定先企業・団体の商品・サービス	就職予定先企業・団体のインターンシップ等のキャリア形成支援プログラム※1	就職予定先企業・団体の採用HP・パンフレットなどの広報物や社員	大学／大学院の就職情報サイトや情報誌、各種イベント
大学生	856	19.0 (0.3)	5.7 (-1.2)	36.6 (1.4)	17.3 (-5.2)	10.8 (-0.9)	12.4 (-0.9)	16.5 (3.8)	20.2 (1.2)
文系	590	20.5 (2.0)	5.1 (-2.3)	39.8 (2.8)	18.6 (-3.4)	11.8 (1.0)	11.4 (-2.3)	16.6 (4.5)	17.2 (-0.8)
国公立	76	17.7 (-1.6)	6.5 (-5.4)	34.6 (-7.0)	24.7 (2.5)	9.4 (-2.0)	9.6 (-5.6)	14.4 (-3.5)	8.4 (-5.4)
私立	513	20.9 (2.5)	4.8 (-2.0)	40.5 (4.1)	17.6 (-4.3)	12.2 (1.5)	11.6 (-1.9)	16.9 (5.5)	18.5 (-0.0)
理系	266	15.7 (-3.3)	7.1 (1.3)	29.7 (-1.5)	14.6 (-9.0)	8.6 (-5.2)	14.8 (2.4)	16.3 (2.2)	26.8 (5.6)
国公立	95	14.9 (0.3)	10.8 (9.7)	33.4 (-3.1)	17.6 (-10.3)	8.7 (-2.2)	17.4 (6.7)	12.0 (-2.8)	28.2 (10.2)
私立	172	16.2 (-4.6)	5.0 (-2.6)	27.7 (-1.4)	12.9 (-8.9)	8.6 (-6.5)	13.3 (0.2)	18.8 (4.9)	26.0 (3.6)
大学院生	71	12.7 (-2.4)	5.6 (2.1)	38.0 (0.9)	19.7 (1.1)	11.3 (-2.9)	14.1 (-5.4)	18.3 (-6.5)	18.3 (0.6)

n=		大学／大学院のキャリアセンター・就職部による紹介	大学／大学院の教員による紹介	家族や知人による紹介	マスコミ	SNSや口コミサイト等のWebサイト	Web動画投稿サイト（YouTube等）	その他	わからない・覚えていない
大学生	856	17.1 (1.7)	6.1 (-4.0)	10.9 (1.8)	2.7 (0.1)	4.7 (-3.0)	2.7 (0.2)	2.9 (0.5)	9.7 (0.6)
文系	590	14.4 (-0.3)	5.6 (-1.3)	9.3 (0.3)	3.5 (1.4)	4.4 (-4.4)	2.3 (-0.6)	2.7 (-0.1)	9.5 (0.3)
国公立	76	10.8 (-0.7)	4.5 (0.1)	11.7 (2.0)	6.4 (4.4)	3.4 (-4.0)	2.4 (0.8)	2.6 (-3.6)	9.4 (6.3)
私立	513	14.9 (-0.2)	5.8 (-1.4)	8.9 (0.1)	3.1 (1.0)	4.5 (-4.4)	2.3 (-0.8)	2.7 (0.4)	9.5 (-0.5)
理系	266	23.1 (6.0)	7.2 (-9.9)	14.5 (5.1)	0.9 (-2.8)	5.6 (-0.0)	3.5 (2.0)	3.2 (1.8)	10.0 (1.3)
国公立	95	23.6 (12.7)	9.5 (-11.3)	16.8 (8.2)	- (-0.6)	4.3 (1.2)	2.7 (2.7)	1.6 (0.5)	9.5 (3.7)
私立	172	22.7 (3.3)	5.9 (-9.8)	13.3 (3.5)	1.4 (-3.5)	6.3 (-0.3)	4.0 (1.9)	4.1 (2.6)	10.3 (0.4)
大学院生	71	22.5 (4.8)	19.7 (7.3)	16.9 (-1.7)	2.8 (-3.4)	4.2 (-3.7)	1.4 (-1.2)	4.2 (3.3)	5.6 (-2.3)

※1:「インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム」については、2024年は「インターンシップ・1day仕事体験」と聴取。

* カッコ内は2024年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 2024年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑩就職予定先を選ぶ際の重視点

**就職予定先を選ぶ際の重視点は、大学生は「勤務地」、大学院生は「業種」の割合が最も高い。
大学生では2024年卒と比べて「職制(コース)」の割合が減少した一方で、「業種」の割合が増加。**

就職予定先を選ぶ際の重視点は、大学生は「勤務地」「業種」「勤務時間・休暇」「給与水準」の順に割合が高い。大学院生では「業種」の割合が最も高く、「勤務地」「給与水準」が同率で続く。

2024年卒と比べると、大学生では「職制(コース)」の割合が減少した一方で、「業種」の割合が増加している。(図表18)

図表18 就職予定先を選ぶ際の重視点(複数回答、単位=%)

	大学生 (n=)	文系 (659)	国公立 (89)	私立 (570)	理系 (328)	国公立 (117)	私立 (212)	東北 北海道 (84)	関東 (398)	中部 (169)	近畿 (200)	四国 中国 (54)	九州 (82)	大学院生 (80)
業種	47.7 (5.6)	49.1 (8.1)	57.1 (12.9)	47.9 (7.3)	44.8 (0.5)	44.3 (7.3)	45.0 (-2.4)	47.8 (14.1)	46.8 (0.5)	45.8 (8.3)	48.3 (7.8)	53.1 (16.0)	50.2 (3.5)	50.0 (-0.8)
職制(コース)※1	18.1 (-5.9)	19.9 (-4.7)	23.7 (0.7)	19.3 (-5.5)	14.6 (-8.5)	12.8 (-5.6)	15.5 (-9.5)	6.9 (-17.6)	18.0 (-7.1)	12.4 (-9.6)	24.3 (-1.7)	22.6 (0.3)	24.5 (3.4)	18.8 (-6.6)
職種※2	31.4 (1.1)	31.4 (2.0)	32.7 (0.0)	31.2 (2.2)	31.4 (-0.6)	35.7 (-1.1)	29.0 (-0.9)	24.9 (-1.5)	31.4 (2.5)	32.6 (3.5)	32.8 (0.9)	35.5 (-4.0)	29.5 (-1.1)	41.3 (8.2)
勤務地	49.5 (1.8)	52.0 (3.5)	55.7 (9.5)	51.4 (2.6)	44.4 (-1.5)	48.7 (5.3)	42.0 (-4.9)	52.0 (-15.5)	46.0 (-1.9)	55.9 (9.0)	51.3 (2.5)	45.3 (6.1)	49.0 (11.0)	42.5 (-6.0)
雇用形態	21.7 (-2.0)	21.2 (-2.3)	21.7 (-0.6)	21.2 (-2.5)	22.7 (-1.4)	24.3 (3.6)	21.8 (-3.7)	18.7 (-8.3)	21.7 (-3.4)	26.4 (3.0)	18.9 (-4.5)	25.4 (4.2)	19.4 (0.6)	20.0 (0.8)
民間企業・団体か、 それ以外(公務員・教員など)か	12.1 (0.8)	12.9 (1.2)	17.8 (-0.5)	12.1 (1.3)	10.4 (0.0)	13.7 (1.6)	8.6 (-1.0)	6.7 (-8.9)	12.7 (0.7)	15.0 (5.3)	9.8 (3.3)	12.5 (1.0)	14.1 (-4.4)	10.0 (-2.3)
外資企業・団体か 内資企業・団体か※3	5.5 (-1.3)	5.4 (-1.4)	4.3 (-3.9)	5.5 (-1.1)	5.9 (-1.0)	10.8 (6.0)	3.2 (-4.6)	5.4 (-1.1)	5.4 (-2.3)	7.7 (1.3)	4.1 (-2.8)	5.0 (-0.5)	5.4 (0.7)	6.3 (-2.2)
大学・大学院の専攻やこれまでの 経験・取得資格を活かせるか	13.2 (-2.7)	10.8 (-3.4)	10.6 (-4.8)	10.8 (-3.2)	18.1 (-1.2)	20.5 (6.0)	16.8 (-4.6)	13.2 (-4.6)	9.8 (-6.3)	15.4 (0.4)	14.8 (3.1)	21.3 (0.9)	16.3 (-5.0)	28.8 (-1.3)
従業員規模	7.7 (-2.3)	8.5 (-1.2)	6.3 (-3.9)	8.8 (-0.8)	6.1 (-4.5)	7.1 (-2.3)	5.5 (-5.5)	3.5 (0.1)	9.7 (-3.1)	8.8 (-2.8)	6.8 (-0.1)	4.3 (-2.1)	4.5 (-5.3)	11.3 (5.1)
知名度	11.7 (-0.2)	11.9 (0.3)	10.9 (-4.8)	12.1 (1.0)	11.3 (-1.3)	12.1 (-0.5)	10.8 (-1.8)	7.6 (-2.2)	13.9 (-0.2)	11.2 (5.1)	15.9 (5.2)	2.7 (-12.1)	1.8 (-14.7)	12.5 (3.3)
経営理念・ビジョン	11.2 (-3.3)	12.4 (-2.7)	12.2 (-8.6)	12.4 (-1.9)	8.9 (-4.7)	11.5 (-7.1)	7.4 (-3.9)	4.5 (-12.2)	13.9 (-2.9)	8.0 (-4.9)	13.4 (2.4)	5.5 (-11.0)	10.1 (-3.1)	12.5 (-6.0)
事業の安定性・将来性	22.7 (-0.3)	22.4 (-0.6)	27.4 (-4.0)	21.6 (-0.3)	23.4 (0.2)	33.5 (9.3)	17.8 (-4.9)	15.8 (-5.1)	23.9 (-2.5)	24.8 (3.5)	24.3 (5.2)	21.3 (-0.1)	17.3 (-7.3)	26.3 (-3.8)
給与水準	35.6 (-1.3)	34.8 (-0.8)	43.9 (7.6)	33.4 (-2.1)	37.2 (-2.2)	36.2 (-8.6)	37.7 (0.7)	28.0 (-3.3)	36.1 (0.7)	38.6 (-0.4)	36.3 (-0.8)	28.6 (-9.1)	38.1 (-3.7)	42.5 (-1.3)
勤務時間・休暇	37.4 (-1.0)	39.3 (1.4)	38.0 (3.9)	39.5 (1.1)	33.7 (-6.0)	31.6 (-13.4)	34.9 (-2.5)	33.7 (-6.3)	37.9 (-0.6)	37.9 (2.1)	38.1 (-1.5)	39.9 (2.7)	34.7 (-6.4)	35.0 (1.2)
組織風土・職場の人間関係	21.5 (-0.1)	23.3 (1.0)	29.0 (2.9)	22.5 (0.7)	17.8 (-2.4)	16.1 (-11.2)	18.8 (1.6)	20.7 (4.3)	21.4 (-3.4)	20.9 (0.1)	27.0 (10.9)	13.8 (-8.6)	15.9 (-9.4)	25.0 (-5.0)
内定取得の可能性	14.9 (-3.2)	15.6 (-3.6)	14.9 (-4.4)	15.7 (-3.5)	13.5 (-2.5)	11.1 (-7.5)	14.9 (-0.1)	6.8 (-15.1)	14.0 (-4.8)	12.4 (-5.2)	20.0 (5.6)	14.5 (-5.7)	20.4 (0.5)	22.5 (4.8)
就職活動の負担・手間	10.0 (-2.0)	9.8 (-2.8)	9.0 (-7.3)	9.9 (-2.2)	10.3 (-0.3)	12.8 (6.3)	8.9 (-3.4)	9.1 (1.7)	6.9 (-6.8)	13.8 (1.7)	12.8 (3.0)	18.0 (10.8)	5.8 (-9.9)	8.8 (-4.3)
その他	2.5 (-3.7)	2.5 (-3.8)	0.9 (-3.0)	2.7 (-3.8)	2.4 (-3.7)	1.3 (-4.3)	3.0 (-3.3)	3.7 (-5.6)	2.6 (-4.8)	2.1 (-3.9)	1.4 (-3.8)	6.0 (0.7)	1.3 (-0.7)	3.8 (1.4)

※1:例)総合職、一般職、地域・職域限定職など

※2:例)営業職、企画職、事務職、技術職など

※3:外資＝日本国外に本社がある企業・団体、内資＝日本国内に本社がある企業・団体

* カッコ内は2024年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 2024年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑪在学中に実施したこと

在学中の実施活動は、大学生・大学院生ともに「インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム」の割合が最も高い。大学生は「アルバイト」、大学院生は「卒論、卒業研究／修論」が続く。

在学中に実施した活動は、大学生・大学院生ともに「インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム」の割合が最も高い。

2024年卒と比べると、大学院生では「趣味など、自分の興味がある分野の活動」が増加しているものの、「公務員・教員採用試験のための教育・学習活動」の割合が減少している。(図表19)

図表19 在学中に実施した活動(複数回答、単位=%)

	大学生 (n=)	文系 (659)	国公立 (89)	私立 (570)	理系 (328)	国公立 (117)	私立 (212)	東北 北海道・ (84)	関東 (398)	中部 (169)	近畿 (200)	四国・ 中国・ (54)	九州 (82)	大学院生 (80)
海外留学	6.8 (0.0)	9.2 (0.7)	14.6 (0.4)	8.3 (0.6)	1.9 (-1.4)	0.7 (-4.5)	2.5 (0.1)	2.2 (-2.0)	6.9 (0.0)	6.8 (1.5)	8.2 (-0.2)	9.5 (1.1)	5.1 (-0.8)	7.5 (-0.2)
サークル活動	27.3 (2.2)	26.8 (-0.4)	38.6 (-1.1)	25.0 (-0.5)	28.2 (7.5)	34.4 (6.6)	24.9 (7.1)	21.8 (-8.7)	27.9 (3.3)	29.3 (10.1)	23.5 (-0.9)	30.4 (-10.7)	32.9 (8.9)	38.8 (1.1)
部活動	15.6 (0.6)	15.5 (1.5)	21.7 (3.7)	14.5 (1.1)	15.8 (-1.2)	21.9 (-2.3)	12.5 (-1.5)	9.7 (3.4)	16.0 (1.8)	20.9 (6.4)	16.4 (-2.8)	4.9 (-14.0)	14.1 (0.0)	22.5 (1.7)
ボランティア	18.5 (0.9)	18.6 (-1.6)	20.9 (-5.7)	18.2 (-1.1)	18.3 (5.9)	15.7 (6.5)	19.8 (6.0)	19.9 (3.9)	15.6 (-0.0)	22.1 (2.3)	18.1 (2.1)	19.7 (-7.0)	24.2 (4.6)	15.0 (-2.7)
アルバイト	71.4 (3.3)	72.4 (1.3)	72.6 (0.4)	72.4 (1.5)	69.4 (7.3)	68.9 (4.3)	69.6 (8.6)	64.8 (-2.7)	71.2 (1.6)	71.3 (0.7)	72.6 (7.5)	62.3 (-11.7)	82.7 (23.2)	68.8 (-2.0)
インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム※1	84.1 (-1.7)	84.8 (-2.1)	83.8 (-6.1)	85.0 (-1.6)	82.5 (-0.8)	83.7 (2.2)	81.8 (-2.2)	82.6 (-1.7)	84.3 (-2.0)	88.0 (0.1)	83.0 (-3.3)	78.0 (-7.0)	82.9 (3.2)	83.8 (3.8)
公務員・教員採用試験のための教育・学習活動	10.2 (-0.8)	10.7 (0.1)	18.3 (-0.0)	9.5 (-0.1)	9.3 (-2.4)	9.3 (-4.6)	9.3 (-1.5)	8.0 (-7.3)	8.3 (-1.5)	8.0 (-2.4)	13.5 (4.5)	18.0 (2.2)	13.3 (-1.1)	3.8 (-7.8)
英語などの外国語学習	16.6 (-3.2)	17.1 (-2.6)	27.1 (-2.5)	15.6 (-2.8)	15.5 (-4.5)	21.4 (-5.4)	12.3 (-4.8)	14.3 (-4.5)	15.7 (-4.7)	17.9 (-2.8)	21.3 (-0.2)	13.8 (-4.1)	10.9 (-3.4)	21.3 (-3.4)
趣味など、自分の興味がある分野の活動	40.9 (-0.5)	37.7 (-5.1)	40.4 (-6.3)	37.3 (-5.0)	47.1 (8.6)	53.4 (10.8)	43.7 (7.0)	29.0 (-14.2)	39.8 (-5.9)	48.1 (8.4)	42.9 (5.0)	36.9 (2.1)	40.7 (2.9)	51.3 (8.9)
スポーツ関連の活動	8.2 (-4.4)	7.6 (-3.5)	7.5 (-7.5)	7.7 (-2.9)	9.3 (-6.2)	9.3 (-3.1)	9.3 (-7.6)	0.5 (-3.6)	10.2 (-5.5)	5.9 (-3.4)	13.4 (2.3)	4.2 (-5.5)	1.0 (-16.9)	16.3 (7.0)
資格取得・検定受験のための学習活動	30.8 (-3.7)	30.8 (-5.6)	31.3 (-1.5)	30.7 (-6.2)	30.8 (0.2)	23.0 (-8.4)	35.2 (4.8)	34.9 (0.0)	26.1 (-6.9)	29.7 (-8.2)	31.5 (-1.8)	39.4 (-0.6)	44.1 (12.4)	32.5 (-1.3)
ゼミや研究室での活動	50.7 (-1.3)	50.0 (1.2)	56.2 (-1.1)	49.0 (1.4)	52.1 (-6.3)	53.2 (-11.3)	51.5 (-4.3)	47.5 (-2.9)	47.5 (-4.0)	56.1 (3.0)	50.4 (-3.1)	46.3 (-11.7)	61.8 (16.8)	71.3 (5.1)
授業への出席	58.7 (-0.9)	56.1 (-2.2)	61.7 (-3.0)	55.3 (-2.2)	64.0 (1.8)	68.7 (-0.6)	61.4 (2.3)	58.0 (-3.0)	55.0 (-8.2)	59.9 (-0.3)	62.5 (7.3)	60.5 (2.7)	64.9 (11.7)	72.5 (2.5)
卒論、卒業研究／修論	56.1 (-0.7)	53.7 (2.1)	61.7 (1.7)	52.4 (1.9)	60.8 (-6.3)	64.3 (-2.5)	58.9 (-8.4)	54.4 (-5.2)	48.5 (-10.6)	62.1 (5.6)	62.2 (6.9)	60.5 (6.0)	64.4 (13.5)	73.8 (-7.0)
あてはまるものはない	5.2 (-0.8)	4.2 (-2.3)	4.6 (4.3)	4.1 (-3.2)	7.3 (2.3)	5.7 (1.9)	8.2 (2.7)	3.5 (-3.0)	6.1 (0.9)	5.8 (0.9)	5.2 (-0.5)	2.8 (-2.6)	3.3 (-9.1)	6.3 (3.2)

※1:「インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム」については、2024年は「インターンシップ・1day仕事体験」と聴取。

* カッコ内は2024年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 2024年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑫就職活動による各活動への支障状況

就職活動による各活動への支障状況は、大学生で「アルバイト」「部活動」、大学院生で「大学の授業・研究」の割合が高い。

就職活動による各活動への支障状況(*)は、大学生は「アルバイト」の割合が最も高い。次いで「部活動」の割合が高い。大学院生は「大学の授業・研究」の割合が最も高い。次いで「趣味など、自分の興味がある活動」の割合が高い。

2024年卒と比べると、大学生では「海外留学」の割合が大幅に減少している。大学院生では「アルバイト」「インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム」の割合が大幅に減少している。(図表20)

*それぞれの項目について、「支障が生じた」「やや支障が生じた」「あまり支障は生じなかった」「支障は生じなかった」の単一回答のうち、「支障が生じた」+「やや支障が生じた」の割合

図表20 各活動実施者の就職活動による活動への支障状況(各単一回答、単位=%)

※各実施者ベース

	大 学 生	文 系	理 系	大 学 院 生		大 学 生	文 系	理 系	大 学 院 生
大学の授業・研究	35.1 (0.1)	33.7 (0.6)	37.9 (-0.8)	48.8 (-2.0)	大学の授業・研究	987	659	328	80
海外留学	28.0 (-10.1)	25.6 (-14.9)	51.7 (26.6)	33.3 (3.3)	海外留学	67	61	6	6
サークル活動	29.6 (5.8)	30.1 (7.0)	28.8 (3.0)	6.5 (-5.8)	サークル活動	269	177	93	31
部活動	38.4 (-3.0)	41.9 (-0.0)	31.5 (-9.0)	22.2 (7.4)	部活動	154	102	52	18
ボランティア	19.7 (-0.9)	21.4 (4.4)	16.3 (-16.3)	16.7 (-0.7)	ボランティア	183	123	60	12
アルバイト	39.1 (-1.5)	39.9 (-1.0)	37.4 (-2.5)	32.7 (-10.8)	アルバイト	705	477	228	55
インターンシップ等のキャリア 形成支援プログラム※1	16.6 (-9.2)	16.6 (-8.7)	16.6 (-10.5)	12.5 (-11.6)	インターンシップ等のキャリア 形成支援プログラム※1	254	164	89	32
資格取得・語学習得など 大学外の学習	25.4 (-1.1)	23.1 (-3.2)	30.1 (3.1)	28.8 (2.6)	資格取得・語学習得など 大学外の学習	987	659	328	80
趣味など、自分の興味がある 分野の活動	34.2 (0.8)	35.8 (0.5)	31.5 (2.7)	36.6 (-3.4)	趣味など、自分の興味がある 分野の活動	403	249	155	41
スポーツ関連の活動	26.5 (-9.4)	20.4 (-11.5)	36.5 (-5.1)	38.5 (21.8)	スポーツ関連の活動	81	50	30	13

※1:「インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム」については、2024年は「インターンシップ・1day仕事体験」と聴取。

*カッコ内は2024年とのスコア差を掲載。 *属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。
*2024年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色、10ポイント以上低いセルを濃い青色で網掛けした。
(回答者数が30未満のスコアを除く)
*回答者数が30未満の値は参考値として灰色にした。

⑬自己分析・企業研究等への自己評価【就職活動を開始した当初時点】

就職予定先に「勤続志向」であった学生は、就職活動を開始した当初時点の「自己分析」「業界研究」「企業研究」「仕事・職種研究」が十分であったと自己評価している傾向がある。

就職予定先に「勤続志向」(*)であった学生は、就職活動を開始した当初時点の「自己分析」「業界研究」「企業研究」「仕事・職種研究」について「十分・計」(*)²であったと自己評価する割合が高い。一方、「転職志向」(*)³であった学生は、就職活動を開始した当初時点の「自己分析」「業界研究」「企業研究」「仕事・職種研究」について「十分・計」であったと自己評価する割合が低く、特に「すぐに転職したいと思っている」と回答した学生においては、「社会人との接点」について割合が低い。(図表21-1)

*¹「その企業・団体等でずっと仕事を続けたい」「当面はその企業・団体等で仕事を続けたい」

*²それぞれの項目について、「十分」「どちらかというと十分」「どちらかというと不十分」「不十分」「やっていない」の単一回答(無回答含む)のうち、「十分」+「どちらかというと十分」の割合

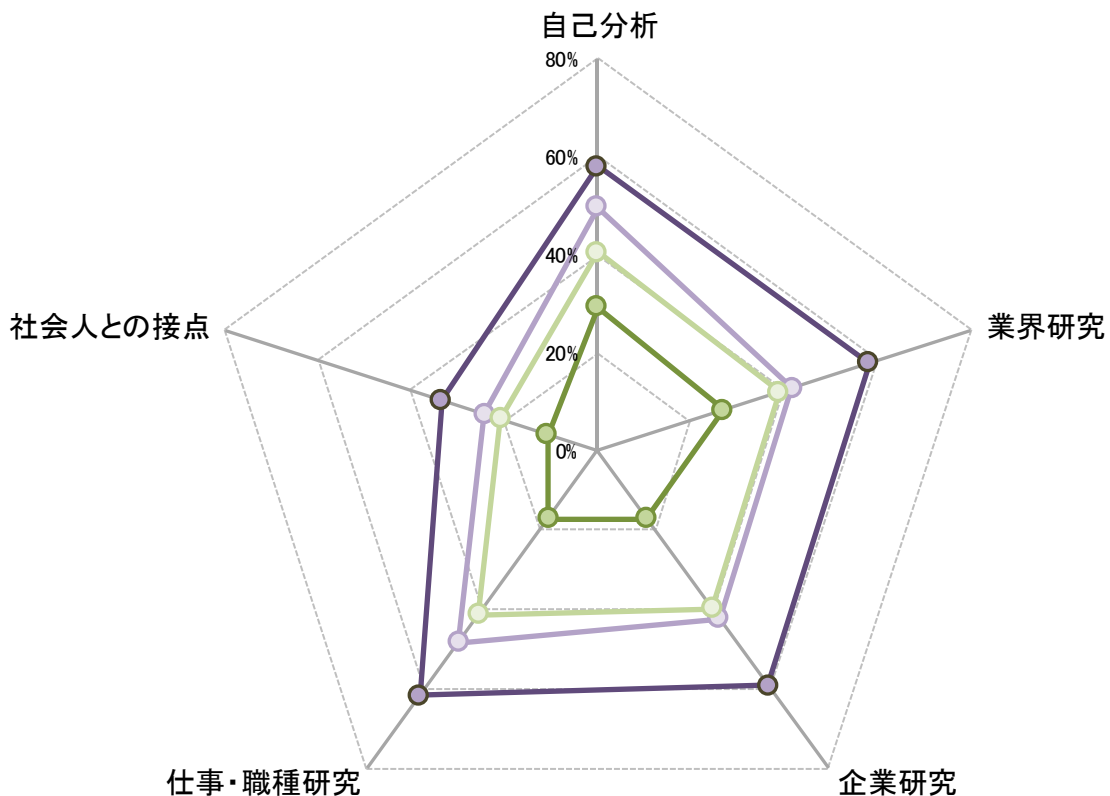
*³「転職することも視野に入れている」「すぐに転職したいと思っている」

図表21-1 自己分析・企業研究等への自己評価【就職活動を開始した当初時点】(各単一回答、単位=%)

※スコアは十分・計

※就職確定者ベース

- 勤続志向: その企業・団体等でずっと仕事を続けたい (n=322)
- 勤続志向: 当面はその企業・団体等で仕事を続けたい (n=429)
- 転職志向: 転職することも視野に入れている (n=159)
- 転職志向: すぐに転職したいと思っている (n=18) ※回答者数が30未満のため参考値



⑬自己分析・企業研究等への自己評価【就職活動を開始した当初時点】

図表21-2 自己分析・企業研究等への自己評価【就職活動を開始した当初時点】(各単一回答、単位=%)

※スコアは十分・計

	n=	自己分析	業界研究	企業研究	仕事・職種研究	社会人との接点
大学生	987	50.0	44.4	44.7	48.4	25.4
文系	659	49.0	43.2	43.6	47.5	23.2
国公立	89	46.9	46.4	45.6	46.8	18.9
私立	570	49.3	42.7	43.3	47.6	23.9
理系	328	51.9	46.9	46.9	50.3	30.0
国公立	117	54.9	53.4	59.1	59.8	30.0
私立	212	50.3	43.3	40.2	45.1	29.9
北海道・東北	84	50.4	43.3	39.3	41.2	29.3
関東	398	50.6	42.9	45.5	50.1	24.8
中部	169	49.0	52.1	50.8	51.6	20.8
近畿	200	47.2	43.1	40.3	45.9	27.5
中国・四国	54	46.6	46.9	45.6	55.5	28.8
九州	82	57.1	39.2	43.8	42.2	26.8
大学院生	80	42.5	47.5	46.3	45.0	27.5

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄いオレンジ色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

⑭就職予定先に対するイメージ

就職予定先に「勤続志向」であった学生は、「就職予定先は理想通りの企業だと思う」「就職予定先で成長することができそうだ」などのイメージを持っている。

就職予定先に「勤続志向」(*)であった学生は、就職予定先のイメージについて「あてはまる・計」(*)の割合が高い。特に「その企業・団体等ですっと仕事を続けたい」と回答した学生では、「就職予定先は理想通りの企業だと思う」「就職予定先で成長することができそうだ」などの項目について、「あてはまる・計」の割合が高い。(図表22-1)

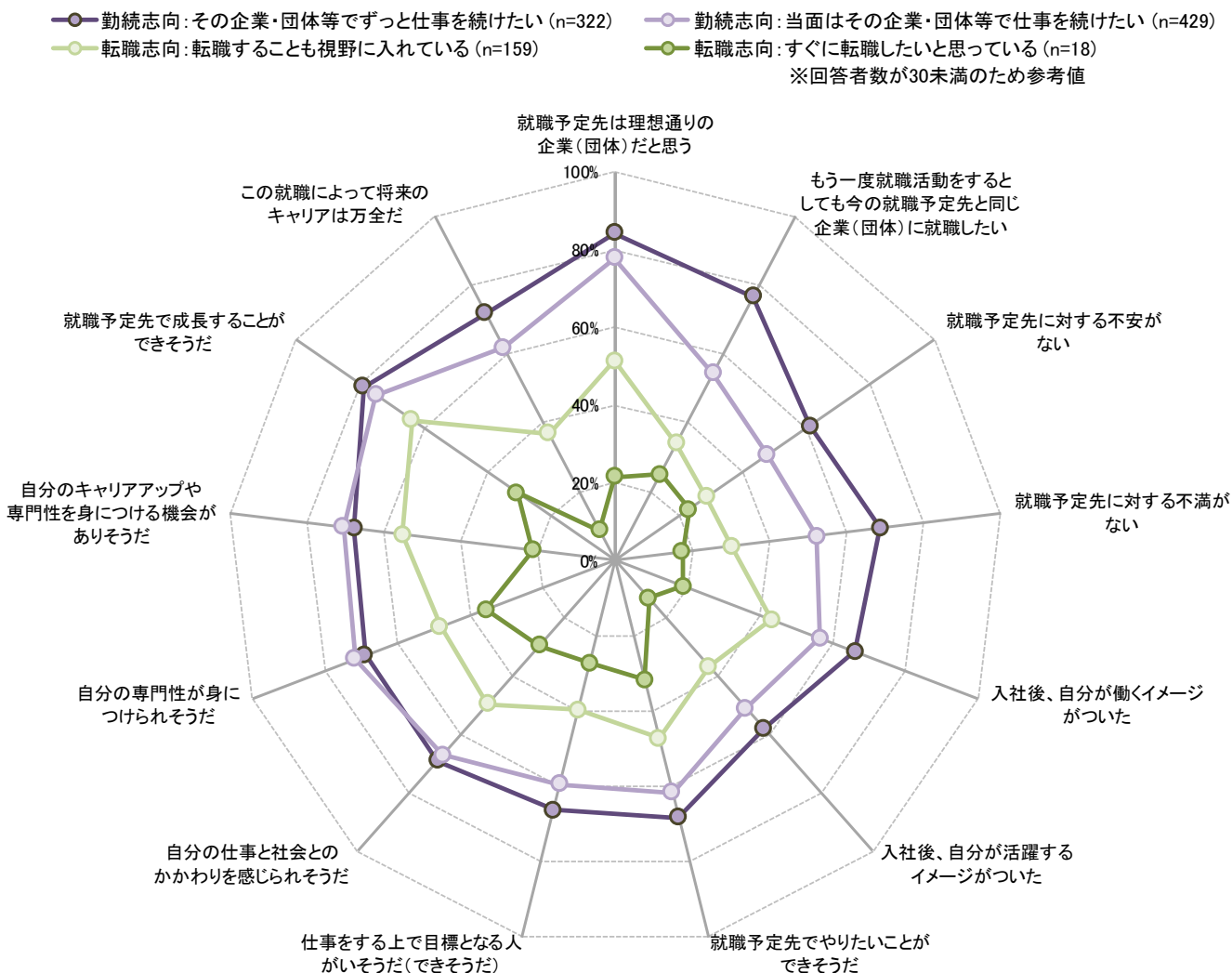
*1「その企業・団体等ですっと仕事を続けたい」「当面はその企業・団体等で仕事を続けたい」

*2 それぞれの項目について、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」「どちらかというにあてはまらない」「あてはまらない」「わからない」の単一回答のうち、「あてはまる」+「どちらかというにあてはまる」の割合

図表22-1 就職予定先に対するイメージ(各単一回答、単位=%)

※スコアはあてはまる・計

※就職確定者ベース



⑭就職予定先に対するイメージ

図表22-2 就職予定先のイメージ(各単一回答、単位=%)

※スコアはあてはまる・計

※就職確定者ベース

	大 学 生 (n=)	大 学 生 (856)	文 系 (590)	国 公 立 (76)	私 立 (513)	理 系 (266)	国 公 立 (95)	私 立 (172)	東 北 海 道 ・ (76)	関 東 (341)	中 部 (152)	近 畿 (178)	四 国 ・ 中 国 (43)	九 州 (67)	大 学 院 生 (71)
就職予定先は理想通りの企業(団体)だと思う		73.6	73.0	74.9	72.7	74.8	76.4	74.0	66.3	71.8	74.4	76.8	69.7	82.6	85.9
もう一度就職活動をするとしても今の就職予定先と同じ企業(団体)に就職したい		58.1	57.2	60.1	56.8	59.9	65.5	56.9	54.5	56.0	62.6	59.6	55.7	59.8	59.2
就職予定先に対する不安がない		47.9	45.9	43.4	46.2	52.3	59.5	48.4	42.7	44.2	50.1	53.6	42.5	55.8	57.7
就職予定先に対する不満がない		52.5	50.2	56.9	49.2	57.6	61.7	55.3	51.8	47.2	52.5	59.3	65.3	53.6	67.6
入社後、自分が働くイメージがついた		56.4	54.5	56.4	54.2	60.7	59.2	61.6	48.9	53.8	61.2	59.5	54.4	60.5	62.0
入社後、自分が活躍するイメージがついた		50.2	49.2	53.2	48.6	52.5	55.1	51.0	51.1	46.6	59.2	48.2	57.8	47.9	49.3
就職予定先でやりたいことができそうだ		59.9	58.3	61.5	57.9	63.3	68.7	60.3	51.4	55.3	69.8	62.5	64.4	61.0	73.2
仕事をする上で目標となる人がいそうだ(できそうだ)		57.1	56.4	55.6	56.6	58.7	60.0	58.0	61.6	51.7	65.5	54.5	67.0	61.4	66.2
自分の仕事と社会とのかかわりを感じられそうだ		63.0	61.9	63.5	61.7	65.3	68.5	63.5	66.5	60.3	63.8	62.8	72.2	65.5	77.5
自分の専門性が身につけられそうだ		65.5	65.2	70.2	64.4	66.2	69.1	64.7	60.6	63.8	74.7	59.6	74.0	69.4	71.8
自分のキャリアアップや専門性を身につける機会がありそうだ		65.6	65.1	72.6	64.0	66.6	75.6	61.6	63.3	64.1	64.8	65.6	75.5	70.8	71.8
就職予定先で成長することができそうだ		73.1	71.5	83.7	69.7	76.5	81.8	73.6	69.8	70.4	77.5	72.6	78.9	77.6	78.9
この就職によって将来のキャリアは万全だ		59.2	56.7	60.2	56.1	64.7	73.3	60.0	52.7	54.6	69.0	57.5	67.7	66.3	70.4

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄いオレンジ色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

⑮大学・大学院の就職支援で役立った点

**就職予定先に「勤続志向」、「転職志向」のいずれの学生においても、
「卒業後のキャリアや就職に関する授業」が役立ったと評価している割合が最も高い。**

「勤続志向」(*¹)、「転職志向」(*²)を問わず、いずれの学生も、大学・大学院の就職支援で「卒業後のキャリアや就職に関する授業」が役立ったと評価している割合が最も高い。次いで「就職活動の進め方全般に関するガイダンス・セミナー」の割合が高い。(図表23-1)

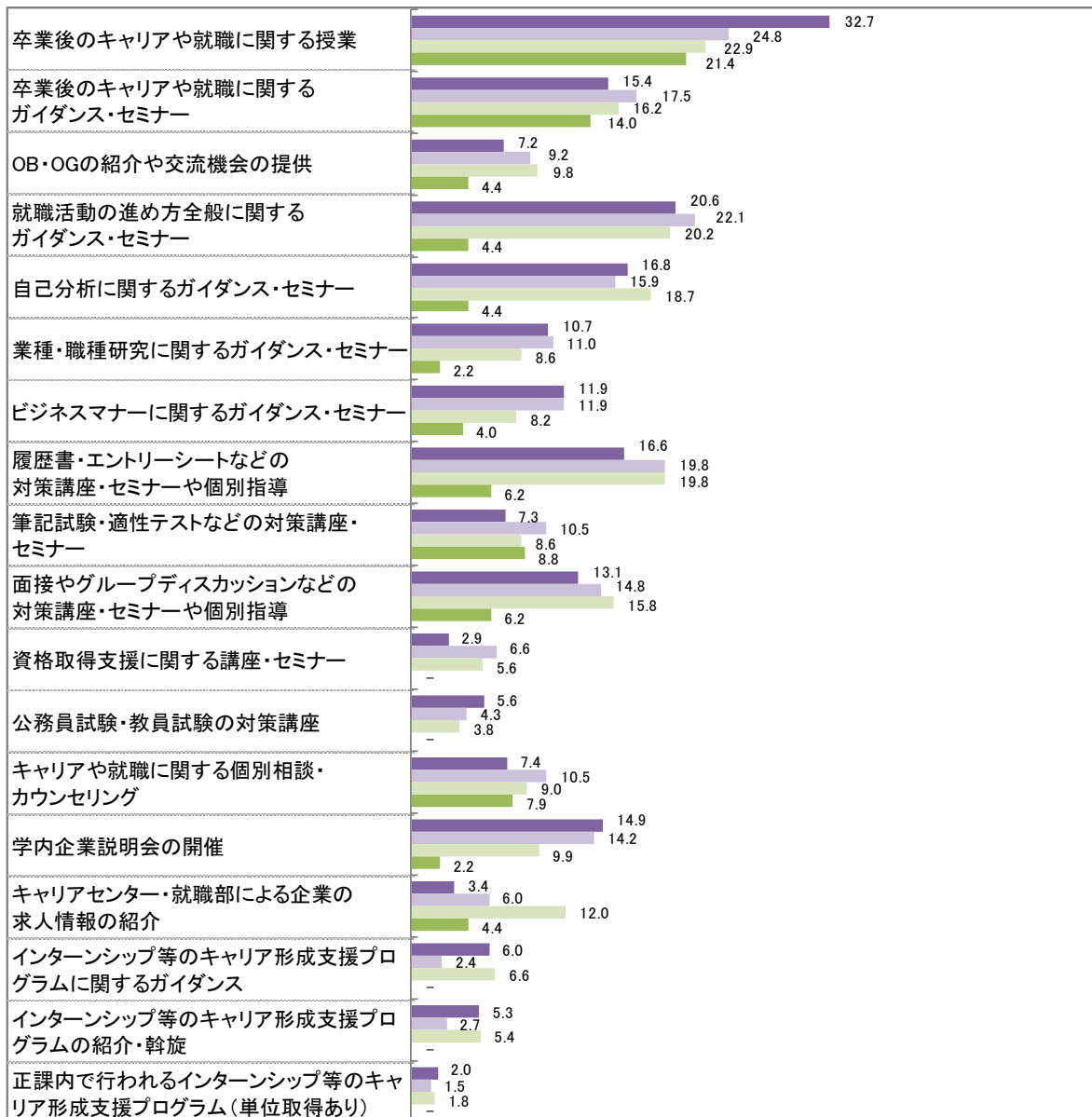
*¹「その企業・団体等でずっと仕事を続けたい」「当面はその企業・団体等で仕事を続けたい」

*²「転職することも視野に入れている」「すぐに転職したいと思っている」

図表23-1 大学・大学院の就職支援で役立った点(複数回答、単位=%)

※就職確定者ベース

- 勤続志向: その企業・団体等でずっと仕事を続けたい (n=322)
- 勤続志向: 当面はその企業・団体等で仕事を続けたい (n=429)
- 転職志向: 転職することも視野に入れている (n=159)
- 転職志向: すぐに転職したいと思っている (n=18) ※回答者数が30未満のため参考値



⑮大学・大学院の就職支援で役立った点

図表23-2 大学・大学院の就職支援で役立った点(複数回答、単位=%)

	大 学 生 (n=)	文 系 (659)	国 公 立 (89)	私 立 (570)	理 系 (328)	国 公 立 (117)	私 立 (212)	東 北 海 道 ・ (84)	関 東 (398)	中 部 (169)	近 畿 (200)	四 国 ・ 中 国 (54)	九 州 (82)	大 学 院 生 (80)
卒業後のキャリアや就職に関する授業	28.9	28.8	24.6	29.4	29.2	35.9	25.6	30.0	28.1	29.1	25.4	34.0	36.7	13.8
卒業後のキャリアや就職に関するガイダンス・セミナー	18.3	16.6	22.9	15.7	21.5	19.4	22.7	16.5	15.7	21.1	17.4	23.5	25.5	13.8
OB・OGの紹介や交流機会の提供	8.7	6.7	6.3	6.7	12.7	20.3	8.5	8.4	6.4	11.1	9.3	8.3	13.7	21.3
就職活動の進め方全般に関するガイダンス・セミナー	20.7	22.4	18.7	23.0	17.4	15.5	18.5	9.3	18.2	20.9	24.1	26.3	32.6	25.0
自己分析に関するガイダンス・セミナー	17.2	18.0	18.7	17.9	15.6	18.5	13.9	13.3	15.0	18.3	21.4	20.6	16.9	6.3
業種・職種研究に関するガイダンス・セミナー	10.9	11.9	14.8	11.4	9.0	7.7	9.8	7.5	8.7	11.5	12.9	23.4	11.2	8.8
ビジネスマナーに関するガイダンス・セミナー	11.3	10.4	5.6	11.1	13.2	11.5	14.2	13.4	7.0	12.1	12.7	16.6	21.7	6.3
履歴書・エントリーシートなどの対策講座・セミナーや個別指導	18.4	18.1	14.4	18.7	18.9	19.0	18.9	24.4	14.4	15.5	24.2	22.8	20.7	10.0
筆記試験・適性テストなどの対策講座・セミナー	10.2	12.0	13.0	11.9	6.6	4.9	7.5	4.0	9.2	11.2	13.8	17.4	5.9	5.0
面接やグループディスカッションなどの対策講座・セミナーや個別指導	13.5	14.3	16.8	13.9	12.0	12.8	11.5	18.7	8.8	18.4	17.1	17.9	9.9	8.8
資格取得支援に関する講座・セミナー	5.4	5.4	3.8	5.6	5.4	7.9	4.0	5.2	4.3	6.3	7.1	5.0	5.0	2.5
公務員試験・教員試験の対策講座	4.9	6.2	9.6	5.6	2.4	0.7	3.4	-	3.3	11.8	3.1	13.8	2.3	1.3
キャリアや就職に関する個別相談・カウンセリング	9.3	10.8	10.3	10.9	6.4	4.2	7.6	5.9	9.9	9.8	11.5	7.8	4.6	10.0
学内企業説明会の開催	12.8	12.6	13.4	12.5	13.2	6.9	16.6	15.4	13.6	9.7	14.5	14.5	7.6	20.0
キャリアセンター・就職部による企業の求人情報の紹介	6.8	6.7	4.1	7.1	7.1	7.9	6.6	6.5	4.9	9.1	8.6	7.0	7.1	3.8
インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムに関するガイダンス	4.3	4.3	6.8	3.9	4.4	5.7	3.7	4.5	2.0	3.6	8.3	9.7	3.8	3.8
インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの紹介・斡旋	4.4	3.8	4.1	3.8	5.4	7.9	4.0	4.0	2.4	7.2	6.8	8.3	-	3.8
正課内で行われるインターンシップ等のキャリア形成支援プログラム(単位取得あり)	1.9	2.3	4.1	2.0	1.2	1.3	1.2	3.1	1.3	0.5	1.6	7.7	3.8	2.5

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄いオレンジ色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

⑩自己分析・企業研究等への自己評価【就職活動を開始した当初時点】(大学低学年時のキャリア教育受講経験別)

必修・選択・正課以外に関わらず、大学低学年(1～2年)時にキャリア教育を受けている学生は、受けていない学生よりも就職活動開始当初の自己評価が総じて高い。

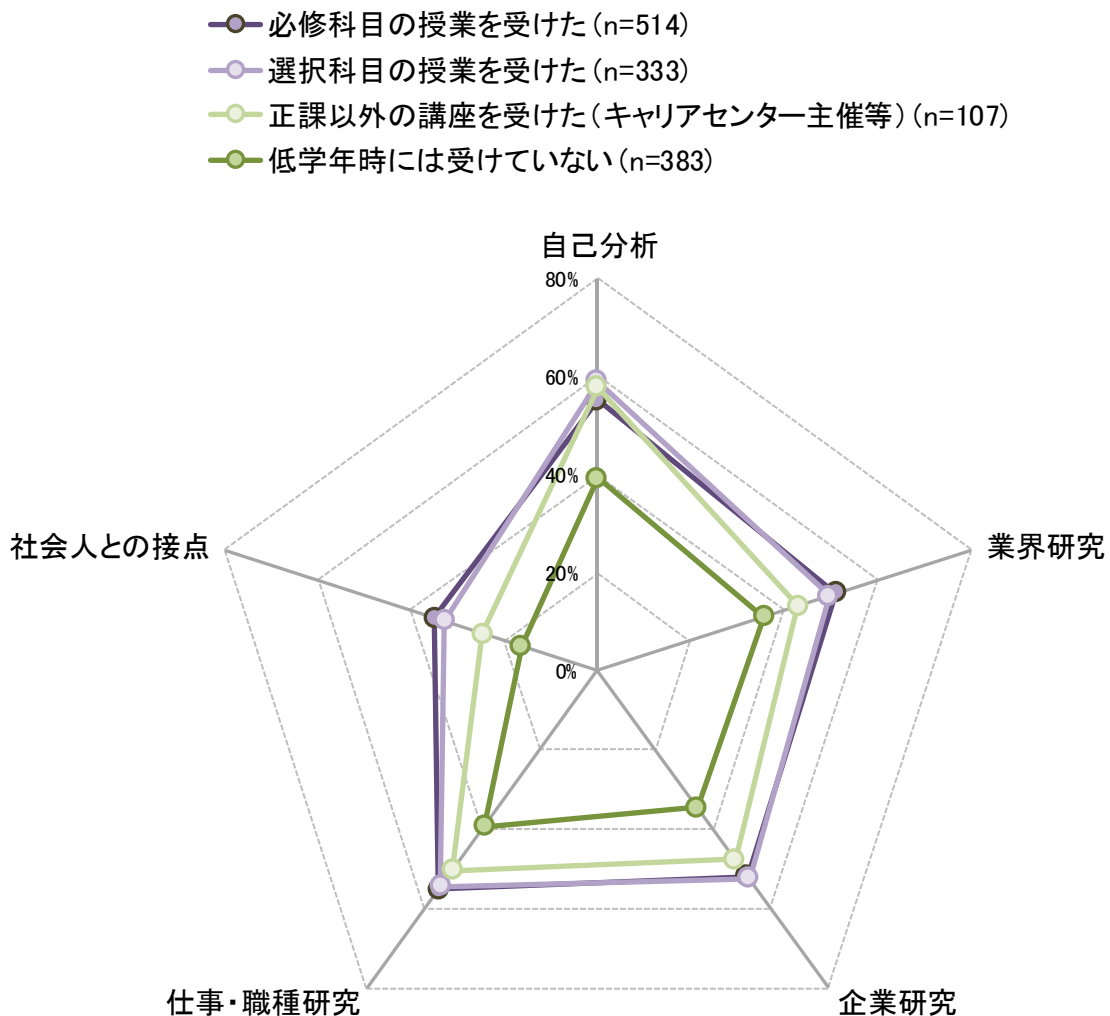
大学低学年(1～2年)時に、必修・選択・正課以外に関わらずキャリア教育を受けた学生(*¹)は、就職活動を開始した当初時点の「自己分析」「仕事・職種研究」などについて「十分・計」(*²)であったと自己評価する割合が高い。一方、低学年時にキャリア教育を受けていない学生は、就職活動を開始した当初時点の自己分析・企業研究等について「十分・計」であったと自己評価する割合が低く、特に「社会人との接点」について割合が低い。(図表24-1)

*¹ 大学低学年(1～2年)時におけるキャリア教育について「必修科目の授業を受けた」「選択科目の授業を受けた」「正課以外の講座を受けた(キャリアセンター主催等)」「低学年時には受けていない」の複数回答のうち、「低学年時には受けていない」(排他選択肢)以外のいずれかを選択した学生

*² それぞれの項目について、「十分」「どちらかというと十分」「どちらかというと不十分」「不十分」「やっていない」の単一回答(無回答含む)のうち、「十分」+「どちらかというと十分」の割合

図表24-1 自己分析・企業研究等への自己評価【就職活動を開始した当初時点】(各単一回答、単位=%)

※スコアは十分・計



⑩自己分析・企業研究等への自己評価【就職予定先を選んだ時点】(大学低学年時のキャリア教育受講経験別)

必修・選択・正課以外に関わらず、大学低学年(1～2年)時にキャリア教育を受けている学生は、受けていない学生よりも就職予定先を選んだ時点での自己評価が総じて高い。

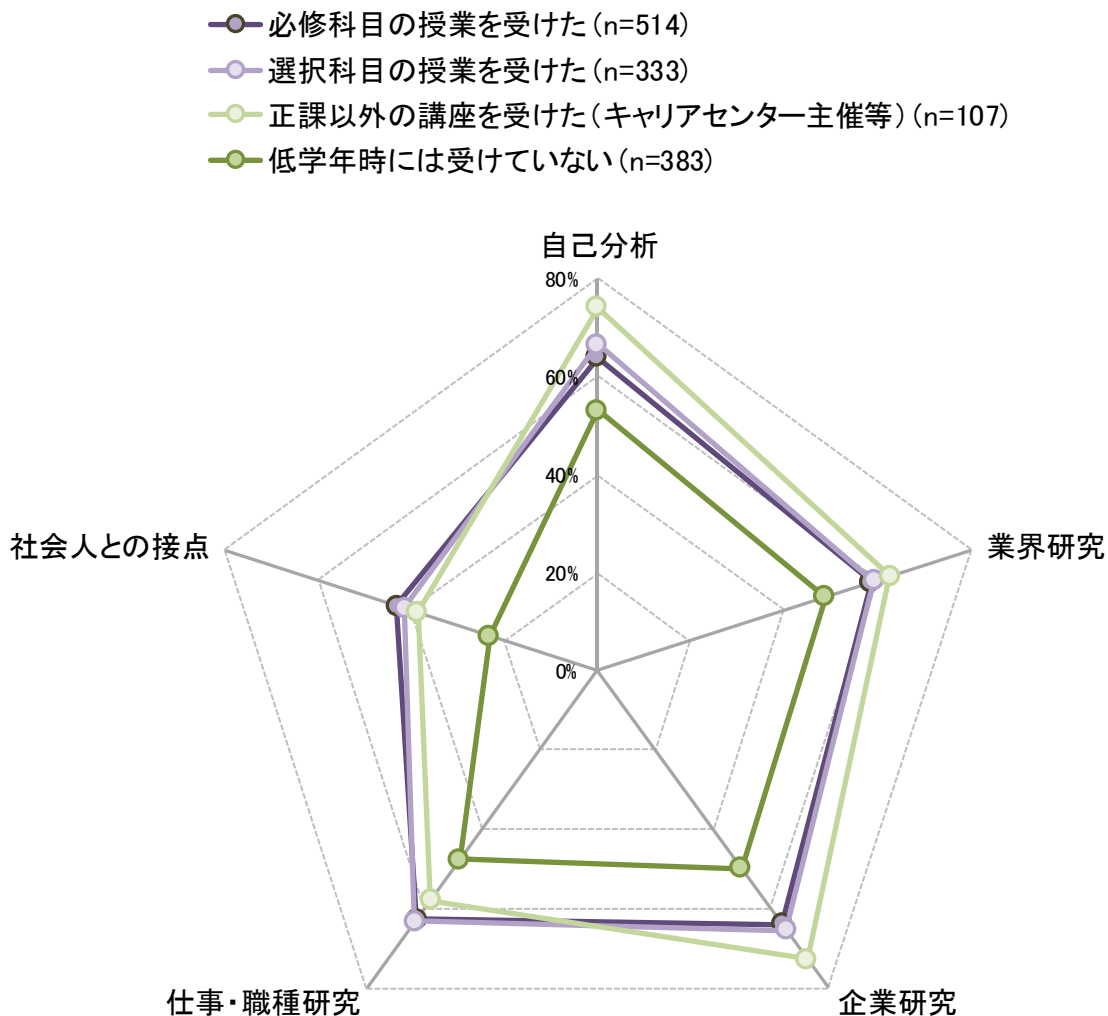
大学低学年(1～2年)時に、必修・選択・正課以外に関わらずキャリア教育を受けた学生(*)は、就職予定先を選んだ時点での「自己分析」「企業研究」などについて「十分・計」(*)²であったと自己評価する割合が高い。一方、低学年時にキャリア教育を受けていない学生は、就職予定先を選んだ時点での自己分析・企業研究等について「十分・計」であったと自己評価する割合が低く、特に「社会人との接点」について割合が低い。(図表24-2)

*¹ 大学低学年(1～2年)時におけるキャリア教育について「必修科目の授業を受けた」「選択科目の授業を受けた」「正課以外の講座を受けた(キャリアセンター主催等)」「低学年時には受けていない」の複数回答のうち、「低学年時には受けていない」(排他選択肢)以外のいずれかを選択した学生

*² それぞれの項目について、「十分」「どちらかというと十分」「どちらかというと不十分」「不十分」「やっていない」の単一回答(無回答含む)のうち、「十分」+「どちらかというと十分」の割合

図表24-2 自己分析・企業研究等への自己評価【就職予定先を選んだ時点】(各単一回答、単位=%)

※スコアは十分・計



⑰従業員規模の志向

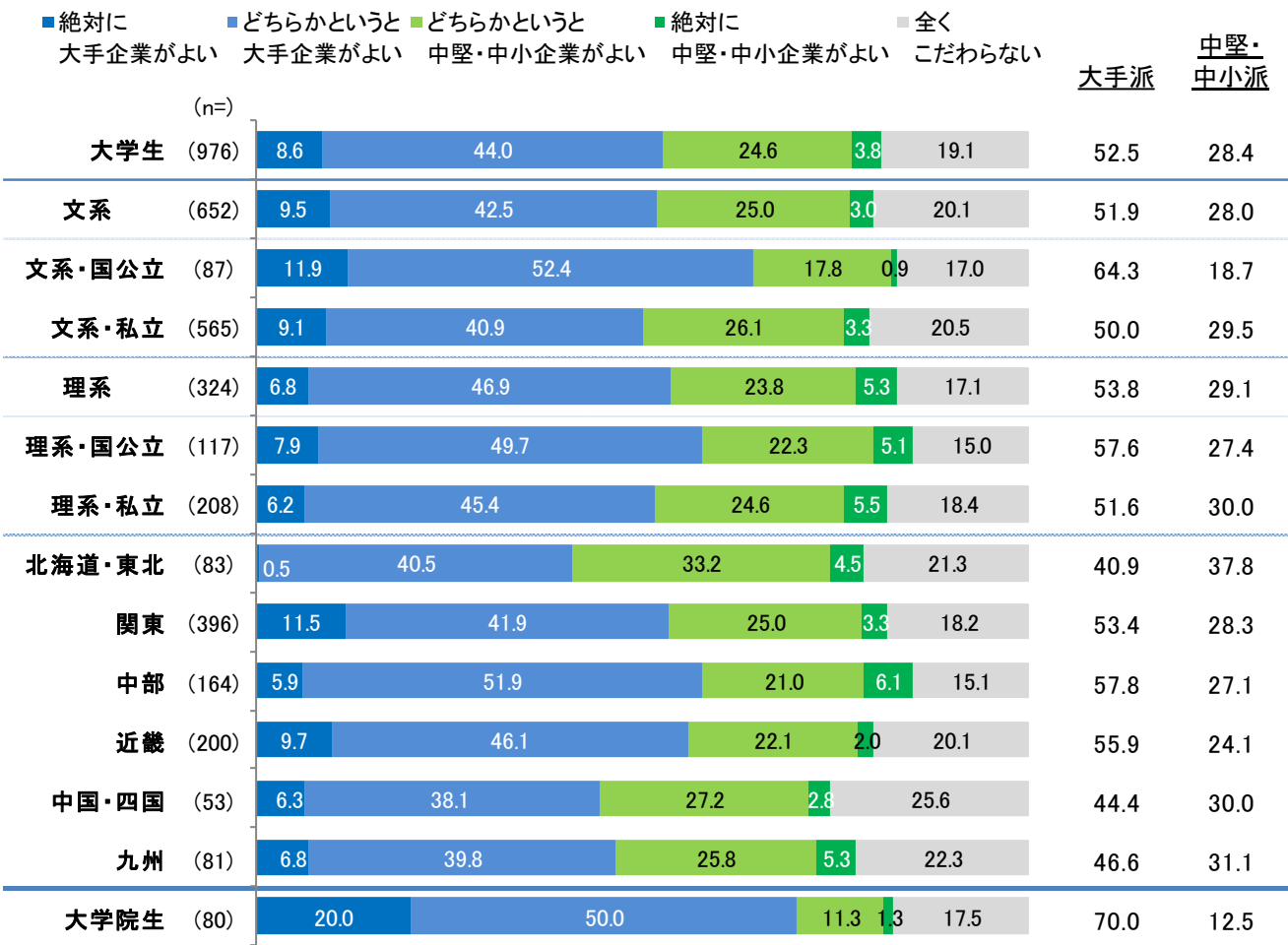
大学生の志望従業員規模は、「大手派」が5割前半、「中堅・中小派」が2割後半、「こだわらない派」が1割後半。大学院生や文系の国公立大学生で、大手志向が強い。

就職活動の開始当初に志望した従業員規模は、大学生の5割前半、大学院生の7割が「大手派」と回答している。大学生・大学院生の1割後半が「全くこだわらない」（以下、「こだわらない派」と回答している。

属性別に見ると、文系の国公立大学生では「大手派」の割合が大学生全体に比べて高い。（図表25）

図表25 就職活動開始当初の志望従業員規模（単一回答、単位=%）

※企業就職志望者ベース



※大手派:「絶対に大手企業がよい」+「どちらかというと大手企業がよい」
※中堅・中小派:「どちらかというと中堅・中小企業がよい」+「絶対に中堅・中小企業がよい」

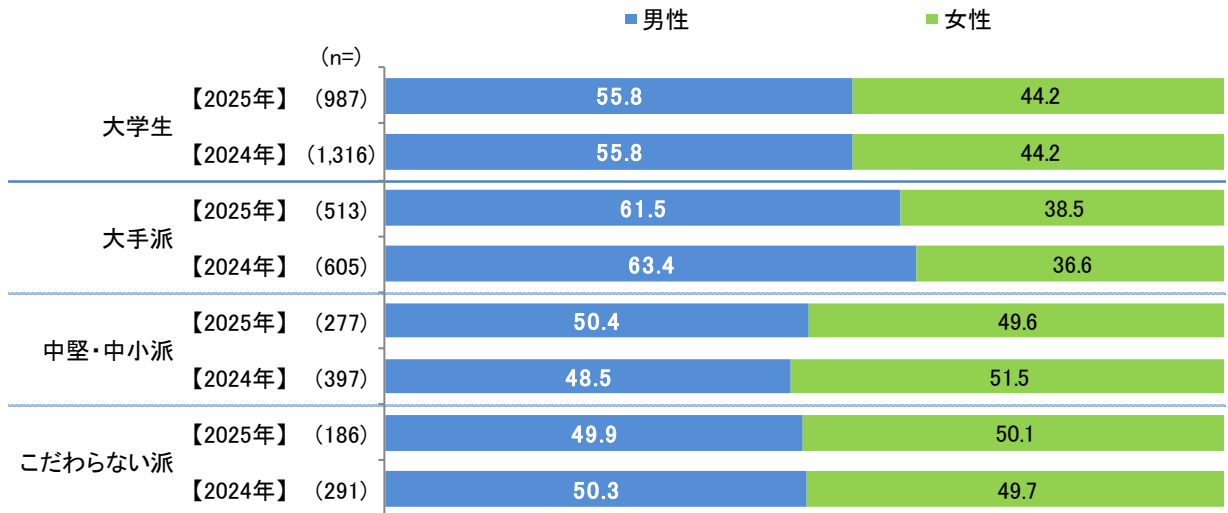
⑰従業員規模の志向

志望従業員規模別に属性を見ると、性別は、「大手派」では「男性」の割合が高く、2024年卒と同様の傾向。
居住地は、全ての規模で「関東」の割合が高い。(図表26、27)

志望従業員規模別の就職予定先への納得度(納得している・計)は、全ての規模で9割前後だが、「大手派」は「納得している」の割合が他の規模と比べて高い。(図表28)

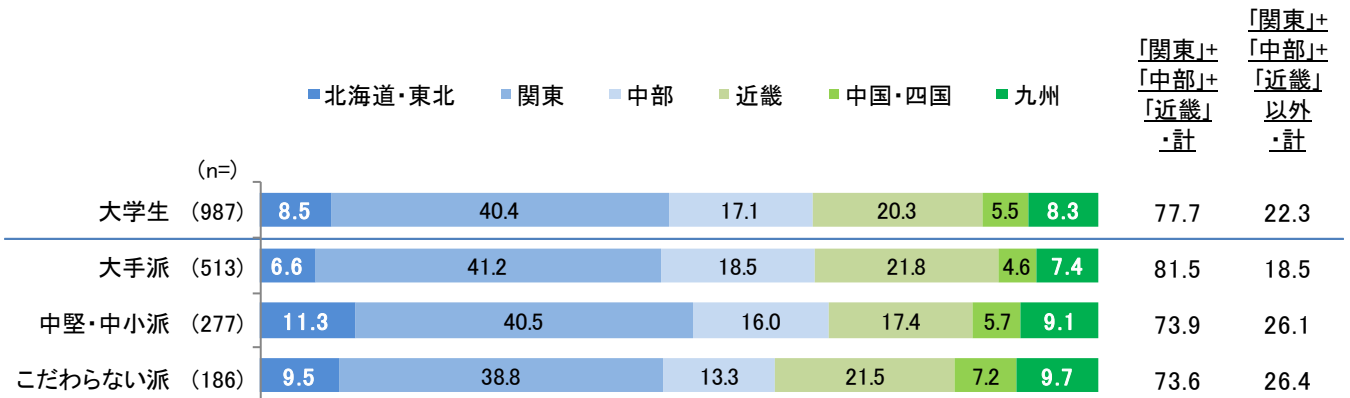
図表26 志望従業員規模別の性別(単一回答、単位=%)

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。



図表27 志望従業員規模別の居住地(単一回答、単位=%)

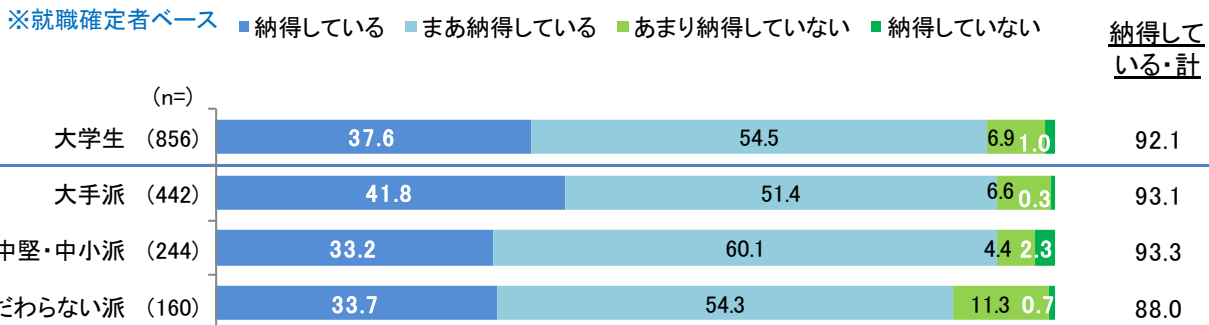
※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。



図表28 志望従業員規模別の就職予定先への納得度(単一回答、単位=%)

※就職確定者ベースに限定して聴取。

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。

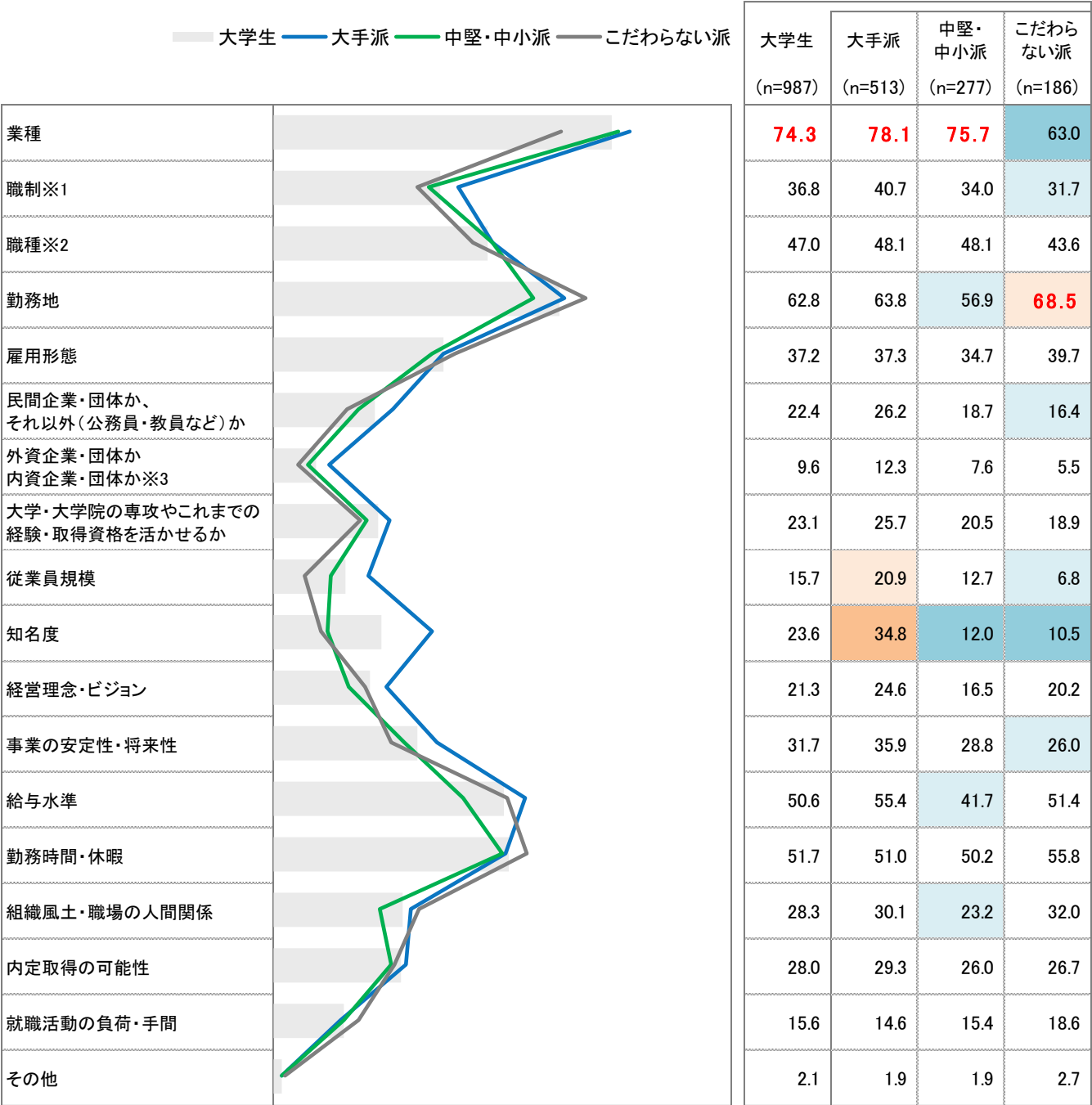


※納得している・計:「納得している」+「まあ納得している」

⑰従業員規模の志向【就職活動開始当初の重視点】

志望従業員規模別の就職活動開始当初の重視点は、「大手派」、「中堅・中小派」では「業種」の割合が最も高い。「こだわらない派」では「勤務地」の割合が最も高い。
大学生全体と比べると、「大手派」では「知名度」「従業員規模」の重視度が高い。(図表29-1)

図表29-1 志望従業員規模別の就職活動開始当初の重視点(複数回答、単位=%)
※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。



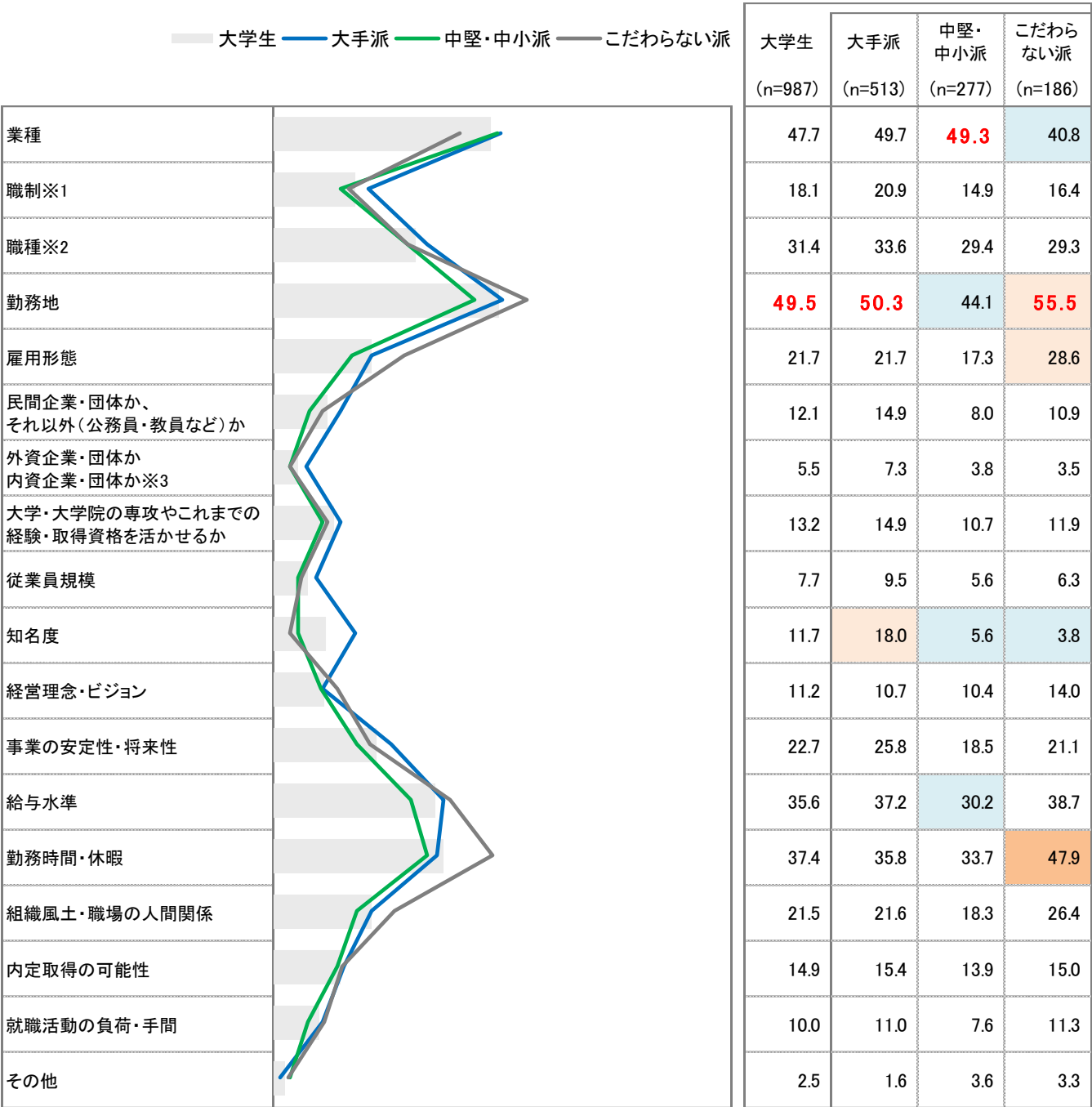
※1: 例) 総合職、一般職、地域・職域限定職など
※2: 例) 営業職、企画職、事務職、技術職など
※3: 外資＝日本国外に本社がある企業・団体、内資＝日本国内に本社がある企業・団体

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。
* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄いオレンジ色、10ポイント以上低いセルを濃い青色、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色で網掛けした。

⑩従業員規模の志向【就職予定先を選ぶ際の重視点】

志望従業員規模別の就職予定先を選ぶ際の重視点は、「大手派」、「こだわらない派」では「勤務地」の割合が最も高い。「中堅・中小派」では「業種」の割合が最も高い。
大学生全体と比べると、「こだわらない派」では「勤務時間・休暇」「雇用形態」「勤務地」の重視度が高い。(図表29-2)

図表29-2 志望従業員規模別の就職予定先を選ぶ際の重視点(複数回答、単位=%)
※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。



※1: 例) 総合職、一般職、地域・職域限定職など
※2: 例) 営業職、企画職、事務職、技術職など
※3: 外資＝日本国外に本社がある企業・団体、内資＝日本国内に本社がある企業・団体

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤字にした。
* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄いオレンジ色、10ポイント以上低いセルを濃い青色、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色で網掛けした。

⑱ インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの参加状況

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加時期は、大学生で「大学3年生12月」「大学3年生8月」「大学3年生10月」の順に割合が高い。

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加時期は、大学生で「大学3年生12月」の割合が最も高い。属性別に見ると、理系大学生は「大学3年生3月」の割合が最も高い。(図表30-1)

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムに初めて参加した時期は、大学生は「大学3年の8月頃」、大学院生は「大学院1年の7月頃」の割合が最も高い。(図表30-2)

図表30-1 インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムに参加した全ての時期(複数回答、単位=%)

※インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加者ベース

	大 学 生 (n=)	文 系 (559)	国 公 立 (74)	私 立 (484)	理 系 (271)	国 公 立 (98)	私 立 (173)	東 北 海 道 ・ (69)	関 東 (336)	中 部 (148)	近 畿 (166)	四 国 ・ 中 国 (42)	九 州 (68)	大 学 院 生 (67)
大学入学前	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大学1年生	1.2	1.4	3.9	1.0	0.9	2.6	—	4.8	0.8	1.0	0.5	3.4	1.1	4.5
大学2年生	3.5	3.6	6.9	3.1	3.3	3.4	3.3	9.6	2.3	4.3	2.0	8.6	2.2	4.5
大学3年生4月	2.8	2.6	3.9	2.4	3.1	3.4	2.9	3.2	3.7	0.5	2.9	3.4	1.7	1.5
大学3年生5月	1.6	2.1	4.4	1.8	0.5	0.8	0.4	2.1	2.0	0.5	0.7	5.2	1.7	—
大学3年生6月	5.4	5.9	7.0	5.8	4.2	5.0	3.7	2.8	6.9	2.0	5.3	6.2	7.6	—
大学3年生7月	10.2	12.6	17.6	11.9	5.2	5.0	5.3	5.5	9.7	8.3	12.6	7.8	17.2	3.0
大学3年生8月	18.2	20.7	31.6	19.0	13.2	14.3	12.5	13.6	20.2	13.7	21.3	12.4	19.0	19.4
大学3年生9月	16.1	18.8	24.7	17.9	10.6	15.3	8.0	14.6	17.5	11.0	17.9	5.2	24.7	14.9
大学3年生10月	16.2	19.0	26.6	17.9	10.3	9.2	10.9	7.1	19.5	11.2	18.2	5.1	22.0	10.4
大学3年生11月	15.7	17.6	29.1	15.8	11.7	9.2	13.1	9.4	16.4	14.2	17.6	13.9	18.0	9.0
大学3年生12月	18.5	19.3	22.7	18.8	16.8	16.3	17.1	4.9	20.1	19.1	22.1	6.0	21.8	13.4
大学3年生1月	14.1	15.6	15.7	15.5	11.0	7.4	13.0	7.2	15.4	12.3	17.4	9.6	13.1	14.9
大学3年生2月	14.3	14.5	13.7	14.7	13.7	13.7	13.7	6.4	13.7	11.2	20.0	17.3	16.1	14.9
大学3年生3月	15.0	12.3	14.1	12.1	20.5	24.0	18.6	19.8	15.8	11.0	12.5	29.0	12.1	11.9
大学4年生4月	12.0	10.9	14.8	10.3	14.3	11.9	15.7	16.6	10.6	17.0	7.0	22.3	9.1	11.9
大学4年生5月	7.6	7.1	7.9	6.9	8.8	10.8	7.7	9.8	8.2	5.8	7.3	14.3	3.4	7.5
大学4年生6月	6.2	5.2	6.0	5.1	8.3	8.4	8.2	10.6	3.3	9.2	6.8	11.2	5.2	9.0
大学4年生7月	6.3	6.8	6.5	6.8	5.4	2.6	6.9	5.0	7.4	7.0	6.2	3.4	3.3	7.5
大学4年生8月	5.1	5.2	6.5	5.0	4.9	3.4	5.8	11.8	4.2	6.7	5.3	0.9	1.7	1.5
大学4年生9月	3.5	3.2	3.5	3.2	3.9	3.4	4.2	2.7	3.9	3.3	4.0	3.5	1.1	4.5
大学4年生10月	3.0	3.8	4.6	3.6	1.5	3.4	0.4	1.1	4.4	2.1	3.2	0.9	1.1	4.5
大学4年生11月	3.4	3.2	3.0	3.2	3.8	5.3	3.0	7.5	3.8	3.9	2.3	1.7	—	7.5
大学4年生12月	2.8	2.0	3.0	1.9	4.4	7.9	2.4	—	4.7	3.1	1.7	—	—	3.0
大学4年生1月	1.3	1.4	2.5	1.2	1.2	2.6	0.4	—	2.5	—	0.7	1.7	1.1	4.5
大学4年生2月	1.0	0.7	1.9	0.5	1.5	2.6	0.9	—	2.0	—	—	1.7	1.1	1.5
大学4年生3月以降	3.5	2.7	3.0	2.6	5.3	6.6	4.6	4.4	3.4	0.8	4.4	5.3	6.3	32.8

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄いオレンジ色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

⑱ インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの参加状況

図表30-2 インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムに初めて参加した時期(単一回答、単位=%)

※インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加者ベース

	大 学 生 (n=)	文 系 (559)	国 公 立 (74)	私 立 (484)	理 系 (271)	国 公 立 (98)	私 立 (173)	東 北 海 道 ・ (69)	関 東 (336)	中 部 (148)	近 畿 (166)	四 国 ・ 中 国 (42)	九 州 (68)	大 学 院 生 (67)
大学3年/大学院1年の5月以前	9.6	10.5	10.4	10.5	7.6	6.9	8.0	15.4	9.3	7.4	8.3	13.9	10.1	14.9
大学3年/大学院1年の6月頃	5.8	6.4	5.6	6.6	4.5	4.2	4.7	1.6	7.9	3.5	5.1	5.5	7.0	4.5
大学3年/大学院1年の7月頃	10.4	11.9	12.7	11.8	7.4	10.3	5.8	8.9	9.0	11.4	12.9	4.3	14.8	17.9
大学3年/大学院1年の8月頃	13.4	14.0	20.5	13.0	12.0	11.6	12.2	7.6	13.8	11.3	17.4	3.6	17.7	16.4
大学3年/大学院1年の9月頃	5.8	5.3	3.7	5.5	6.8	4.2	8.3	3.8	7.2	4.1	7.0	-	5.1	10.4
大学3年/大学院1年の10月頃	8.3	10.8	5.6	11.6	3.2	0.8	4.5	6.6	8.6	7.4	8.4	7.3	10.6	3.0
大学3年/大学院1年の11月頃	7.5	6.2	8.6	5.8	10.3	9.2	10.9	3.8	5.5	12.6	8.9	10.4	4.9	9.0
大学3年/大学院1年の12月頃	5.3	5.5	5.1	5.6	4.8	6.1	4.1	3.2	4.8	8.8	5.0	1.8	4.9	4.5
大学3年/大学院1年の1月頃	5.7	5.1	5.5	5.0	7.1	10.5	5.1	5.7	8.7	3.0	3.5	6.1	2.2	7.5
大学3年/大学院1年の2月頃	7.2	5.3	5.1	5.3	11.1	14.5	9.2	4.8	8.5	4.8	6.4	15.7	4.9	1.5
大学3年/大学院1年の3月頃	7.1	5.5	6.0	5.4	10.3	6.6	12.4	18.8	6.3	6.9	5.3	8.2	2.6	3.0
大学4年/大学院2年の4月頃	5.2	4.9	3.5	5.1	5.9	4.0	6.9	9.3	3.5	3.5	5.3	11.1	9.0	6.0
大学4年/大学院2年の5月頃	2.2	1.8	2.6	1.6	3.0	4.2	2.2	0.6	0.9	1.5	4.3	10.5	1.1	-
大学4年/大学院2年の6月頃	2.5	2.6	3.0	2.5	2.4	4.2	1.4	2.6	1.6	6.7	0.4	1.8	3.4	-
大学4年/大学院2年の7月頃	1.2	1.5	1.0	1.6	0.5	-	0.9	1.0	1.4	1.8	0.7	-	1.1	-
大学4年/大学院2年の8月頃	0.9	0.7	1.0	0.6	1.5	2.6	0.8	2.0	0.2	3.6	-	-	0.6	-
大学4年/大学院2年の9月頃	0.9	0.9	-	1.1	0.9	-	1.4	2.1	1.3	-	1.1	-	-	-
大学4年/大学院2年の10月頃	0.4	0.5	-	0.6	-	-	-	1.1	0.7	-	-	-	-	-
大学4年/大学院2年の11月以降	0.7	0.7	-	0.8	0.7	-	1.0	1.1	0.7	1.6	-	-	-	1.5

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄いオレンジ色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

⑱ インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの参加状況

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの認知きっかけは、大学生・大学院生ともに「大学」の割合が最も高い。参加期間は、大学生では「半日」が、大学院生では「1日」が最も高い。

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムを認知したきっかけは、大学生・大学院生ともに「大学」の割合が最も高い。次いで「企業／官公庁／組織・団体等のサイト」の割合が高い。(図表31)

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの参加期間は、大学生では「半日」が最も高く、僅差で「1日」が続く。大学院生では「1日」が最も高く、大学生全体に比べて「3日以上5日未満」「5日以上2週間未満」「2週間以上2カ月未満」の割合が高い。(図表32)

図表31 インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの認知きっかけ(複数回答、単位=%)

※インターンシップ等の
キャリア形成支援プログラム
参加者ベース

	大 学 生 (n=)	文 系 (559)	国 公 立 (74)	私 立 (484)	理 系 (271)	国 公 立 (98)	私 立 (173)	東 北 海 道 ・ (69)	関 東 (336)	中 部 (148)	近 畿 (166)	四 国 ・ 中 国 (42)	九 州 (68)	大 学 院 生 (67)
企業／官公庁／組織・団体等の サイト	41.3	42.6	43.1	42.5	38.7	37.4	39.5	39.6	39.2	48.0	41.2	36.5	42.4	44.8
大学	48.6	46.2	37.9	47.5	53.7	53.3	53.9	49.9	46.6	41.5	52.7	62.1	54.7	46.3
就職情報サイト／ 就職情報アプリ／就職情報誌	38.2	38.8	45.7	37.7	37.0	35.8	37.7	32.2	36.2	44.9	45.0	18.9	35.3	40.3
インターンシップ等のキャリア形成支援ブ ログラム斡旋団体(NPO含む)のサイト等	5.7	5.3	4.6	5.5	6.5	12.9	2.9	3.4	6.0	6.5	8.3	3.5	-	3.0
ソーシャルメディア(Facebook、 X:旧Twitter、LINE、Instagram等)	4.4	5.5	6.9	5.3	2.1	0.8	2.9	3.4	3.7	5.6	4.2	2.6	7.4	4.5
その他	0.4	0.5	1.9	0.3	-	-	-	2.1	0.4	-	-	-	-	3.0

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄いオレンジ色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

図表32 インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの参加期間(複数回答、単位=%)

※インターンシップ等の
キャリア形成支援プログラム
参加者ベース

	大 学 生 (n=)	文 系 (559)	国 公 立 (74)	私 立 (484)	理 系 (271)	国 公 立 (98)	私 立 (173)	東 北 海 道 ・ (69)	関 東 (336)	中 部 (148)	近 畿 (166)	四 国 ・ 中 国 (42)	九 州 (68)	大 学 院 生 (67)
半日	43.7	46.8	47.7	46.7	37.1	34.1	38.7	45.7	47.2	40.8	39.0	39.7	44.5	38.8
1日	43.6	46.1	56.1	44.6	38.3	40.6	37.0	40.6	46.2	34.4	49.9	38.5	41.2	43.3
2日	20.3	20.4	34.5	18.2	20.2	24.2	18.0	15.2	19.2	23.0	24.0	13.4	20.4	17.9
3日以上5日未満	19.9	20.0	28.7	18.6	19.8	22.4	18.4	19.7	18.8	21.5	20.2	23.5	19.6	41.8
5日以上2週間未満	10.2	7.9	6.5	8.1	14.9	20.6	11.8	3.3	8.0	9.1	17.9	10.7	11.0	31.3
2週間以上2カ月未満	3.1	3.7	5.1	3.5	1.7	1.6	1.8	2.2	2.1	5.2	5.0	0.9	0.6	10.4
2カ月以上	3.4	4.5	8.3	3.9	1.1	-	1.7	4.4	4.2	2.5	2.2	3.4	2.8	7.5

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄いオレンジ色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

⑱ インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの参加状況

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの参加先を選ぶ際の重視点は、大学生では「業種」の割合が最も高く、大学院生では「職種」の割合が最も高い。

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの参加先を選ぶ際に重視した点は、大学生では「業種」の割合が最も高く、大学院生では「職種」の割合が最も高い。

大学院生は「職種」「日程・期間」「業種」などの重視度が大学生全体に比べて高い。(図表33)

図表33 インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの参加先を選ぶ際に重視した点(複数回答、単位=%)
※インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加者ベース

	大 学 生 (n=)	文 系 (559)	国 公 立 (74)	私 立 (484)	理 系 (271)	国 公 立 (98)	私 立 (173)	東 北 海 道 ・ (69)	関 東 (336)	中 部 (148)	近 畿 (166)	四 国 ・ 中 国 ・ (42)	九 州 (68)	大 学 院 生 (67)
業種	48.4	50.3	57.0	49.2	44.5	44.5	36.9	46.7	50.0	49.4	52.9	59.7	59.7	
職種	38.9	37.3	36.6	37.4	42.1	43.3	41.5	27.5	36.0	43.6	43.5	40.4	42.4	61.2
会場（地域・場所）	30.8	33.8	40.1	32.8	24.7	28.5	22.5	39.6	28.6	38.8	28.6	31.8	20.2	25.4
インターンシップ等の キャリア形成支援 プログラムの内容	32.2	30.8	42.1	29.1	34.9	46.9	28.2	25.3	33.1	30.6	31.7	21.2	45.9	29.9
企業・各種団体等の 規模	14.5	12.9	12.3	12.9	17.8	17.9	17.7	13.7	15.2	10.8	20.5	10.5	7.3	19.4
企業名	17.1	17.6	21.1	17.0	16.2	19.3	14.4	6.6	20.9	15.2	19.9	16.2	6.8	25.4
日程・期間	25.8	27.3	36.6	25.8	22.9	24.1	22.2	25.9	25.1	21.7	30.1	30.4	25.0	38.8
報酬	5.8	6.3	1.6	7.0	4.8	5.3	4.5	8.8	6.7	6.9	2.7	－	6.5	9.0
採用選考に直結 するかどうか	16.6	17.6	13.6	18.3	14.6	13.5	15.2	10.1	20.2	8.5	15.1	9.0	32.1	17.9
その他	0.1	0.2	0.5	0.2	－	－	－	1.1	－	－	－	0.9	－	1.5

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。
* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄いオレンジ色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

⑱ インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの参加状況

**インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの参加目的は、
大学生では「業種理解」の割合が最も高く、大学院生では「仕事理解」の割合が最も高い。**

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの参加目的は、大学生では「業種理解」の割合が最も高く、大学院生では「仕事理解」の割合が最も高い。

大学院生は「仕事理解」「企業・各種団体等・職場の雰囲気を知る」「企業・各種団体等の事業内容理解」「社会人との人脈構築」「自分のスキルの見極め」などの割合が大学生全体に比べて高い。(図表34)

図表34 インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの参加目的(複数回答、単位=%)

※インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加者ベース

	大 学 生 (n=)	文 系 (559)	国 公 立 (74)	私 立 (484)	理 系 (271)	国 公 立 (98)	私 立 (173)	東 北 北 海 道 ・ (69)	関 東 (336)	中 部 (148)	近 畿 (166)	四 国 ・ 中 国 (42)	九 州 (68)	大 学 院 生 (67)
業種理解	45.3	46.1	53.1	45.1	43.6	49.3	40.4	34.5	43.8	46.2	48.4	40.0	57.8	53.7
仕事理解	44.7	46.7	48.4	46.5	40.6	43.3	39.1	39.8	43.8	45.9	47.3	39.3	48.8	59.7
企業・各種団体等の 事業内容理解	30.1	32.0	39.3	30.9	26.3	30.4	23.9	34.0	27.9	25.5	34.1	27.0	39.5	41.8
企業・各種団体等・ 職場の雰囲気を知る	27.1	28.7	38.5	27.2	23.6	25.3	22.7	26.6	24.2	21.8	32.9	33.2	35.2	40.3
自分のスキルの見極め	17.7	18.3	20.6	17.9	16.6	19.0	15.3	16.6	17.4	15.9	23.9	10.4	13.8	28.4
自分自身のキャリア 観を明確にする	17.5	18.9	25.7	17.9	14.6	24.8	8.8	23.5	16.1	16.4	18.9	18.6	16.9	20.9
大学カリキュラムの 単位取得	11.6	9.7	12.1	9.3	15.7	17.1	14.8	12.9	8.9	12.1	13.6	18.6	13.7	11.9
内定獲得(採用直結)	18.7	18.7	21.1	18.4	18.5	22.1	16.4	13.2	20.4	11.6	20.0	13.9	30.7	28.4
社会人との人脈構築	7.2	8.9	13.9	8.1	3.6	8.7	0.8	5.3	6.4	5.0	10.3	8.7	8.6	17.9
他の就職活動生との 人脈構築	6.3	6.3	3.5	6.7	6.3	7.6	5.5	12.0	6.6	4.2	6.4	6.0	3.4	10.4
報酬	2.8	3.3	2.5	3.4	1.9	2.6	1.4	1.0	2.6	5.1	1.8	0.9	4.9	1.5
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特に意識していた目的 はなかった	12.3	11.3	6.0	12.1	14.4	12.4	15.6	14.8	14.2	7.5	11.2	18.1	10.1	4.5

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄いオレンジ色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

⑱ インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの参加状況

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの内容は、大学生・大学院生ともに「基幹的な業務の体験」が最も高く、大学生は「事業・業務説明」、大学院生は「職場・工場見学」が続く。

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの内容は、大学生・大学院生ともに「基幹的な業務の体験」の割合が最も高い。次いで、大学生は「事業・業務説明」「社員への質問会」、大学院生は「職場・工場見学」「事業・業務説明」が続く。

大学院生は「基幹的な業務の体験」「職場・工場見学」「補助的な業務の体験」などの割合が大学生全体に比べて高い。(図表35-1)

図表35-1 インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの内容(複数回答、単位=%)
※インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加者ベース

	大 学 生 (n=)	大 学 生 (830)	文 系 (559)	国 公 立 (74)	私 立 (484)	理 系 (271)	国 公 立 (98)	私 立 (173)	東 北 海 道 ・ (69)	関 東 (336)	中 部 (148)	近 畿 (166)	四 国 ・ 中 国 (42)	九 州 (68)	大 学 院 生 (67)
基幹的な業務の体験		39.5	40.7	46.1	39.8	37.2	41.1	35.0	35.2	40.4	34.0	43.5	29.6	48.4	58.2
補助的な業務の体験		23.7	24.7	25.0	24.7	21.4	27.4	18.0	19.3	22.6	23.8	29.3	23.8	18.8	34.3
社員の業務への 同席・同行		18.8	17.7	20.6	17.2	21.0	30.0	16.0	21.5	18.8	20.1	17.1	14.2	19.5	26.9
職場・工場見学		25.8	21.9	23.2	21.7	33.8	40.9	29.8	32.9	20.8	26.4	34.8	26.2	19.9	43.3
事業・業務説明		35.4	35.2	41.2	34.3	35.9	40.6	33.2	34.6	33.7	35.6	40.2	36.1	32.2	40.3
社員への質問会		31.1	33.0	39.1	32.0	27.2	20.9	30.7	35.5	26.7	27.6	39.4	29.6	36.6	35.8
就職活動の進め方の 習得		14.1	17.6	23.5	16.7	6.8	6.6	7.0	9.4	13.0	15.5	16.2	19.0	12.8	23.9
自己分析		12.3	16.0	20.1	15.3	4.6	8.2	2.6	6.0	10.4	14.9	11.8	14.7	21.9	20.9
その他		0.1	0.1	-	0.2	-	-	-	-	0.2	-	-	-	-	1.5
覚えていない		15.8	14.3	5.1	15.7	19.1	15.1	21.3	10.1	17.4	17.6	13.2	17.8	15.2	3.0

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。
* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄いオレンジ色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

⑱ インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの参加状況

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムのうち、半日・1日のプログラム内容は、大学生・大学院生ともに「基幹的な業務の体験」の割合が最も高い。

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムのうち、半日・1日のプログラム内容は、大学生・大学院生ともに「基幹的な業務の体験」の割合が最も高い。

大学院生は「就職活動の進め方の習得」「自己分析」の割合が大学生全体に比べて高い。(図表35-2)

図表35-2 インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムのうち、半日・1日のプログラム内容(複数回答、単位=%)

※インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム内容を覚えている方、かつ半日・1日のプログラム参加者ベース

	大 学 生 (n=)	大 学 生 (480)	文 系 (342)	国 公 立 (53)	私 立 (289)	理 系 (138)	国 公 立 (50)	私 立 (88)	東 北 海 道 ・ (47)	関 東 (201)	中 部 (68)	近 畿 (104)	四 国 ・ 中 国 (21)	九 州 (39)	大 学 院 生 (42)
基幹的な業務の体験		45.5	46.0	44.9	46.2	44.4	55.0	38.3	27.3	47.9	47.2	46.8	27.7	58.7	45.2
補助的な業務の体験		20.1	21.3	16.6	22.2	17.0	19.6	15.5	15.1	21.3	23.3	22.0	17.4	10.9	23.8
社員の業務への 同席・同行		15.3	12.9	10.7	13.3	21.1	23.2	20.0	22.9	15.0	14.8	12.4	11.0	18.3	14.3
職場・工場見学		22.8	19.1	11.4	20.6	32.0	33.0	31.4	29.0	17.6	31.0	29.2	17.3	14.2	26.2
事業・業務説明		37.4	39.0	34.1	39.9	33.4	25.8	37.8	32.5	35.6	41.6	42.3	26.3	38.0	38.1
社員への質問会		32.7	35.7	29.9	36.8	25.2	22.7	26.6	31.7	30.2	36.9	35.4	29.4	34.1	33.3
就職活動の進め方の 習得		11.4	13.5	10.7	14.0	6.1	6.2	6.0	5.7	10.0	15.1	12.5	18.7	11.8	23.8
自己分析		14.4	18.0	10.7	19.3	5.6	9.8	3.2	6.4	12.9	18.0	14.9	5.3	29.5	21.4
その他		0.3	0.4	—	0.5	—	—	—	—	0.4	1.1	—	—	—	—

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄いオレンジ色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。
(回答者数が30未満のスコアを除く)

* 回答者数が30未満の値は参考値として灰色にした。

⑱ インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの参加状況

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムのうち、5日以上 of プログラム内容は、
大学生・大学院生ともに「基幹的な業務の体験」の割合が最も高い。

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムのうち、5日以上 of プログラム内容は、大学生・大学院生ともに「基幹的な業務の体験」の割合が最も高い。

大学院生は「職場・工場見学」「社員への質問会」「事業・業務説明」などの割合が大学生全体に比べて高い。(図表35-3)

図表35-3 インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムのうち、5日以上 of プログラム内容(複数回答、単位=%)
※インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム内容を覚えている方、かつ5日以上 of プログラム参加者ベース

	大 学 生 (n=)	文 系 (69)	国 公 立 (14)	私 立 (55)	理 系 (42)	国 公 立 (18)	私 立 (24)	東 北 海 道 ・ (5)	関 東 (37)	中 部 (22)	近 畿 (35)	四 国 ・ 中 国 (6)	九 州 (6)	大 学 院 生 (30)
基幹的な業務の体験	51.1	56.2	53.2	57.0	42.6	45.1	40.8	71.7	64.6	32.0	54.4	28.9	24.4	53.3
補助的な業務の体験	38.2	41.2	44.8	40.3	33.4	46.4	23.6	13.8	35.7	33.5	45.3	57.3	31.5	33.3
社員の業務への 同席・同行	29.8	30.3	36.5	28.7	29.0	32.3	26.5	—	27.3	31.4	38.1	22.8	25.0	33.3
職場・工場見学	21.0	16.2	15.9	16.3	28.7	45.1	16.4	29.0	18.2	25.4	22.0	22.8	6.4	46.7
事業・業務説明	29.0	22.9	24.2	22.6	39.1	59.1	23.9	29.0	39.7	16.7	24.1	59.4	6.4	50.0
社員への質問会	24.4	27.7	31.7	26.6	19.2	12.8	24.0	14.5	23.7	5.2	32.7	45.6	38.3	50.0
就職活動の進め方の 習得	15.2	23.4	36.5	20.0	1.8	—	3.2	—	13.6	23.5	15.2	22.8	—	23.3
自己分析	8.4	12.3	—	15.5	1.8	4.3	—	14.5	11.4	3.3	10.4	—	—	13.3
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.3

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄いオレンジ色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。
(回答者数が30未満のスコアを除く)

* 回答者数が30未満の値は参考値として灰色にした。

⑱ インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの参加状況

**インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムに参加してよかった点は、
大学生・大学院生ともに「業種について具体的に知ることができた」の割合が最も高い。**

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムに参加してよかった点は、大学生・大学院生ともに「業種について具体的に知ることができた」の割合が最も高い。

大学院生は「自分のスキルを見極めることができた」「企業・各種団体等・職場の雰囲気を知ることができた」「社会人との人脈を作れた」「自分自身のキャリア観を明らかにすることができた」などの割合が大学生全体に比べて高い。(図表36)

図表36 インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムに参加してよかった点(複数回答、単位=%)

※インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加者ベース

	大 学 生 (n=)	文 系 (559)	国 公 立 (74)	私 立 (484)	理 系 (271)	国 公 立 (98)	私 立 (173)	東 北 海 道 ・ (69)	関 東 (336)	中 部 (148)	近 畿 (166)	四 国 ・ 中 国 (42)	九 州 (68)	大 学 院 生 (67)
業種について具体的に 知ることができた	47.2	49.8	66.3	47.3	41.7	43.3	40.8	45.1	47.0	43.1	51.3	40.7	53.2	53.7
仕事内容を具体的に 知ることができた	45.4	44.2	49.6	43.4	47.8	51.7	45.5	39.0	45.4	44.8	54.1	31.4	40.6	46.3
企業・各種団体等の 事業内容を具体的に 知ることができた	29.9	30.7	33.8	30.2	28.4	39.0	22.4	32.7	31.5	25.4	28.7	29.2	32.6	38.8
企業・各種団体等・ 職場の雰囲気を知る ことができた	31.7	33.4	44.6	31.7	28.4	40.6	21.4	29.0	28.3	36.2	35.0	36.8	30.6	43.3
自分のスキルを 見極めることができた	21.9	20.5	12.7	21.7	24.9	26.6	23.9	24.1	18.1	23.0	26.4	24.3	23.9	34.3
自分自身のキャリア観 を明らかにすることが できた	16.6	15.5	19.0	14.9	18.9	30.0	12.6	23.1	15.4	13.0	20.3	12.2	17.2	26.9
インターンシップ等のキャリア形成 支援プログラムに参加した企 業・各種団体等から内定取得で きた	13.6	12.5	15.7	12.1	15.8	15.1	16.3	14.5	11.8	7.6	18.2	13.9	23.7	22.4
社会人との人脈を 作れた	6.6	7.4	8.1	7.2	5.1	6.9	4.1	5.4	5.7	4.3	9.7	3.6	11.8	17.9
他の就職活動中の 学生との人脈を作れた	6.1	6.8	10.8	6.2	4.5	6.9	3.2	3.2	7.0	4.5	4.8	2.7	13.2	11.9
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特にな	16.2	15.6	4.6	17.3	17.4	15.1	18.7	10.5	17.9	16.9	14.3	17.9	15.2	6.0

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄いオレンジ色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

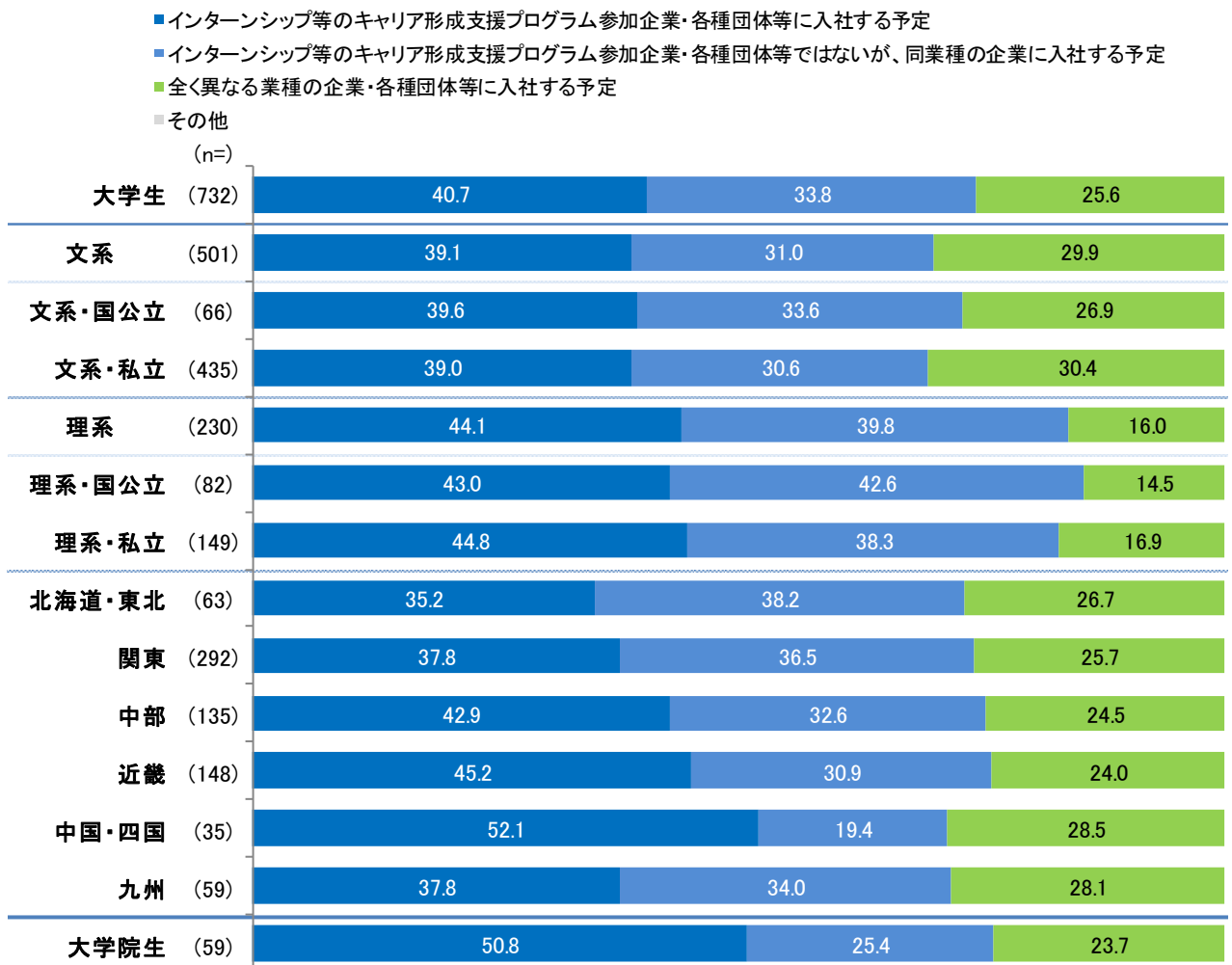
⑱ インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの参加状況

**インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムで参加した企業への入社予定は、
大学生では約4割、大学院生では約5割。**

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムで参加した企業／同業種の企業への入社予定について、「インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加企業・各種団体等に入社する予定」の割合は、大学生では約4割、大学院生では約5割。

属性別に見ると、理系大学生では「インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加企業・各種団体等に入社する予定」「インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加企業・各種団体等ではないが、同業種の企業に入社する予定」を合わせた割合が8割前半。(図表37)

図表37 インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムで参加した企業／同業種の企業への入社予定(単一回答、単位=%)
※就職確定者で、インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加者ベース



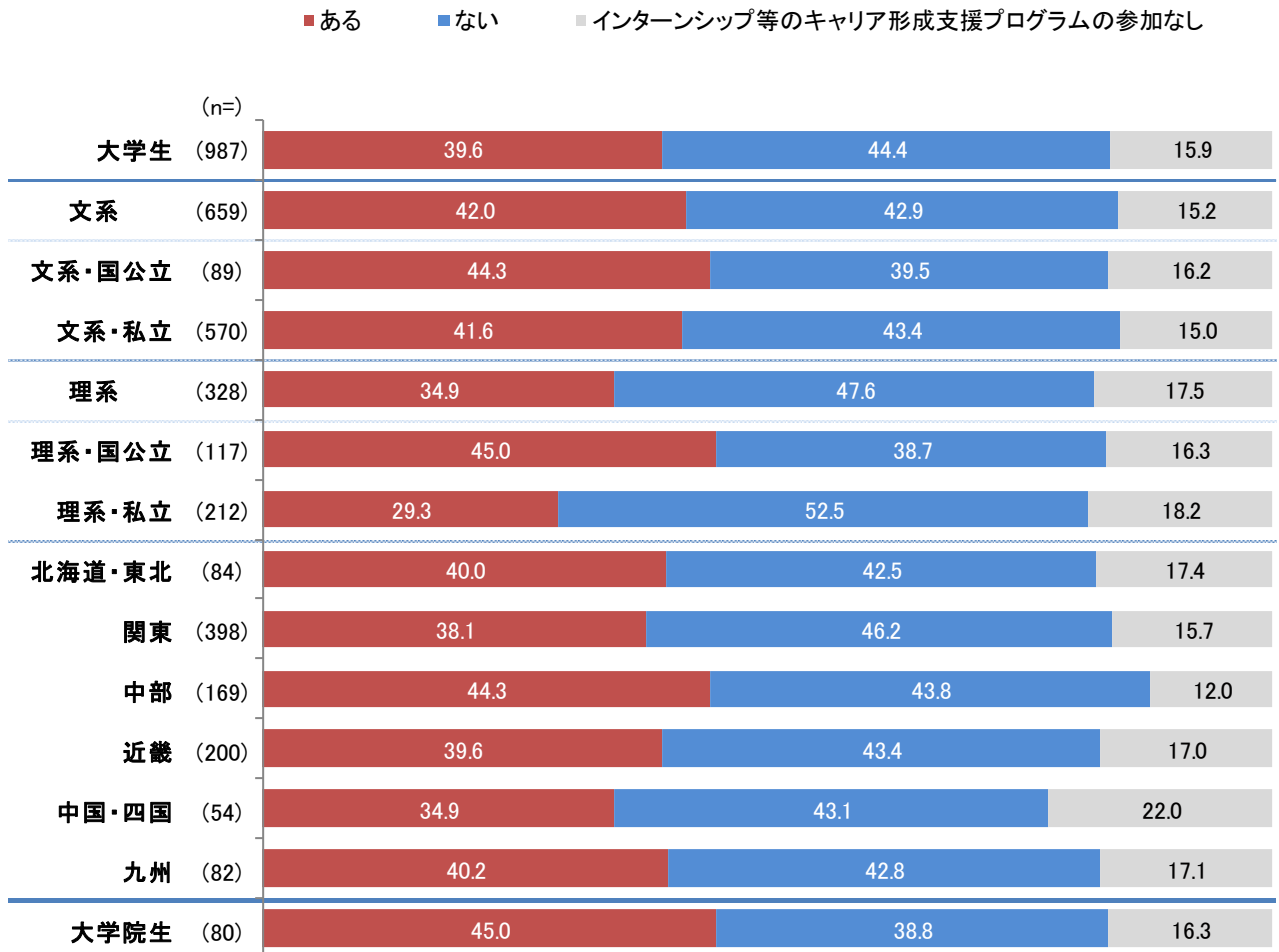
⑱ インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの参加状況

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムと学業の日程の重複経験は、大学生の約4割が「ある」。大学院生は「ある」の割合が4割半ばとなっている。

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムと学業の日程が重複した経験は、大学生の約4割が「ある」と回答している。

属性別に見ると、理系の国公立大学生や大学院生では、重複した経験が「ある」の割合が4割半ばと大学生全体に比べて高い。(図表38)

図表38 インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムと学業の日程が重複した経験(単一回答、単位=%)



⑱ インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの参加状況

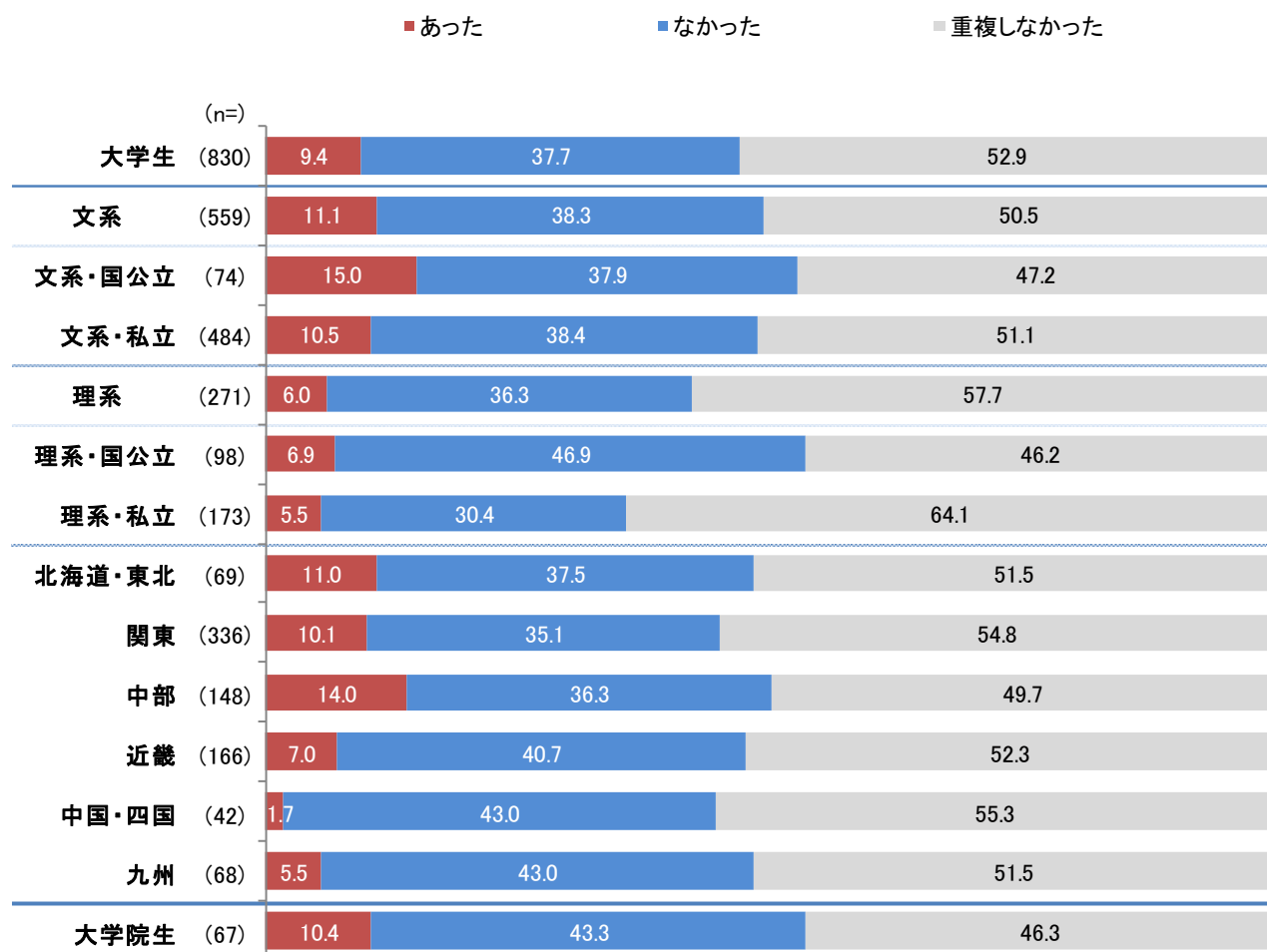
インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムと学業の日程が重複したことで学業への支障が「あった」の割合は、大学生・大学院生ともに約1割にとどまる。

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムと学業の日程が重複したことで学業への支障が「あった」の割合は、大学生・大学院生ともに約1割にとどまる。

属性別に見ると、文系の国公立大学生では、「あった」の割合が1割半ばと大学生全体に比べて高い。(図表39)

図表39 インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムと学業の日程が重複したことで学業への支障があったか
(単一回答、単位=%)

※インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加者ベース



⑱ インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの参加状況

学業と日程が重複したインターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの開催時期は、属性に関わらず「学期期間(平日)」の割合が最も高い。

学業と日程が重複したインターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの開催時期は、属性に関わらず「学期期間(平日)」の割合が最も高い。

属性別に見ると、理系の国公立大学生や大学院生では、「休暇期間(夏季休暇、冬期休暇など)」の割合が3割超と大学生全体に比べて高い。(図表40)

図表40 学業と日程が重複したインターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの開催時期(複数回答、単位=%)

※学業の日程とインターンシップ等のキャリア形成支援プログラムが重複した方ベース

n=		学期期間(平日)	学期期間(休日)	休暇期間(夏季休暇、冬期休暇など)
大学生	391	80.7	24.6	17.7
文系	276	82.4	26.4	15.7
国公立	39	77.6	29.4	23.4
私立	237	83.2	25.9	14.4
理系	115	76.5	20.3	22.6
国公立	52	76.0	17.6	30.4
私立	62	76.8	22.5	16.0
北海道・東北	34	76.9	13.3	28.7
関東	152	83.0	24.5	19.1
中部	75	76.8	24.9	16.0
近畿	79	87.8	22.0	12.1
中国・四国	19	54.2	43.9	13.6
九州	33	80.6	30.9	19.9
大学院生	36	77.8	30.6	30.6

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄いオレンジ色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。(回答者数が30未満のスコアを除く)

* 回答者数が30未満の値は参考値として灰色にした。

⑱ インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの参加状況

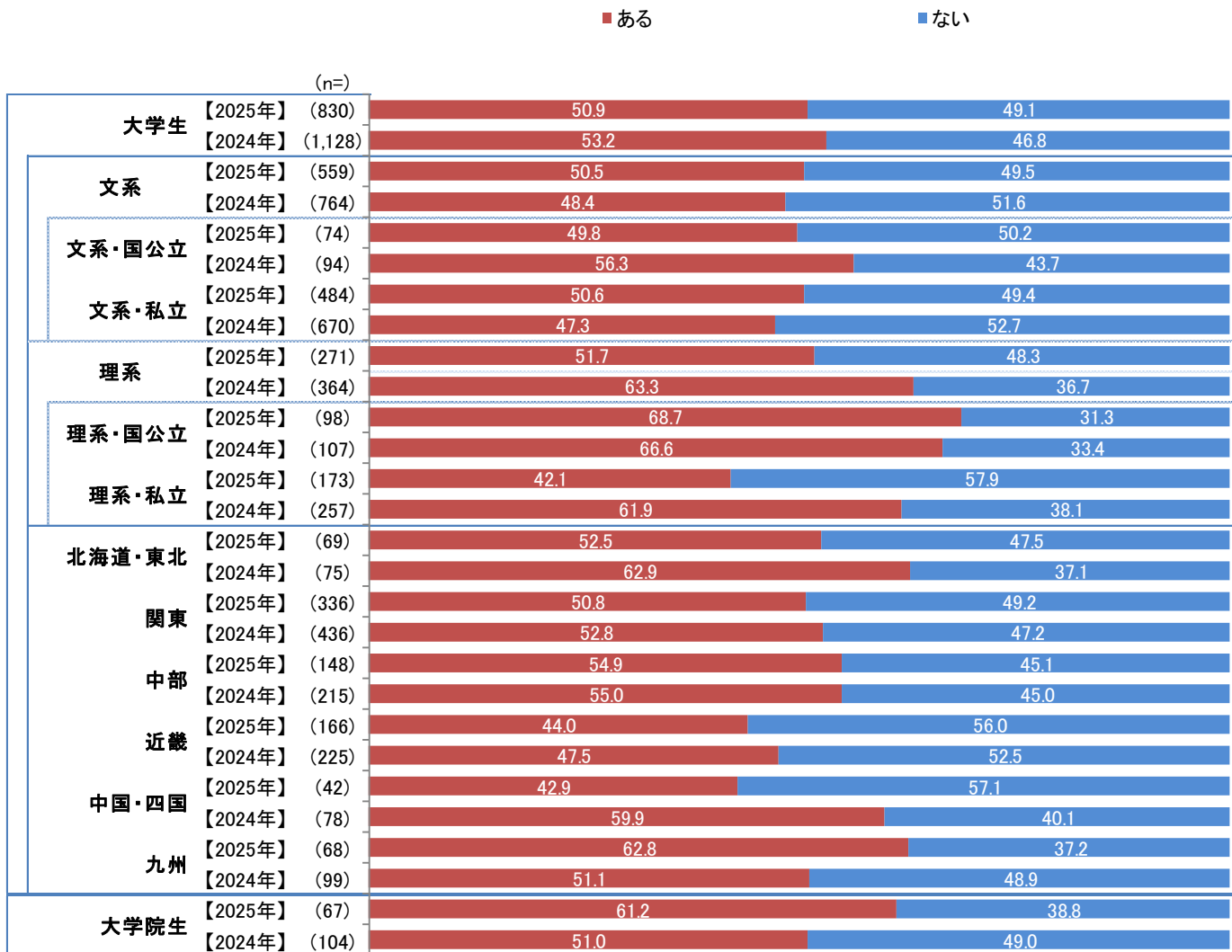
**参加したインターンシップ等のキャリア形成支援プログラムに就業体験があった割合は、
大学生では約5割、大学院生では約6割。**

参加したインターンシップ等のキャリア形成支援プログラムに就業体験（企業の実務を体験すること）があった割合は、
大学生では約5割、大学院生では約6割。

属性別に見ると、理系の国公立大学生は「ある」の割合が約7割と大学生全体に比べて高い。

2024年卒と比べると、大学院生では「ある」と回答した割合が大幅に増加。（図表41）

図表41 インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムでの就業体験（企業の実務を体験すること）有無（単一回答、単位=%）
※インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加者ベース



※「インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム」については、2024年は「インターンシップ・1day仕事体験」と聴取。

●2013年卒以降のスケジュール変更の詳細

	大学3年・修士1年次						大学4年・修士2年次							
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
2013年卒 ～ 2015年卒			4カ月 広報期間				6カ月 選考期間							
2016年卒			3カ月繰り下げ			5カ月 広報期間	4カ月繰り下げ				2カ月 選考期間			
2017年卒 ～						維持 3カ月 広報期間		4カ月 選考期間			2カ月繰り上げ			

●調査備考

《地域区分の内訳》

- 北海道・東北＝ 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- 関東＝ 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- 中部＝ 新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
- 近畿＝ 三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- 中国・四国＝ 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 九州＝ 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

《調査集計の留意点》

%を表示する際に小数第2位で四捨五入しているため、%の合計値や差の数値と計算値が一致しない場合がある。

●公益社団法人 全国求人情報協会とは

公益社団法人 全国求人情報協会(理事長:瀬野尾 裕 略称:全求協)は、1985年2月に設立。全国の求人サイト・求人情報誌・折込求人紙を運営・発行する67社(正会員52社・賛助会員15社)の会員で構成されており、自主規制のための掲載基準作成、求人情報に関する苦情・相談業務や調査・研究などの活動を実施。

●新卒等若年雇用部会とは

新卒等若年雇用を巡る問題が我が国の労働市場における大きな課題となる中、その課題に取り組むための専門部会として、2013年に「新卒等若年雇用部会」を設置。マッチングの高度化を通じ、よりよい就職・採用がスムーズに行われるよう、とりわけ集团的就職活動特有の課題をまとめ、様々なアクションプラン等を検討、実行している。

●公益社団法人 全国求人情報協会 新卒等若年雇用部会 会員企業（社名五十音順）

株式会社アクセスネクステージ、株式会社イフ、株式会社 学情、株式会社キャリアタス、株式会社ジェイ・ブロード、株式会社ダイヤモンド・ヒューマンリソース、株式会社 中広ワークイン、株式会社 文化放送キャリアパートナーズ、株式会社 北海道アルバイト情報社、株式会社マイナビ、株式会社リクルート